
荒尾市まちづくりアンケート 報告書

「第2期あらお創生総合戦略」達成度評価等のためのアンケート調査

令和6年2月
荒尾市

<目 次>

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収結果	1
3. 調査結果の見方	1
第2章 調査結果	2
1. 対象者の基本属性	2
（1）基本属性	2
（2）移住の有無	3
2. 健康・福祉について	8
（1）朝食の摂取状況	8
（2）栄養バランスへの関心	9
（3）日常的な運動の状況	10
（4）健康診断や人間ドックの受診状況	11
（5）保健や医療体制の満足度	13
（1）結婚について	15
（2）出産について	17
（3）子育てについて	22
4. 生活全般について	26
（1）給与・労働環境	26
（2）公共交通の利用状況・満足度	31
（3）街並みの評価	33
（4）「荒尾干潟」の親しみやすさ	34
（5）文化・教養に関する満足度	35
（6）スポーツに関する環境の満足度	36
（7）防犯や防災に関する地域の安全性	37
（8）多様性の尊重	38
（9）障がい者への理解や関心	39
（10）地域社会との交流	40
（11）情報化について	41
5. 市民と行政との協働のまちづくりについて	46
（1）まちづくりに関する市民と行政の役割分担について	46
（2）地域活動への参加	48
6. 荒尾市の住みやすさについて	52
（1）荒尾市の住みやすさ	52
（2）荒尾市への定住意向	60
7. 自由意見	63
【保健・医療・福祉分野】	63
【産業・観光分野】	64
【子育て・教育分野】	66
【スポーツ・文化・生涯学習分野】	70
【交通安全・防災・防犯分野】	72
【都市基盤・定住環境・公共交通分野】	73
【協働分野】	77
【市政全般・その他の分野】	78
第3章 調査票	82

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

「第6次荒尾市総合計画（第2期あらお創生総合戦略）」に関する取組みの効果を検証するとともに、市民のニーズや課題を抽出することを目的とした。

2. 調査設計と回収結果

調査対象	荒尾市内に居住する18歳以上90歳以下の方
抽出方法	郵送分：無作為抽出 ※地区ごとの人口比率に応じ抽出 市公式 LINE：友達登録者全て
調査方法	郵送による配布・回収、市公式 LINE による回答
配布数	郵送分：1,000通（うち、不達数5通） 市公式 LINE 登録者：10,935人 ※R5.9.11時点（荒尾市外住民含む、ブロック数除く）
有効回収数・回収率	郵送分：361件（36.1%） 市公式 LINE による回答数236件（2.1%）
調査期間	令和5年9月11日（月）～10月3日（火） ※ただし、10月3日（火）までの回収分を含む。

※例年、郵送により2,000人を対象に調査を行っていたが、令和4年度より市公式 LINE による調査を加えた。

3. 調査結果の見方

○回答は、原則として各質問の調査数を基数とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。

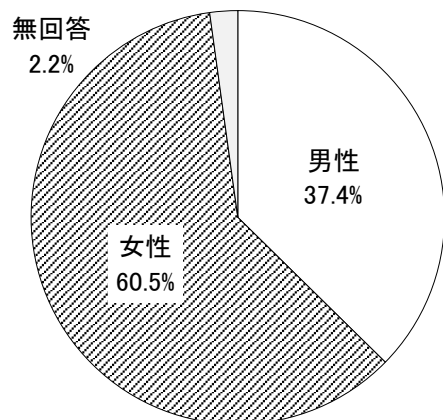
○本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

第2章 調査結果

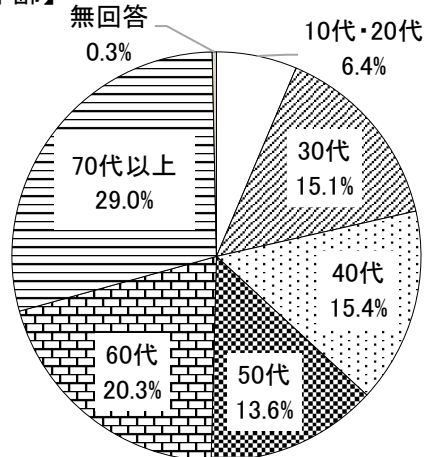
1. 対象者の基本属性

(1) 基本属性

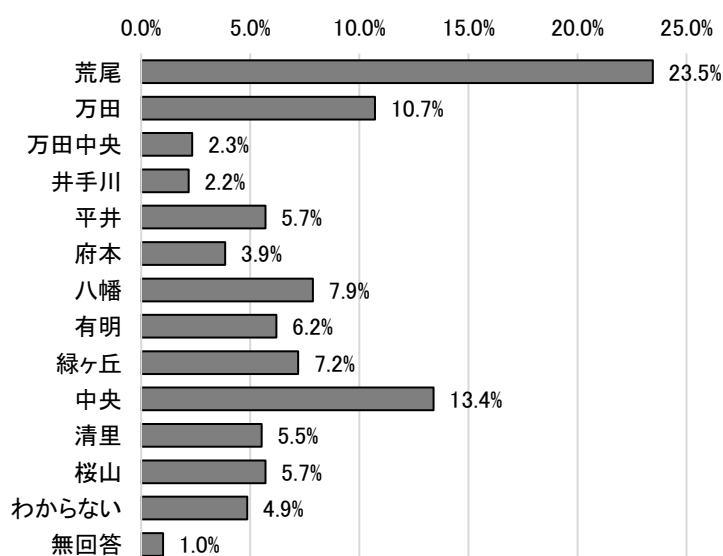
【性別】



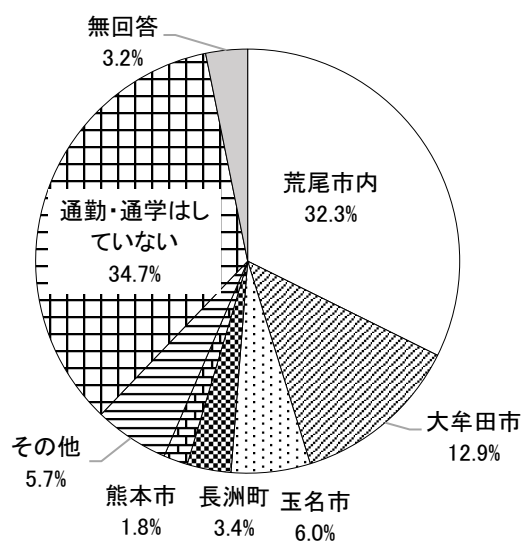
【年齢】



【居住地区】



【通勤地・通学地】



回答者の性別は、「女性」（60.5％）が過半数を占める。

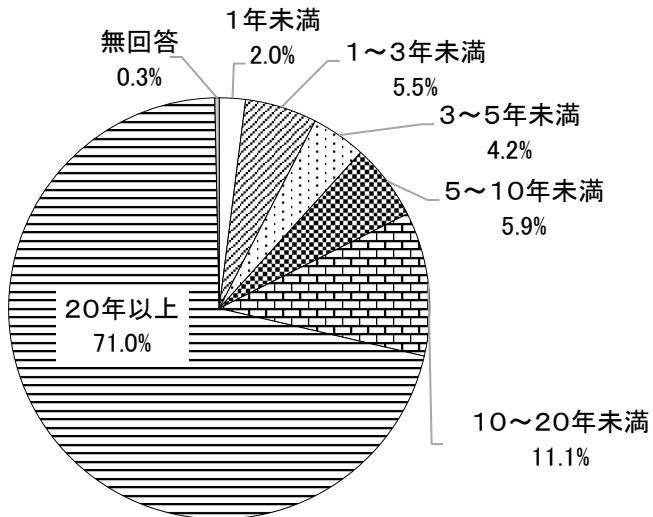
年齢は「70代以上」（29.0％）が最も高く、これに続く「60代」（20.3％）を合わせると回答者全体のほぼ半数（49.3％）になる。次いで「40代」（15.4％）、「30代」（15.1％）となっている。

居住地区は、「荒尾」（23.5％）が最も高く、次いで「中央」（13.4％）、「万田」（10.7％）となっている。

勤務地・通学地は、「荒尾市内」（32.3％）が最も高く、次いで「大牟田市」（12.9％）となっている。

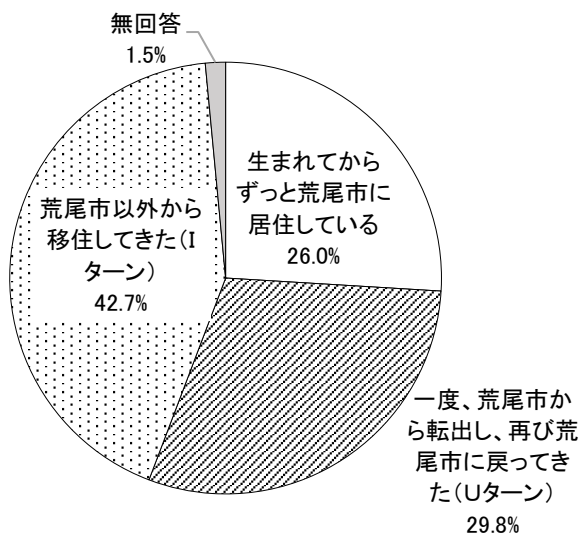
(2) 移住の有無

【荒尾市での居住年数】



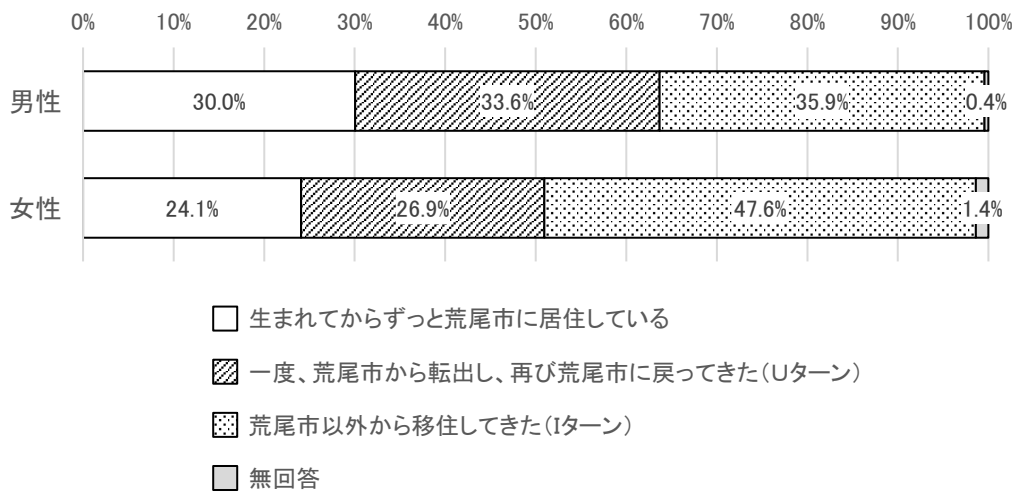
荒尾市での居住年数をみると、「20年以上」（71.0%）が最も高い。以下、居住年数が短くなるにつれて、割合も少なくなる傾向がある。

【移住の有無】



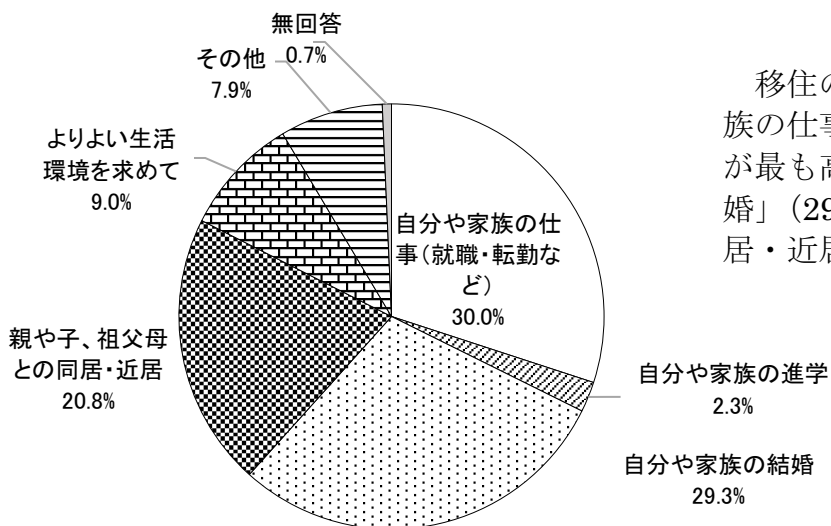
移住の有無をみると、「荒尾市以外から移住してきた（Iターン）」（42.7%）が最も高く、次いで「一度、荒尾市から転出し、再び荒尾市に戻ってきた（Uターン）」（29.8%）と、移住経験のある方が7割超となっている。

【男女別】



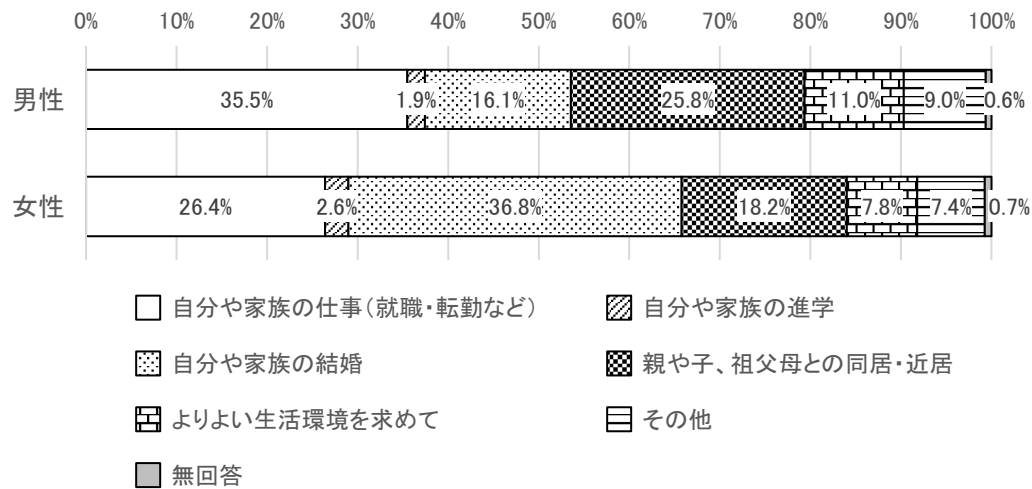
男女別にみると、男女ともに「荒尾市以外から移住してきた（Iターン）」の割合が最も高い。なお、移住経験の視点からみると、女性は「Iターン」の割合が男性よりも高くなっている。

【移住の目的・きっかけ】



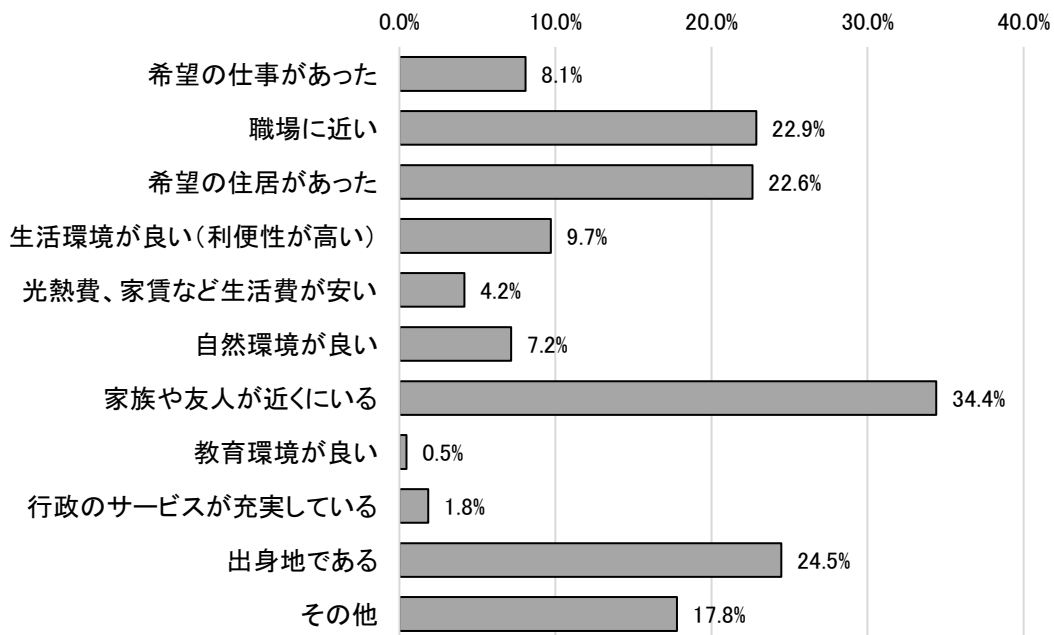
移住の目的・きっかけは、「自分や家族の仕事（就職・転勤など）」（30.0％）が最も高く、次いで「自分や家族の結婚」（29.3％）、「親や子、祖父母との同居・近居」（20.8％）となっている。

【男女別】



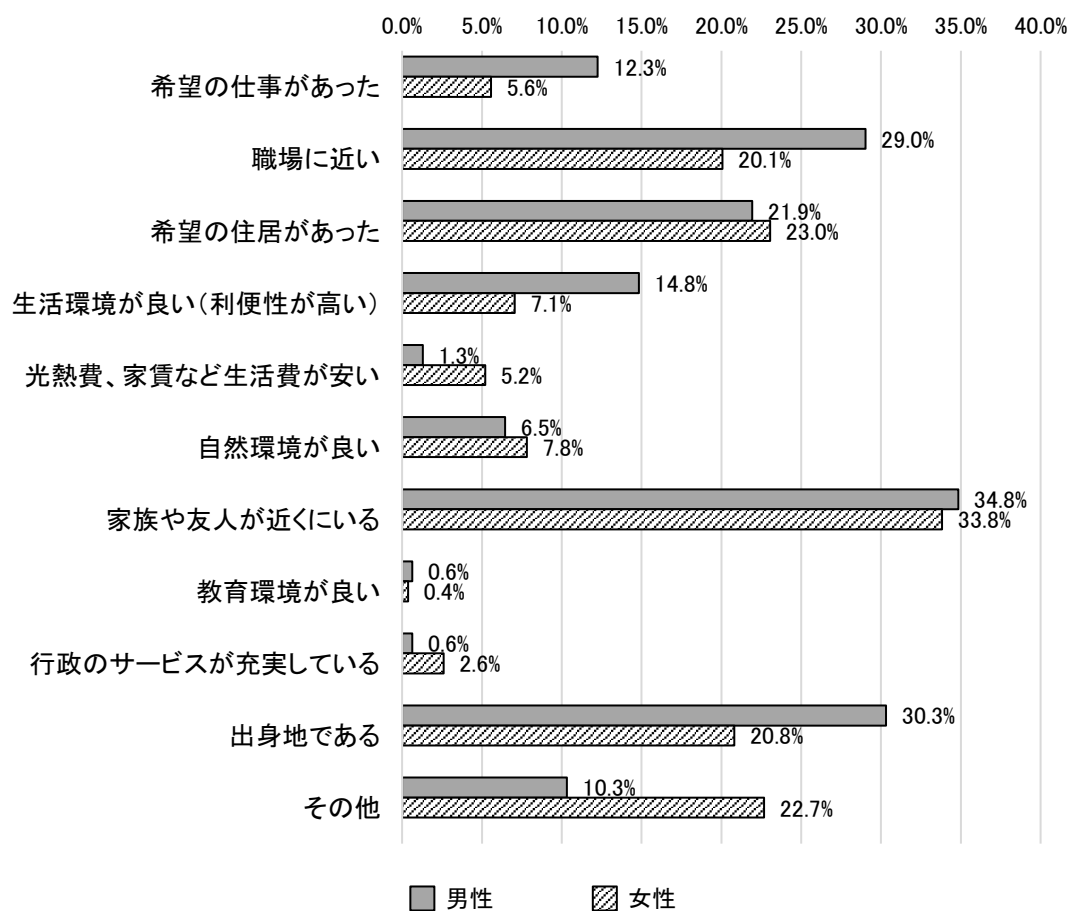
移住の目的・きっかけを男女別にみると、男性は「自分や家族の仕事（転職・転勤など）」（35.5％）の割合が最も高い。一方、女性は「自分や家族の結婚」（36.8％）をきっかけに移住する割合が最も高い。

【転居先を荒尾市に決めた理由】



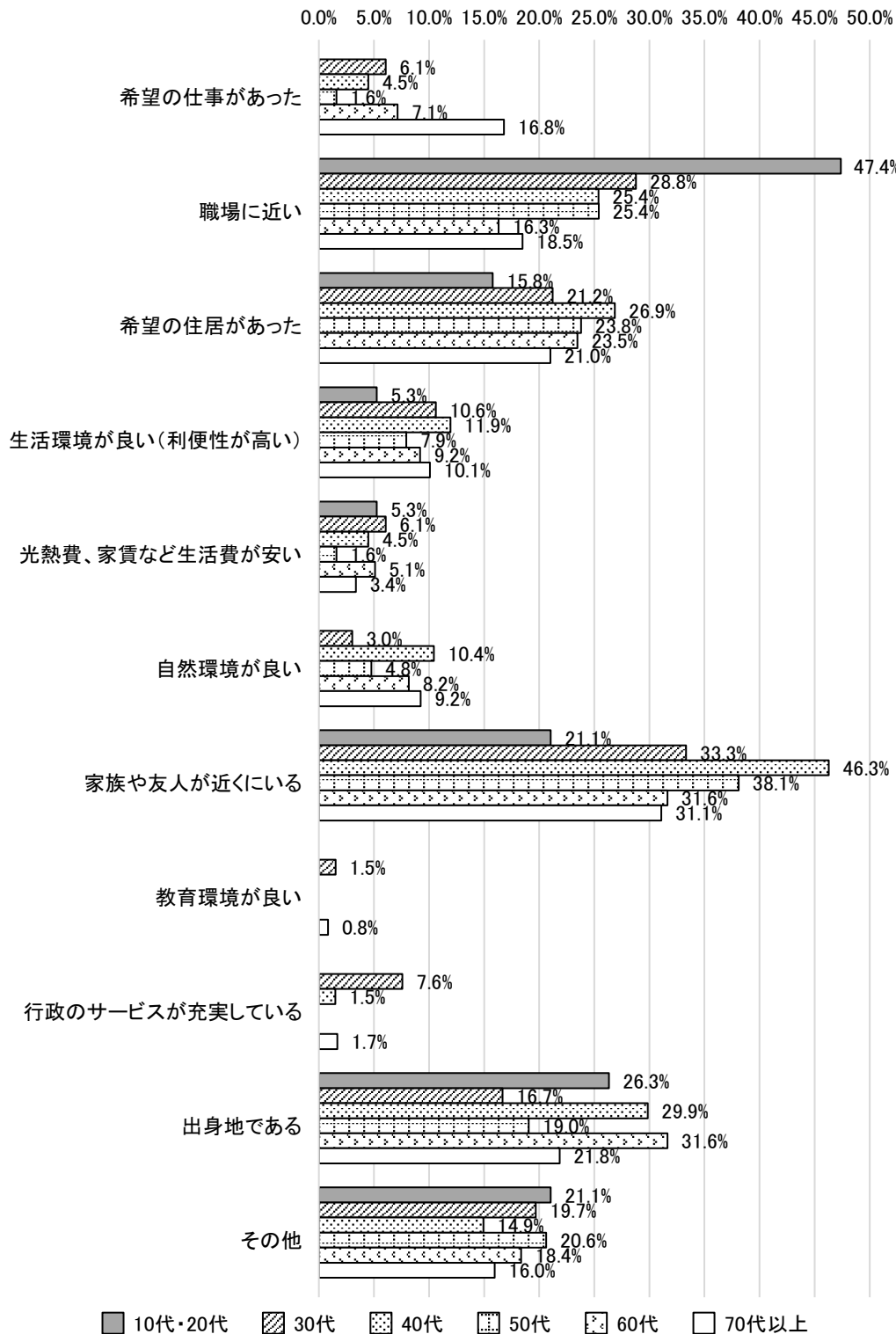
転居先を荒尾市に決めた理由は、「家族や友人が近くにいる」（34.4％）が最も高く、次いで「出身地である」（24.5％）、「職場に近い」（22.9％）となっている。

【男女別】



転居先を荒尾市に決めた理由を男女別にみると、男性は「家族や友人が近くにいる」(34.8%)、次いで「出身地である」(30.3%)が高く、女性は「家族や友人が近くにいる」(33.8%)、次いで「希望の住居があった」(23.0%)が高くなっている。

【年代別】



転居先を荒尾市に決めた理由を年代別にみると、10代・20代は「職場に近い」(47.4%)が突出して最も高くなっている。

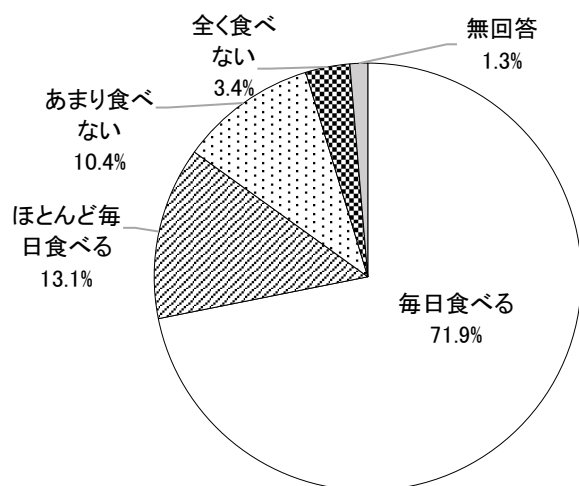
また、30代～70代は「家族や友人が近くにいる」高くなっており、年代によって理由に差がみられる。

2. 健康・福祉について

(1) 朝食の摂取状況

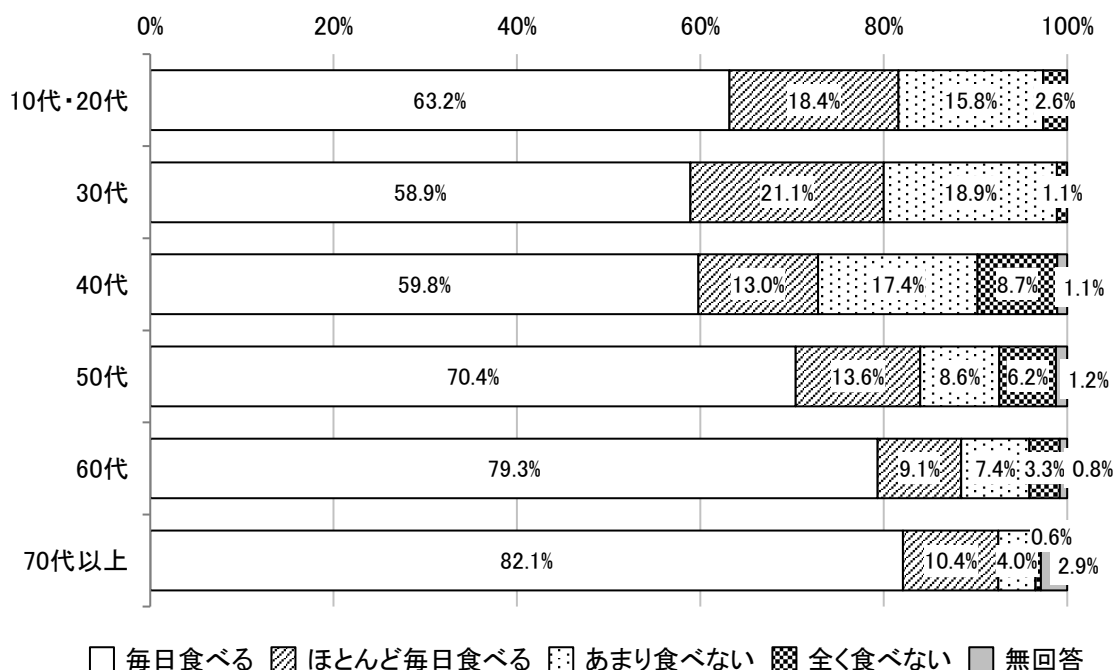
問1 あなたは、普段朝食を食べていますか。

【朝食の摂取状況】



朝食の摂取状況は、「毎日食べる」(71.9%) が7割以上を占めており、前回(75.1%)同様の傾向となっている。これに、「ほとんど毎日食べる」を加えると、8割強が普段朝食を摂取していることが分かる。

【年代別】



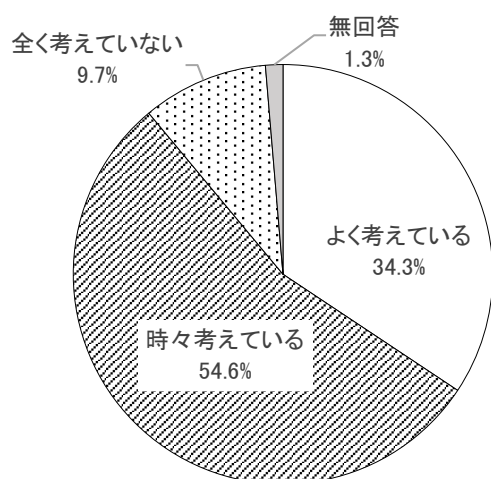
年代別にみると、50代～70代以上は「毎日食べる」の割合が7割以上と高く、「ほとんど毎日食べる」も加えると40代以外では8割以上が普段朝食を摂取していることが分かる。

一方、「毎日食べる」の割合は、30代(58.9%)が最も低くなっている。

(2) 栄養バランスへの関心

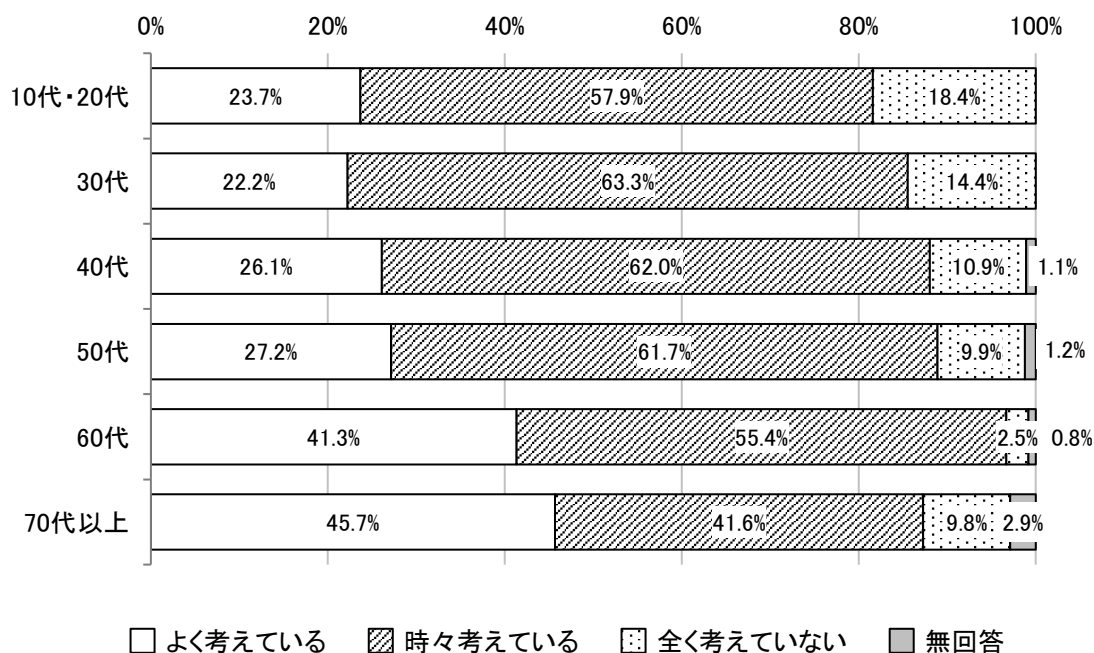
問2 あなたは、食事をとるときに栄養のバランスを考えて食べていますか。

【栄養のバランスへの関心】



栄養のバランスの関心については、「よく考えている」「時々考えている」を合わせた割合が8割以上を占めており、市民の関心が非常に高いことがうかがえる。

【年代別】

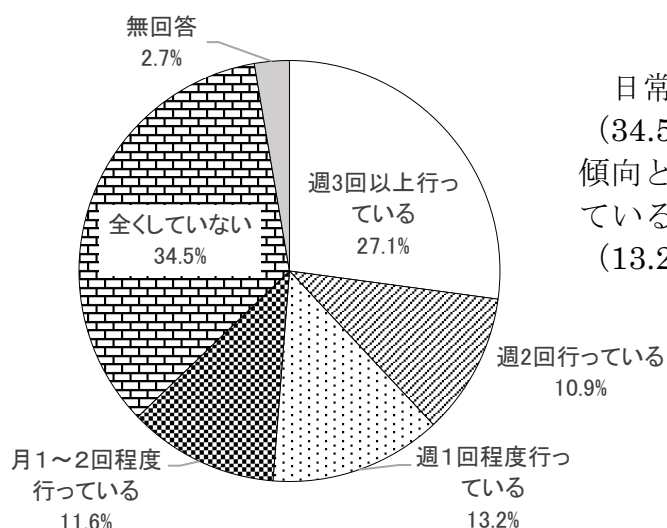


年代別にみると、30代以下は栄養バランスへの関心が低く、年代が上がるにつれ、関心が高くなる傾向にある。

(3) 日常的な運動の状況

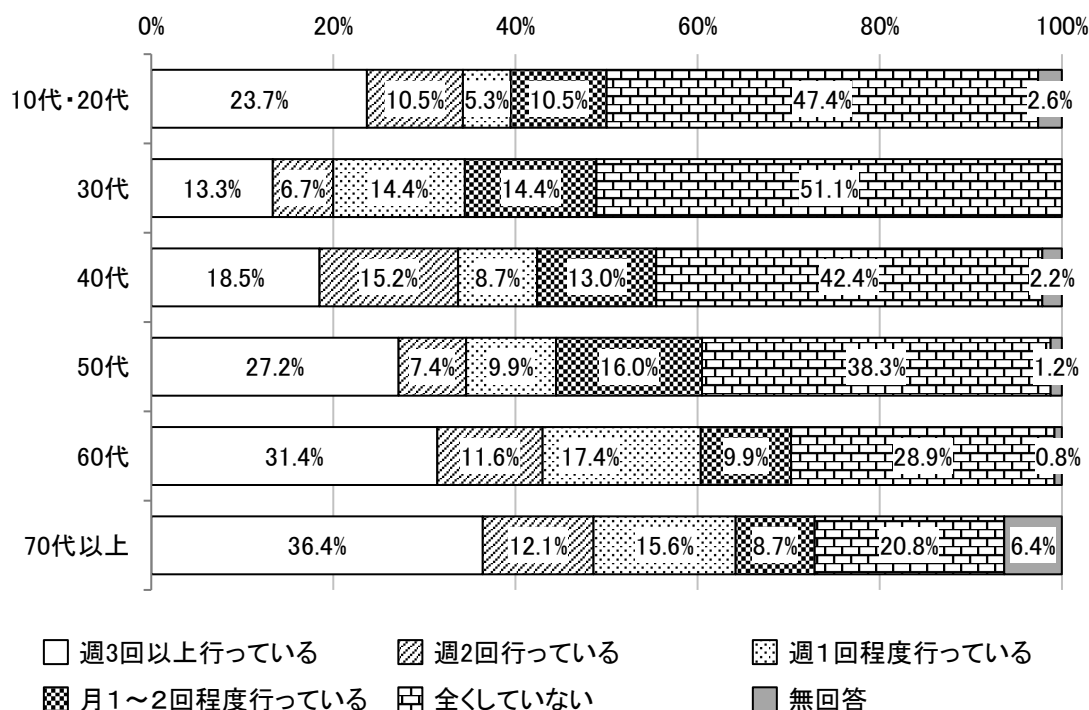
問3 あなたは、日常的に1回30分以上の汗ばむ程度の運動をしていますか。

【日常的な運動の状況】



日常的な運動の状況は、「全くしていない」(34.5%)が最も高く、前回(34.8%)同様の傾向となっており、次いで、「週3回以上行っている」(27.1%)、「週1回程度行っている」(13.2%)となっている。

【年代別】

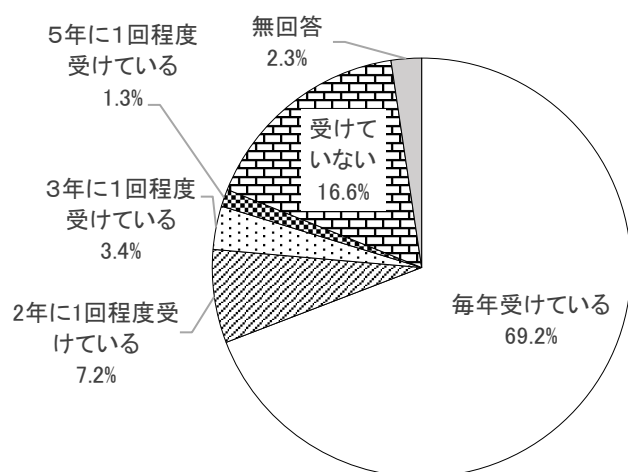


年代別にみると、30代では「全くしていない」が5割を超えており、勤労世代の運動頻度が少なくなっているため、日常的な運動につなげる切っ掛けづくりを行うことが必要である。

(4) 健康診断や人間ドックの受診状況

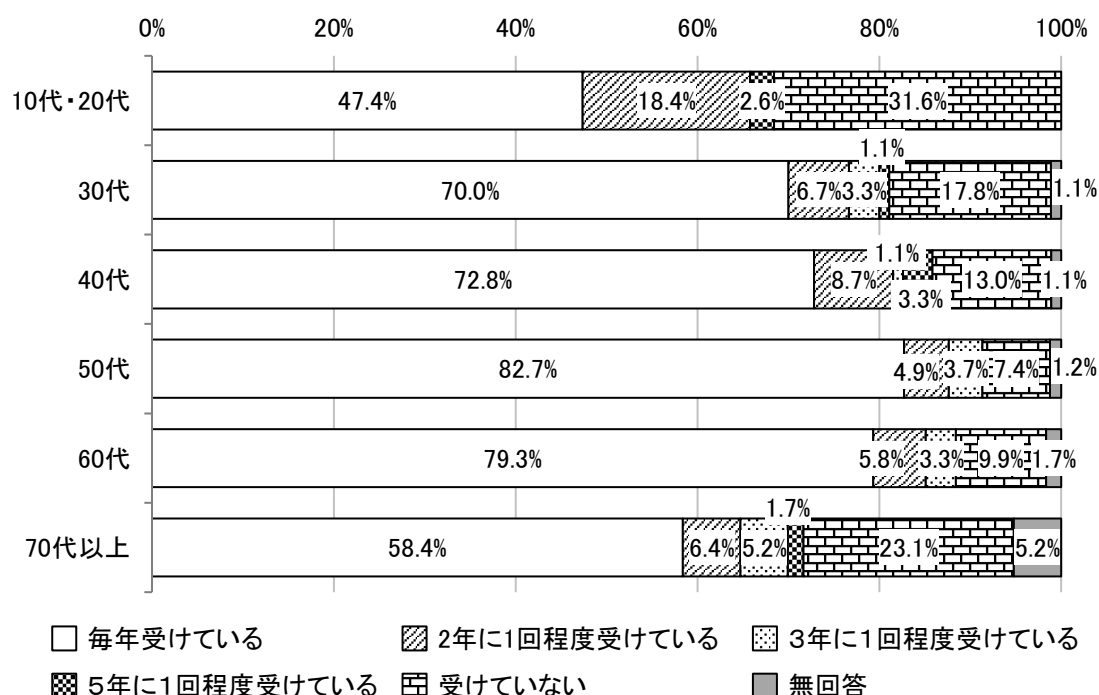
問4—1 あなたは、どれくらいの間隔で健康診断や人間ドックを受けていますか。

【健康診断や人間ドックの受診状況】



健康診断や人間ドックの受診状況は、「毎年受けている」(69.2%)が最も高く、次いで「受けていない」(16.6%)、「2年に1回程度受けている」(7.2%)となっており、前回とほぼ同様の傾向であった。

【年代別】

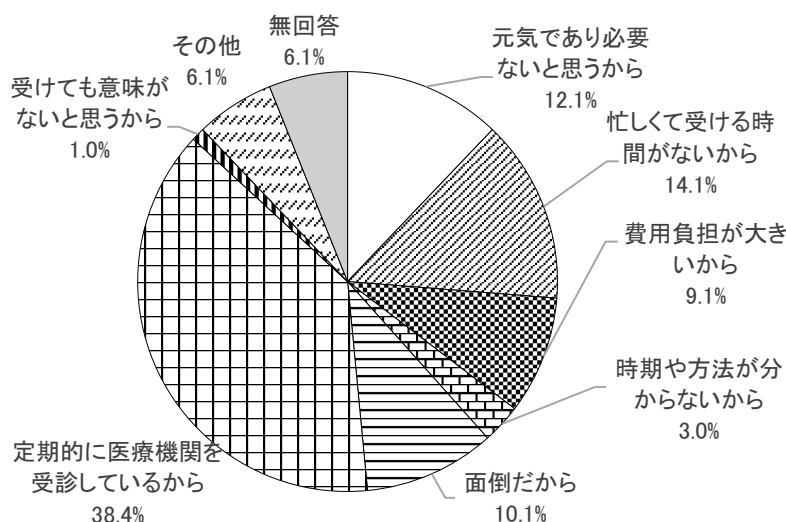


年代別にみると、30代の「毎年受けている」(70.0%)割合が前回(78.6%)より減少している一方、40代では(72.8%)と前回(66.1%)より6.7ポイント増加している。

勤労世代である30代・40代については、「受けていない」の割合が多く、早期発見・予防につなげるため、受診率を上げる効果的な取り組みが必要である。

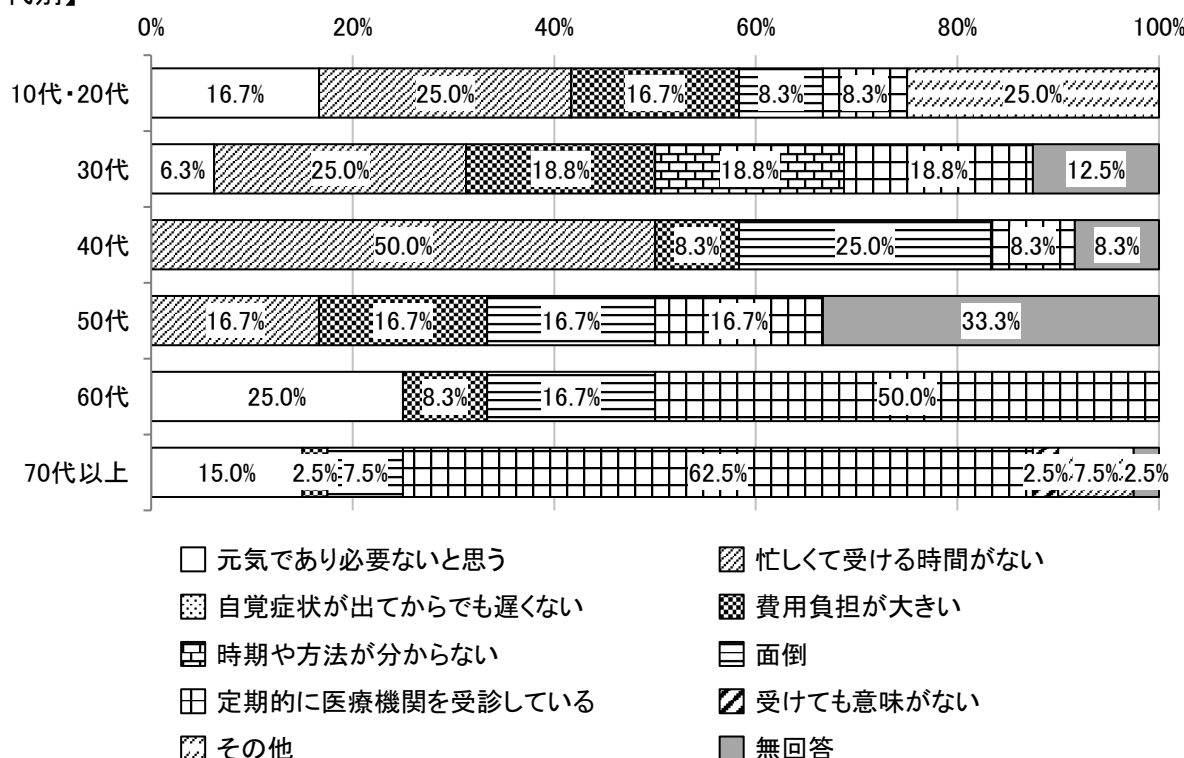
問4－2 （問4-1で「5. 受けていない」と回答した方）
その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

【健康診断や人間ドックを受けていない理由】



健康診断や人間ドックを受けていない理由は、「定期的に医療機関を受診しているから」（38.4%）が最も高くなっており、前回（29.4%）より大きく増加し、「忙しくて受ける時間がないから」（14.1%（前回13.2%））、もわずかに増加している。一方、「面倒だから」（10.1%（前回19.1%））、「費用負担が大きいから」（9.1%（前回11.8%））は減少している。

【年代別】



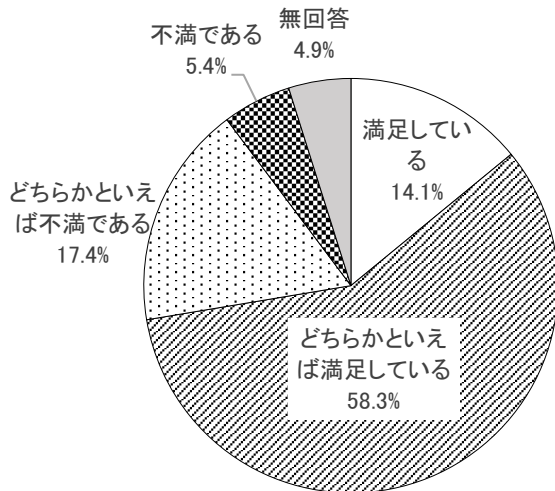
年代別にみると、40代においては、「忙しくて受ける時間がないから」（50.0%）と前回（37.5%）から増加しており、時間の確保が課題である。

一方で、60代以上は、「定期的に医療機関を受診している」の割合が高く、随時、医療機関で検査している方が多いことが分かるものの、「元気でであり必要ないと思う」の割合が高く、自己判断で受けない方への受診勧奨が課題である。

(5) 保健や医療体制の満足度

問5-1 あなたは、荒尾市の保健サービスや医療体制についてどのように思いますか。

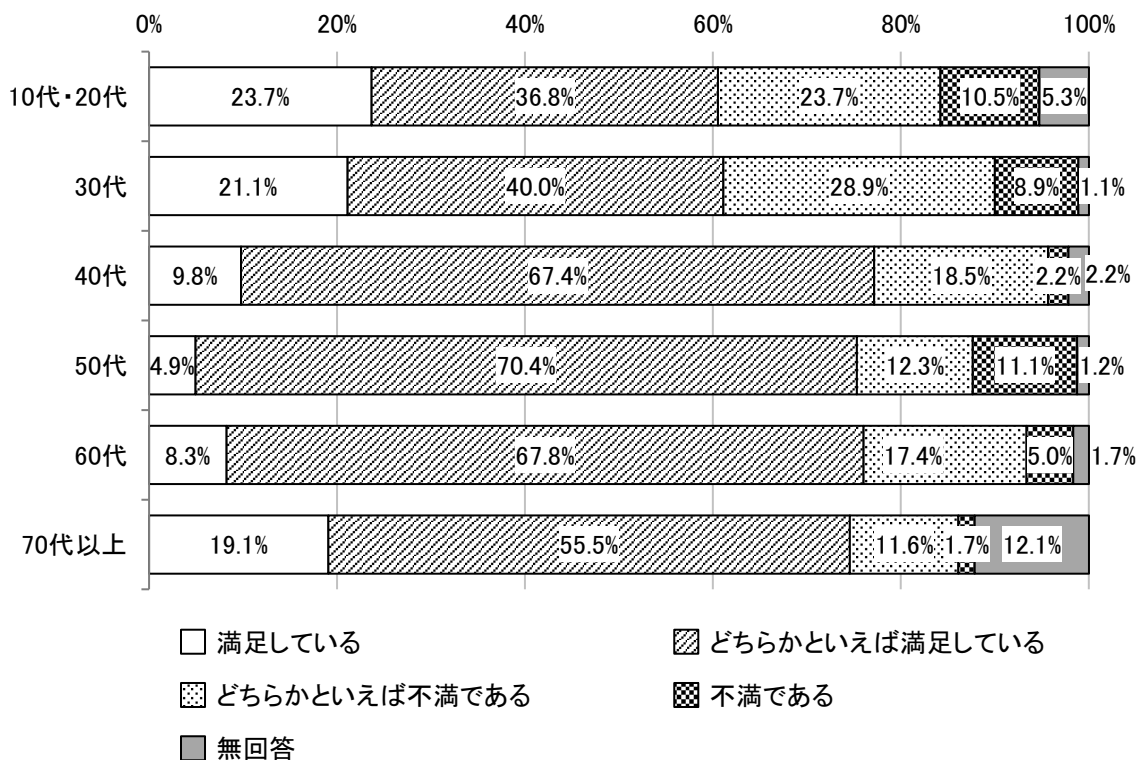
【保健サービスや医療体制の満足度】



荒尾市の保健サービスや医療体制の満足度は、「どちらかといえば満足している」(58.3%) が最も高く、これに「満足している」を合わせた『満足』層が 7 割以上 (72.4%) となっている。

一方、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた『不満』層は 22.8% となっており、前回 (『満足』層 : 72.9%、『不満』層 : 19.5%) から満足度並びに不満度が下降している。

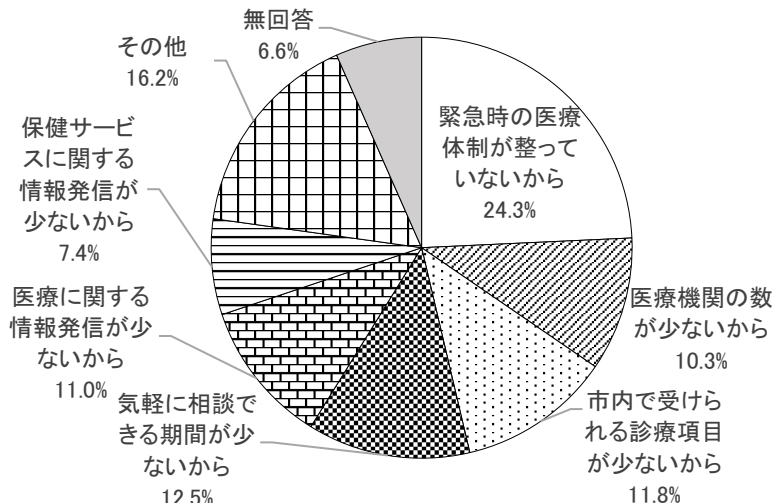
【年代別】



保健サービスや医療体制の満足度を年代別にみると、『満足』している層では 40 代 (77.2%)、50 代 (75.3%)、60 代 (76.1%) が 7 割を超えて高くなっている。また、『不満』の層では、30 代 (37.8%) が他の年代より高くなっている。

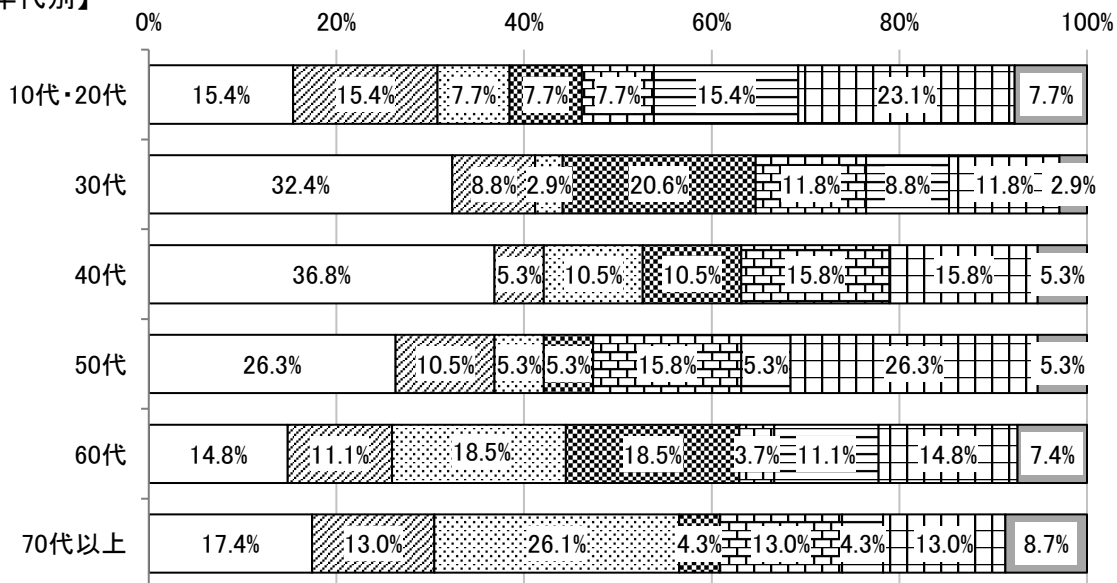
問5-2 （問5-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方）
その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

【保健サービス・医療体制に不満な理由】



荒尾市の保健サービスや医療体制に不満な理由は、「緊急時の医療体制が整っていないから」（24.3%）が最も高く、次いで「その他」（16.2%）、「気軽に相談できる期間が少ないから」（12.5%）、「市内で受けられる診療項目が少ないから」（11.8%）となっており、医療体制の充実が求められている。

【年代別】



- ☐ 緊急時の医療体制が整っていない
- ☐ 医療機関の数が少ない
- ☐ 市内で受けられる診療項目が少ない
- ☐ 気軽に相談できる機関が少ない
- ☐ 医療に関する情報発信が少ない
- ☐ 保健サービスの情報発信が少ない
- ☐ その他
- ☐ 無回答

年代別にみると、30代から40代の子育て世代においては、「緊急時の医療体制が整っていないから」の割合が他の年代より高くなっていることから、子どもが夜中に体調が悪くなったときなどの緊急時に対応できる医療機関の充実が求められていると言える。

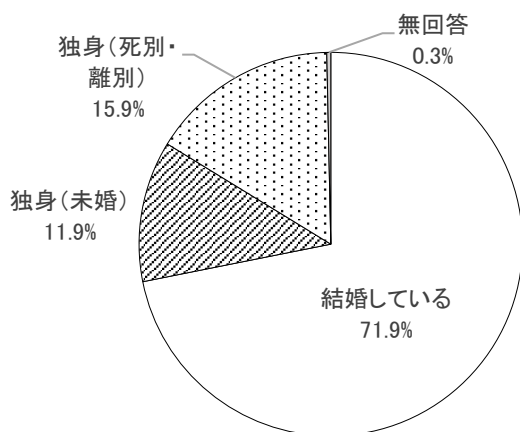
一方で、60代以上では、「市内で受けられる診療項目が少ない」が多く、市内医療機関の診療科目の充実も求められている。

3. 結婚・出産・子育てについて

(1) 結婚について

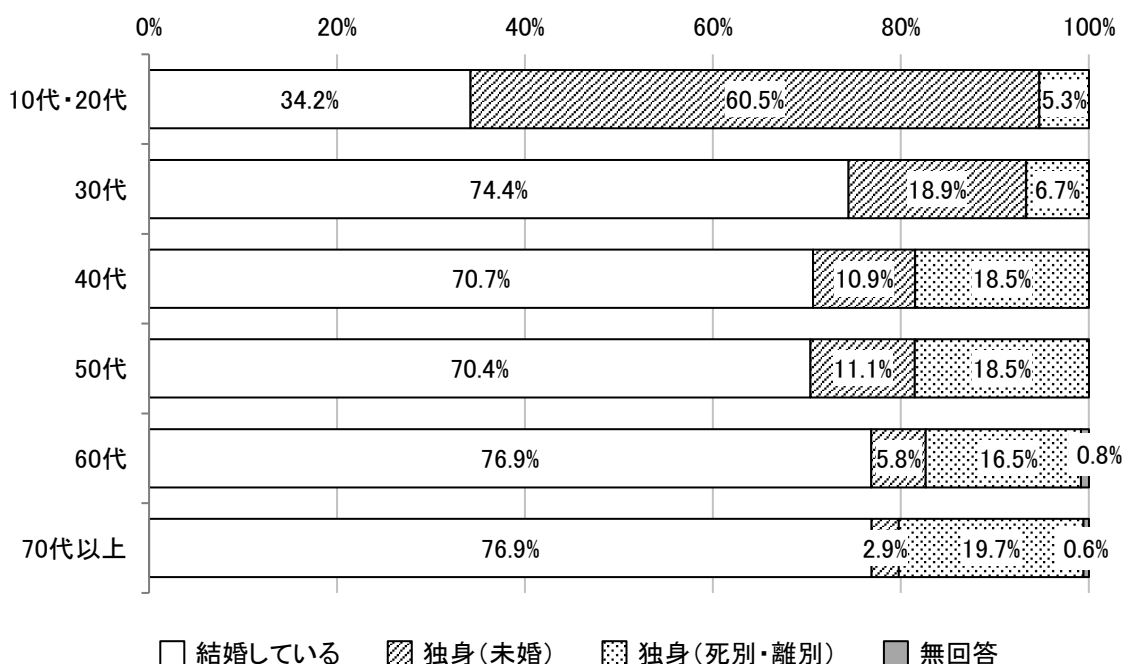
問6 あなたは、結婚していますか。

【婚姻状況】



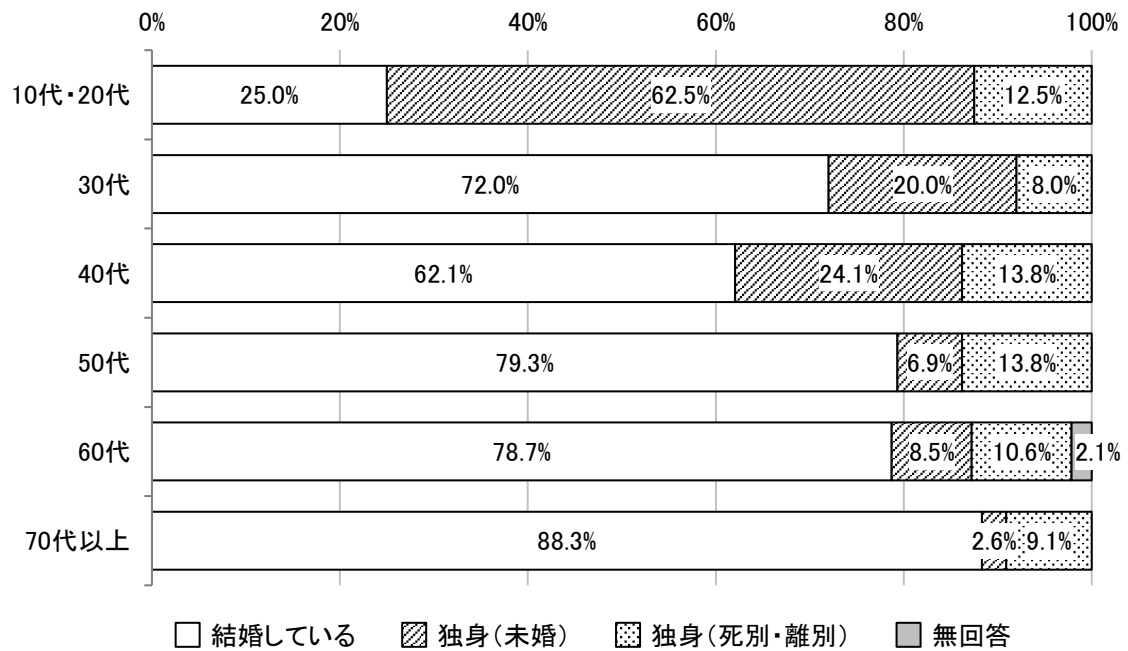
婚姻状況をみると、「結婚している」(71.9%)が7割、「独身(未婚、離別・死別の合計)」(27.8%)が3割弱となっている。

【年代別】

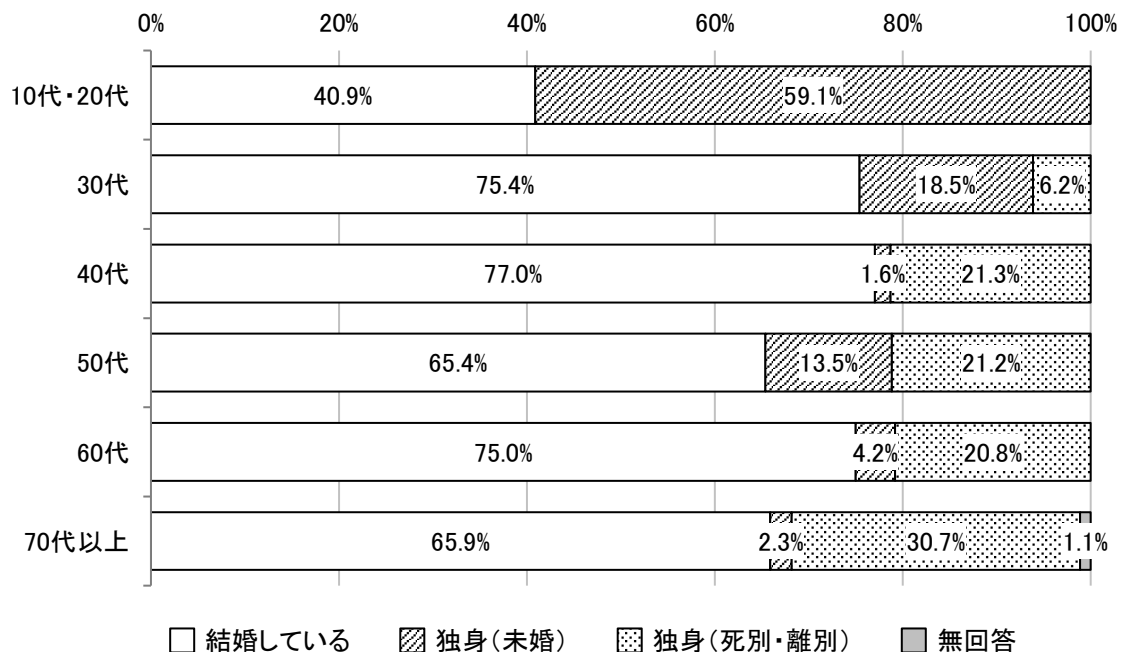


年代別にみると、10代・20代までは「独身(未婚)」(60.5%)が全体の約6割を占めるが、30代になると「結婚している」(74.4%)が7割を占めるようになり、30代で結婚する方が多いことが分かる。一方で、40代、50代になると独身(未婚)、独身(死別・離別)がそれぞれ3割弱と大きくなっている。

【年代別（男性）】



【年代別（女性）】

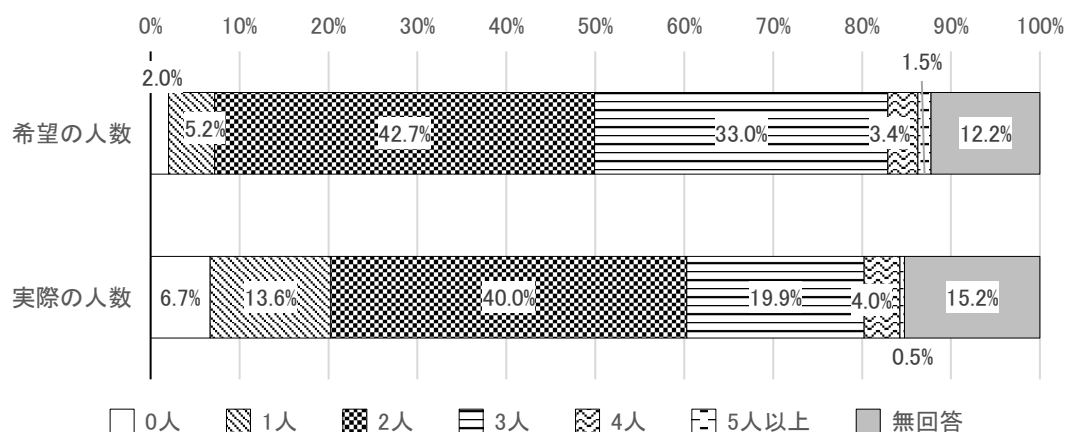


男女別では10代・20代の男性の婚姻率（25.0％）が女性（40.9％）より15.9ポイント低くなっており、未婚率が高いことが分かる。また、男性は30代、40代の独身（未婚）が独身（死別・離別）を大きく上回っているのに対し、女性の40代、50代、60代は独身（死別・離別）が大きく上回っている。

(2) 出産について

問 7-1 現在の子どもの有無に関わらず、あなたの希望する（希望していた）子どもの人数は何人くらいですか。
また、実際の子どもの人数は何人ですか。

【希望する（希望していた）子どもの人数・実際の子どもの人数】



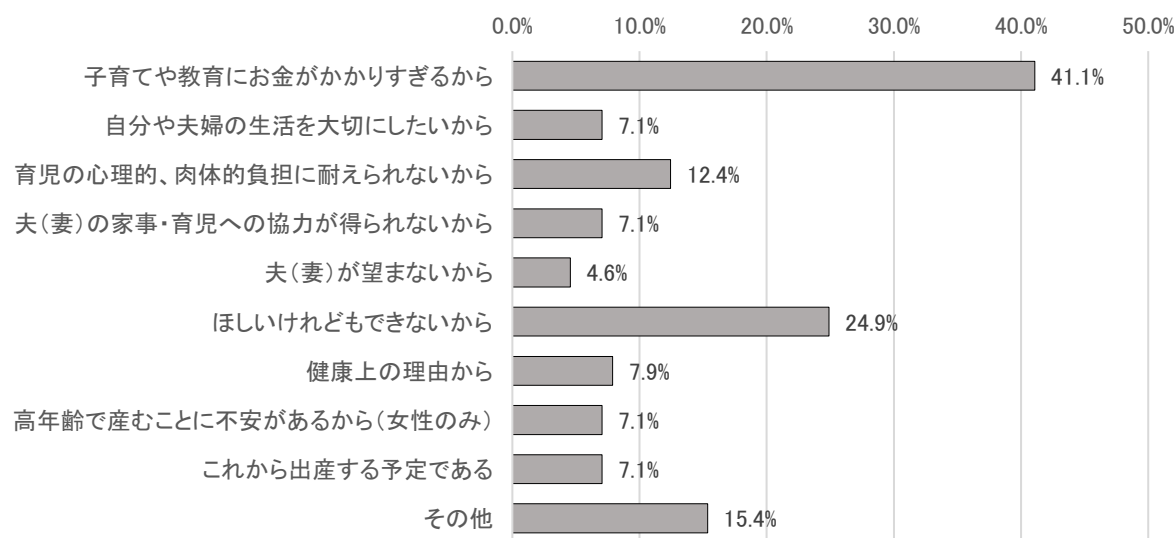
希望する（希望していた）子どもの人数と実際の子どもの人数をみると、希望では「2人」（42.7%）が最も高く、次いで「3人」（33.0%）となっており、2～3人を希望する人が75.7%と7割を超えている。

一方、実際の子どもの人数では「2人」（40.0%）が最も高く、希望よりも2.7%低い。「0人」については、希望の人数（2.0%）に対し、実際の子どもの人数（6.7%）が4.7ポイント高い。

また、希望と実際の子どもの人数をみると、0人～1人までは、実際の子どもの人数が希望の人数を上回り、2人以上になると、実際の子どもの人数が希望の人数を下回る傾向にある。

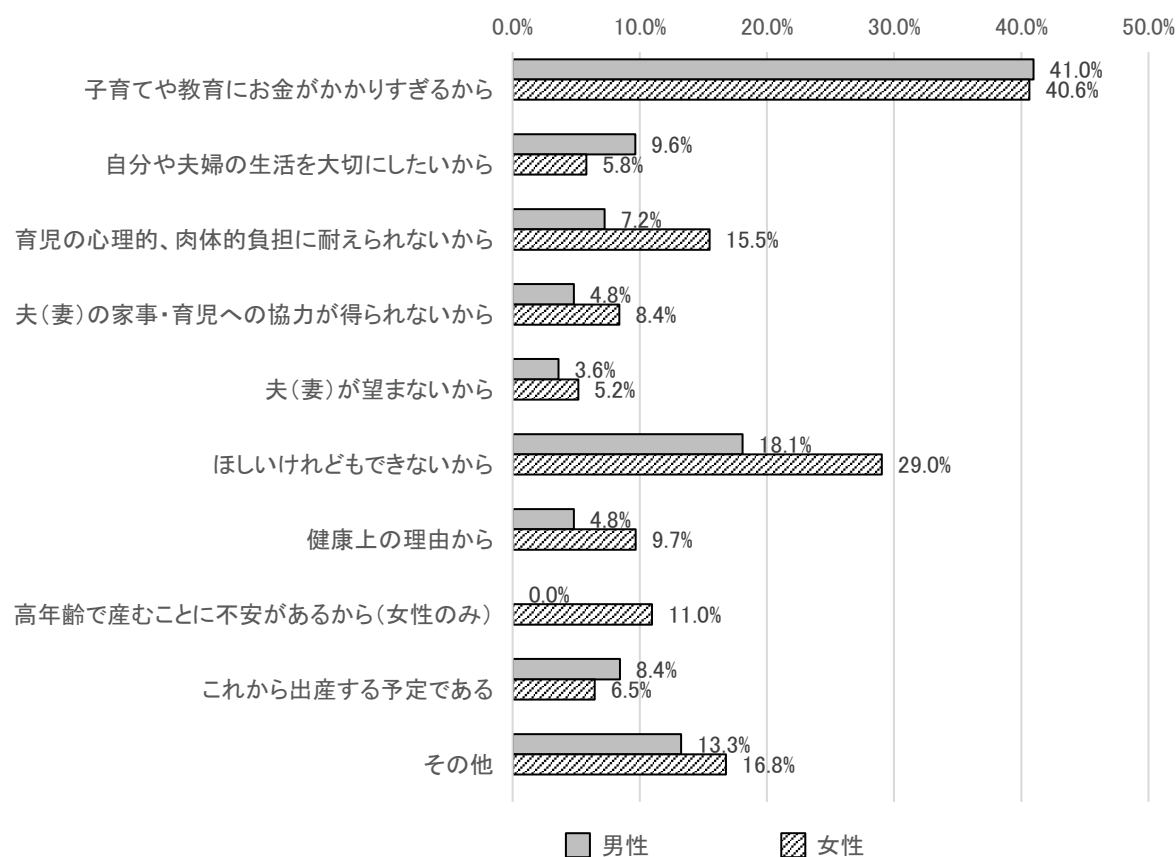
問 7-2 （問 7-1 で「希望する（希望していた）子どもの人数」より「実際」の方が少ない方）
「実際の子どもの人数」の方が少ない理由として、どのようなことが考えられると思いますか。【3つまで】

【希望する子どもの人数より実際の子どもの人数が少ない理由】



希望する子どもの人数より実際の子どもの人数の方が少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（41.1％）が最も高く、次いで「ほしいけれどもできないから」（24.9％）となっている。

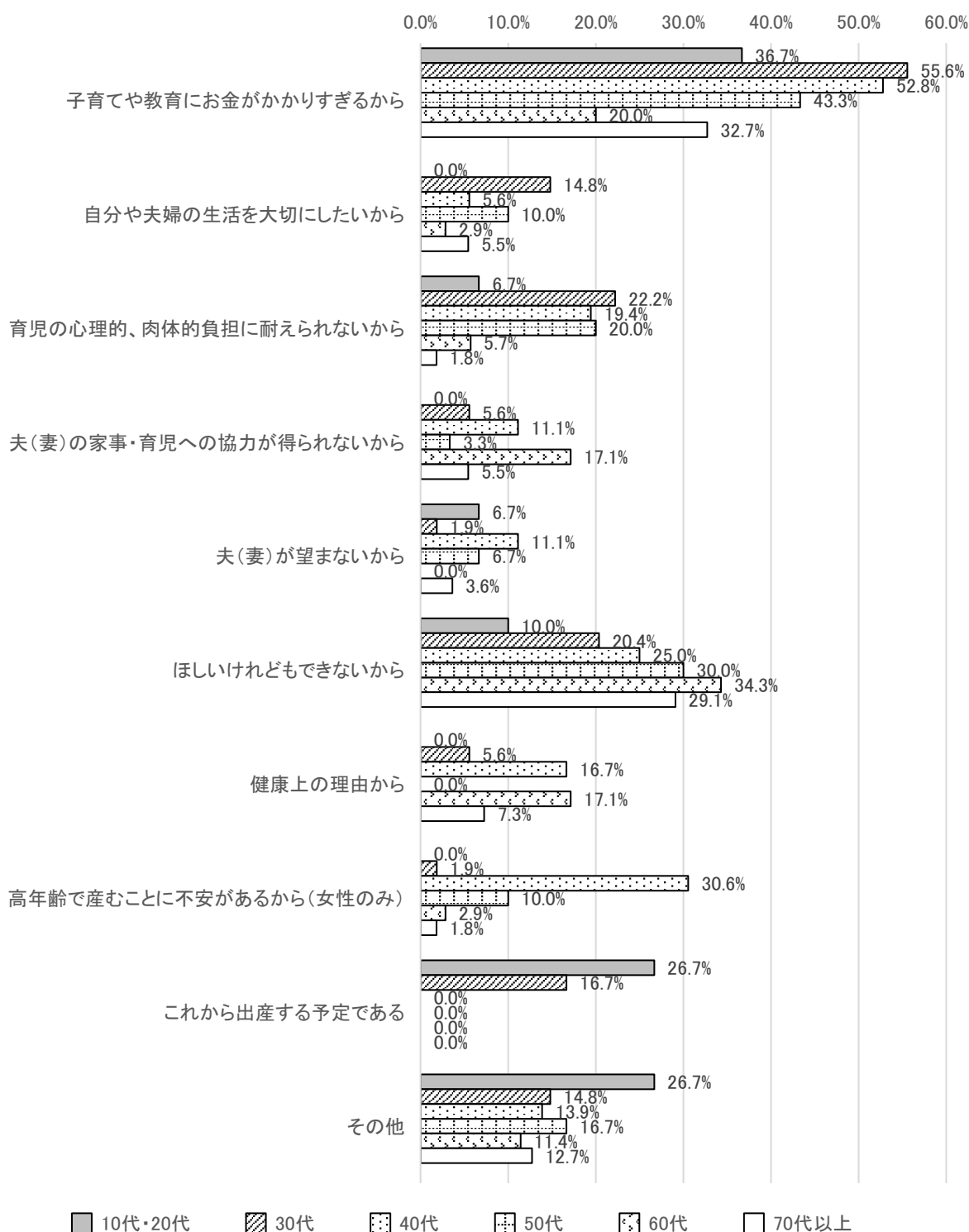
【男女別】



男女ともに、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」、「ほしいけれどもできないから」との回答が多いが、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」、「夫(妻)の家事・育児への協力が得られないから」の回答では、男女の差異が顕著にみられた。

女性は、育児や家事に対する負担を感じる回答が多く、子育て支援策を考える上で、経済的支援だけでなく、男性も育児や家事に積極的に参画するよう働きかけを行うとともに、幼少期から男女の役割を固定化させない男女共同の視点での家庭教育の必要もあると考える。

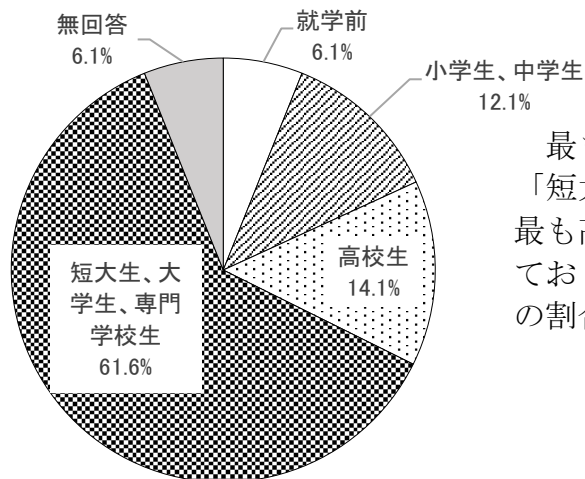
【年代別】



年代別にみると、子育て世代の30代及び40代では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も高くなっている。その他の答えとしては、「まだ独身だから」という答えが多かった。

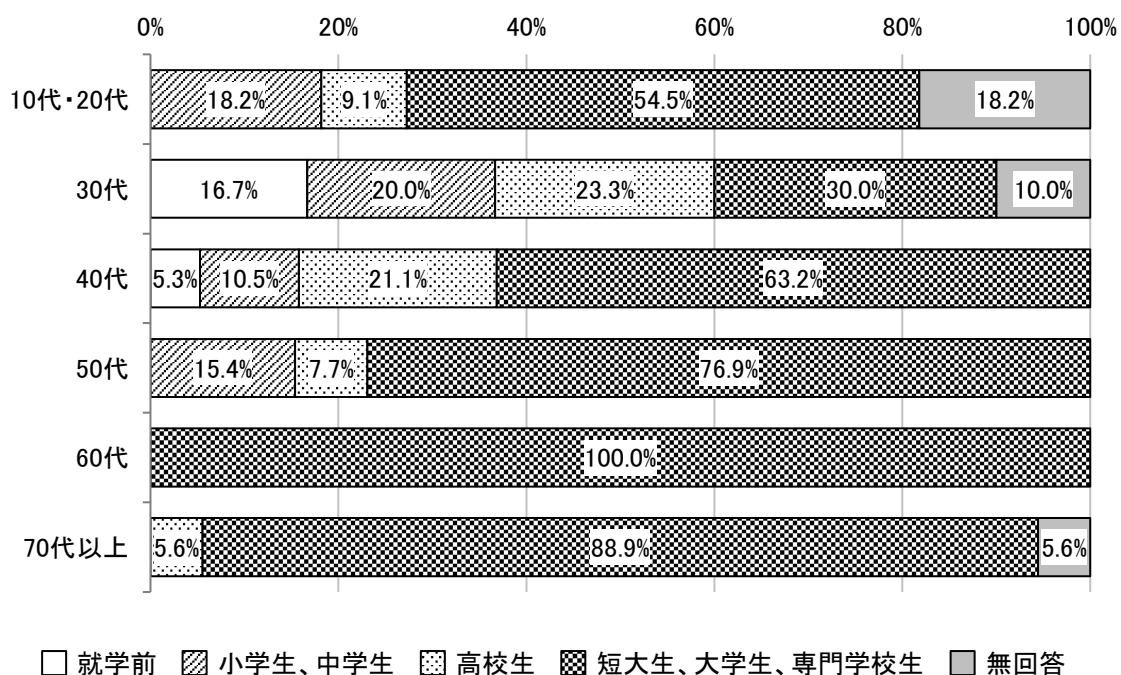
問7-3 （問7-2で「1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した方）
最も経済的負担を感じる年代はどれですか。【主なもの1つ】

【最も経済的負担を感じる年代】



最も経済的負担を感じる子育ての年代は、「短大生、大学生、専門学校生」（61.6%）が最も高く、次いで「高校生」（14.1%）となっており、児童手当の支給対象から外れた年代の割合が高くなっている。

【年代別】



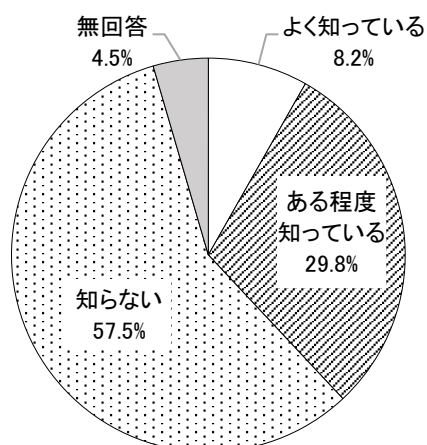
年代別にみると、50代以上は「短大生、大学生、専門学校生」と答える方の割合が突出して高く、その割合は年代が上がるにつれ、顕著になる傾向がある。

一方、40代以下の若年層は、他の年代と比較して、「高校生」と答える方の割合が高く、中学生以下の子どもがいる世帯だけでなく、高校生以上の子どもがいる世帯にも経済的支援の強化を検討する必要がある。

(3) 子育てについて

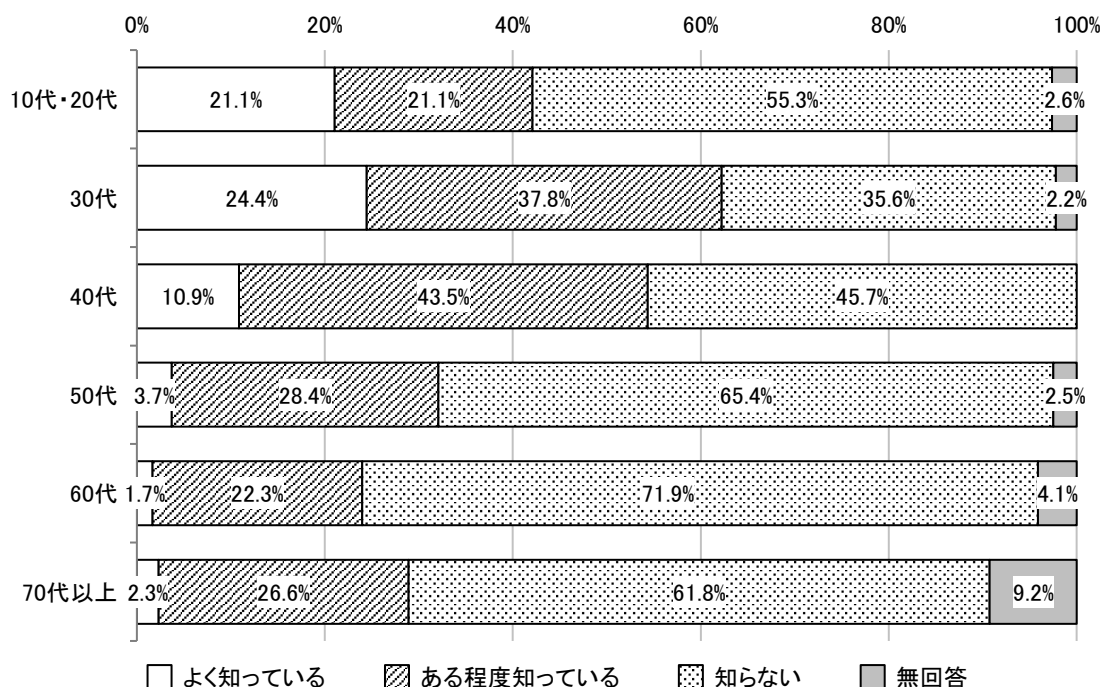
問 8 あなたは、荒尾市の「子育て世代包括支援センター（すこやか未来課保健センター）」が妊娠期から子育て期の支援を行っていることを知っていますか。

【子育て世代包括支援センターの認知度】



子育て世代包括支援センターを「知らない」（57.5%）と回答した割合が 5 割を超えており、前回（60.4%）と前回とほぼ同様の傾向であった。

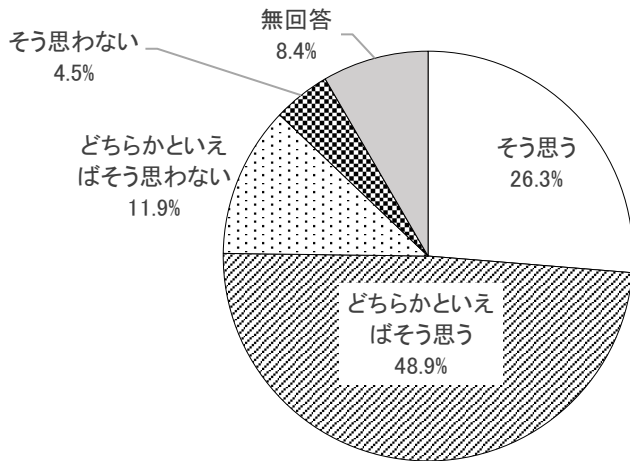
【年代別】



年代別にみると、50 代以上の世代において、「知らない」と回答する方の割合が過半数を占めているが、30 代は「よく知っている」、「ある程度知っている」を合わせた『知っている』層（62.2%）が 6 割を超えて高くなっており、就学前の子どもを多く抱えていると思われる世代には、認知されつつあることがうかがえる。

問9-1 あなたは、荒尾市で子育てをしたいと思いますか。

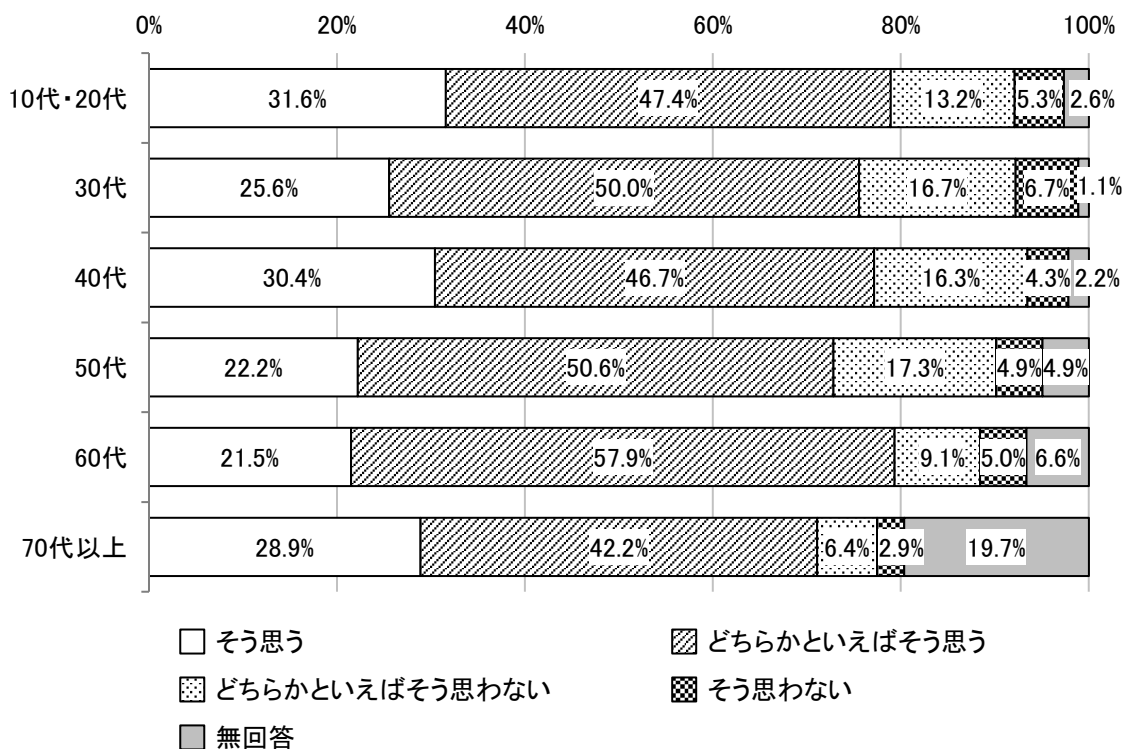
【荒尾市での子育て意向】



荒尾市で子育てをしたいかどうかを尋ねたところ、「どちらかといえばそう思う」(48.9%)が最も高く、次いで「そう思う」(26.3%)と7割強の方が荒尾市での子育ての意向があることが分かる。

一方、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせた『したいと思わない』層(16.4%)は前回(17.3%)より微減傾向となっている。

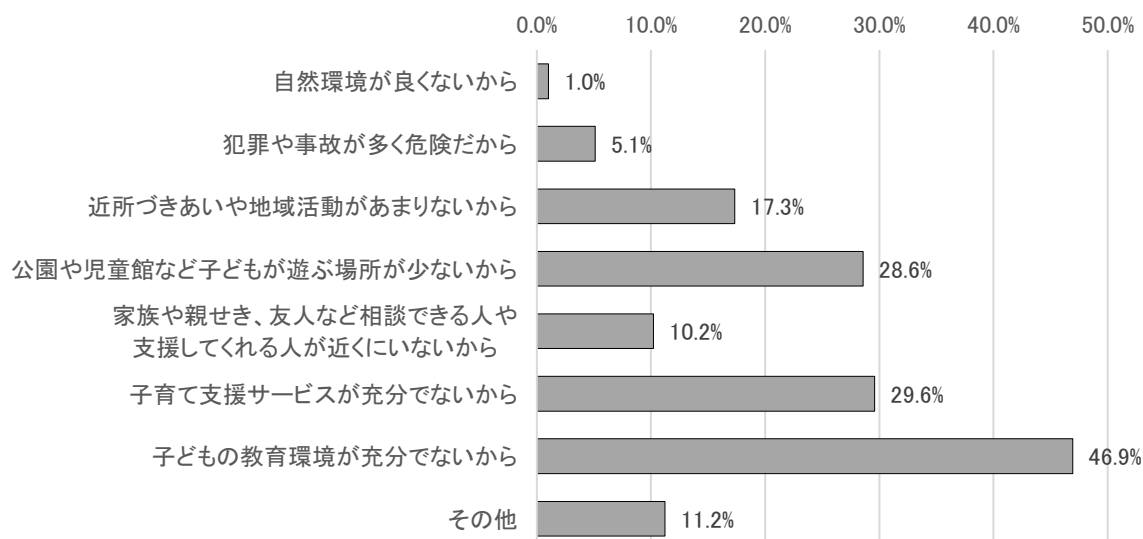
【年代別】



年代別にみると、全ての年代で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が7割を超えている。

問9-2 （問9-1で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と回答した方）
その理由はなぜですか。【2つまで】

【荒尾市での子育てをしたいと思わない理由】

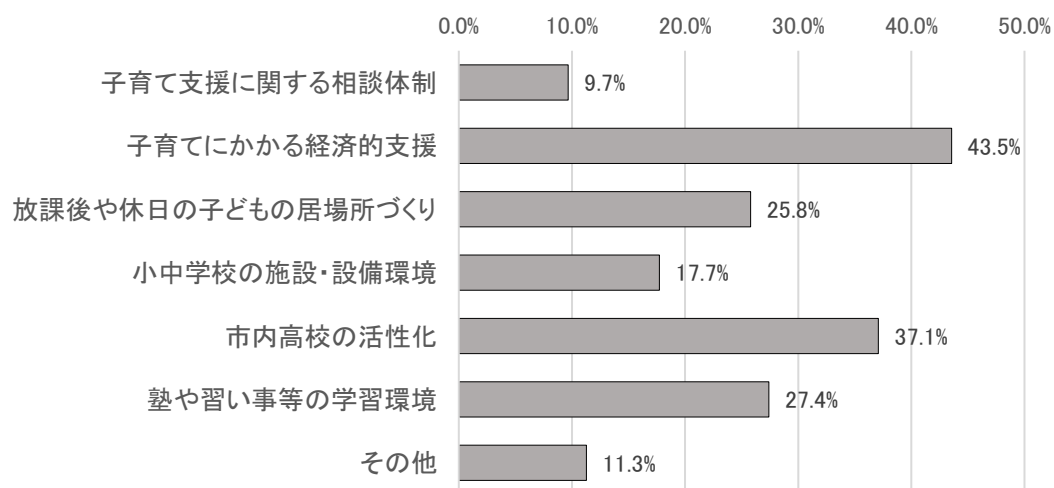


荒尾市で子育てをしたいと思わない理由をみると、「子どもの教育環境が充分でないから」（46.9％）が最も高く、次いで「子育て支援サービスが充分でないから」（29.6％）、「公園や児童館など子どもが遊ぶ場所が少ないから」（28.6％）が主な理由として挙げられている。

幼児期から青年期における遊び場所の提供のほか、学力向上等の取組みなど、教育環境の改善及び子育て支援サービスの拡充が必須であると思われる。

問9-3 （問9-2で「6. 子育て支援サービスが充分でないから」「7. 子どもの教育環境が充分でないから」と回答した方）どのような事柄が充実するとよいと思いますか。【2つまで】

【子育てで充実するとよいと思う事柄】



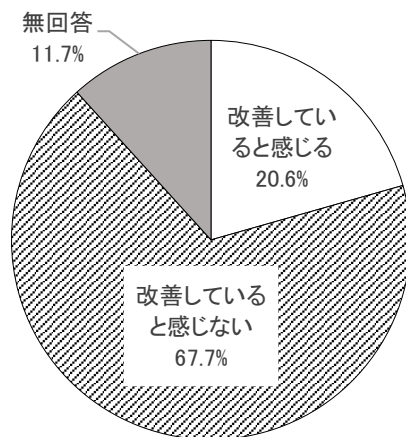
どのような事柄が充実するとよいと思うかをみると、「子育てにかかる経済的支援」（43.5%）が最も高く、次いで「市内高校の活性化」（37.1%）、「塾や習い事等の学習環境」（27.4%）となっている。

4. 生活全般について

(1) 給与・労働環境

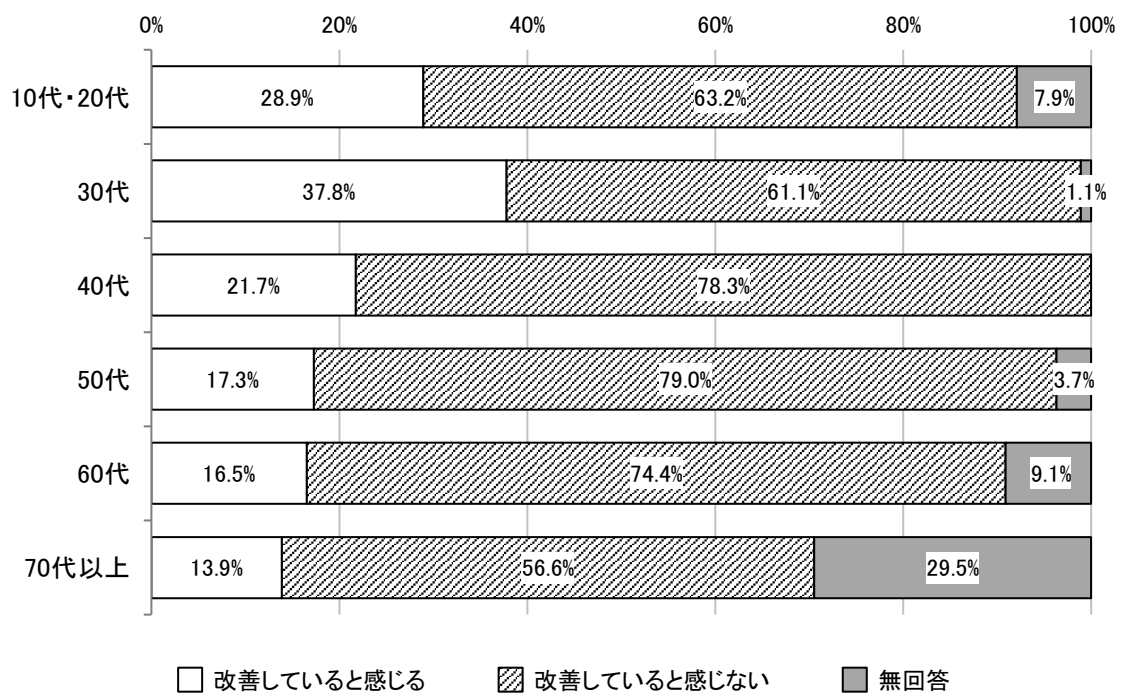
問10 あなたや、あなたの家族（荒尾市に居住の方のみ）の給与について、前年と比べて、改善していると感じますか。

【給与の改善状況】



給与の改善状況を見ると、「改善していると感じない」(67.7%)が6割を超えているが、前回(72.2%)よりも4.5ポイント減少していることから、給与の改善が若干あることが分かる。

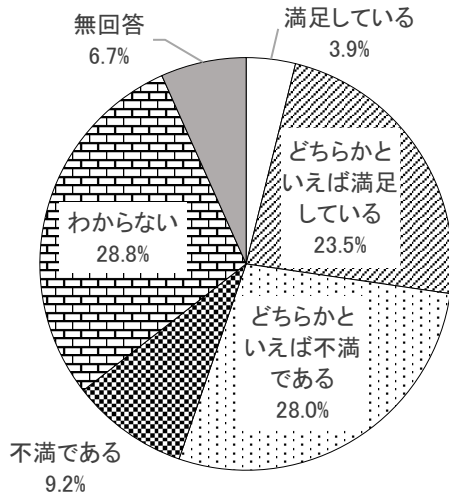
【年代別】



年代別にみると、現役世代では、40代が「改善していると感じない」(78.3%)の割合が大きくなっている。

問11-1 あなたは、荒尾市における労働環境について、どのように思いますか。

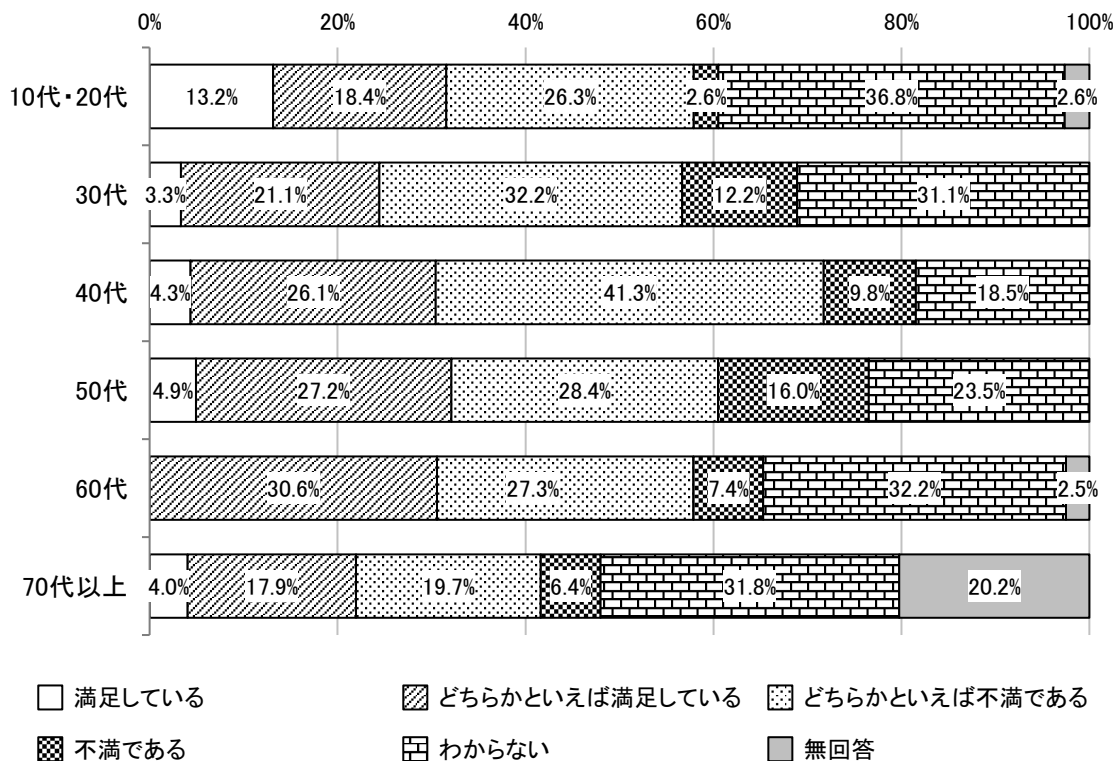
【荒尾市の労働環境の満足度】



荒尾市の労働環境の満足度は、「どちらかといえば満足している」、「満足している」を合わせた『満足』層が27.4%に対し、「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた『不満』層は37.2%となっており、『不満』層が9.8ポイント高かった。

一方、「わからない」と答えた方は28.8%となっており、選択肢中では最も高くなっている。

【年代別】

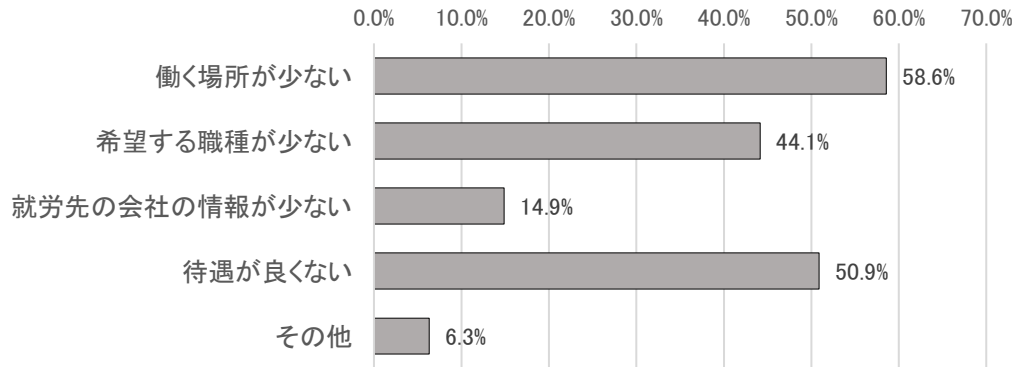


『満足』層と『不満』層の割合を年代別にみると、40代及び50代では『満足』層の割合が3割を超えているが、同じく『不満』層の割合が高く、特に40代では5割を超えて高くなっている。

問 1 1 - 2

(問 1 1 - 1 で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方)
その理由はなぜですか。【いくつでも】

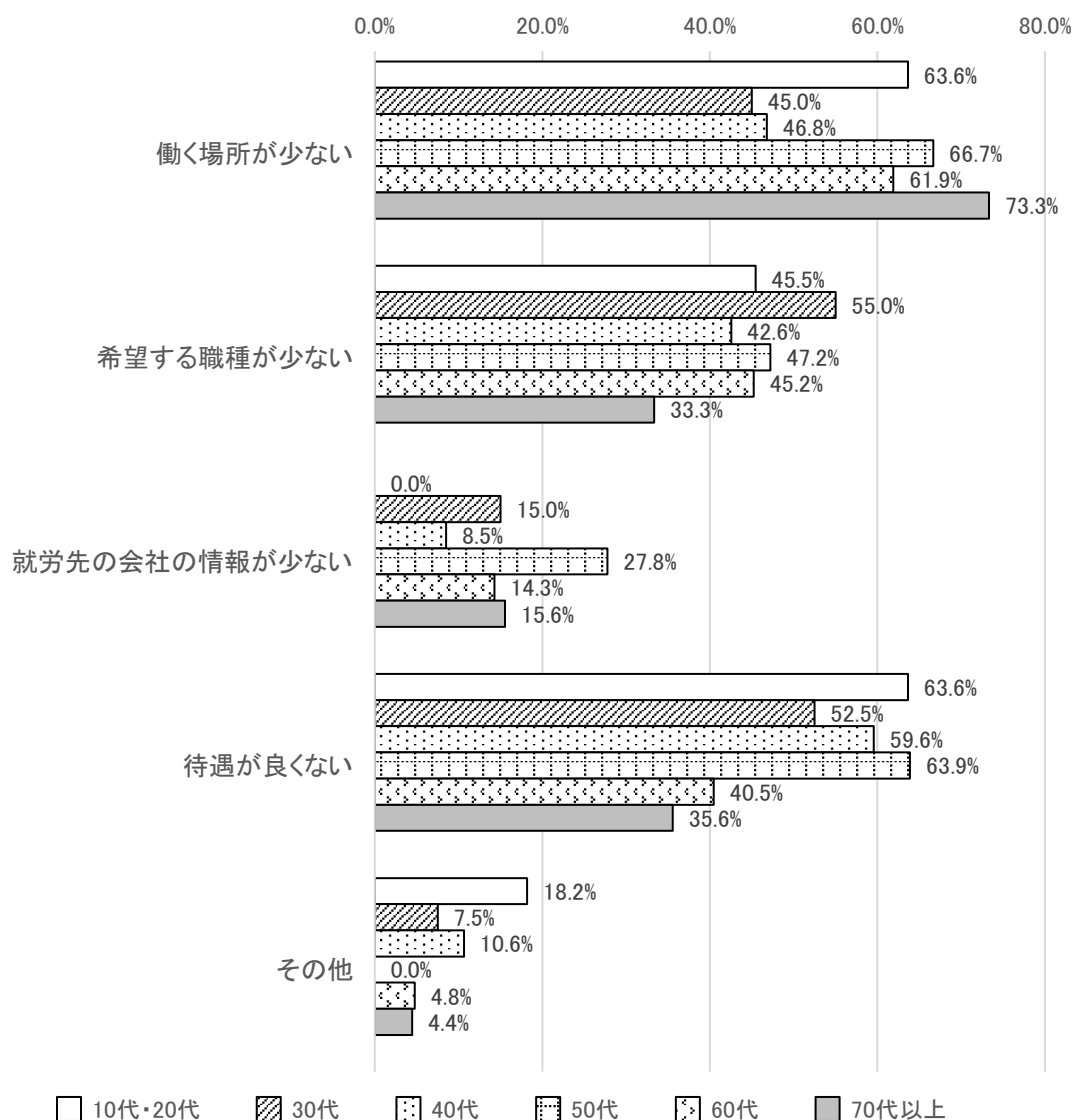
【荒尾市の労働環境に不満な理由】



荒尾市の労働環境に不満な理由は、「働く場所が少ない」(58.6%)が最も高く、次いで「待遇が良くない」(50.9%)、「希望する職種が少ない」(44.1%)となっている。

若年層の人口流出に歯止めをかけるために、引き続き働く場所を確保していくとともに、待遇改善に向けた取組の必要がある。

【年代別】



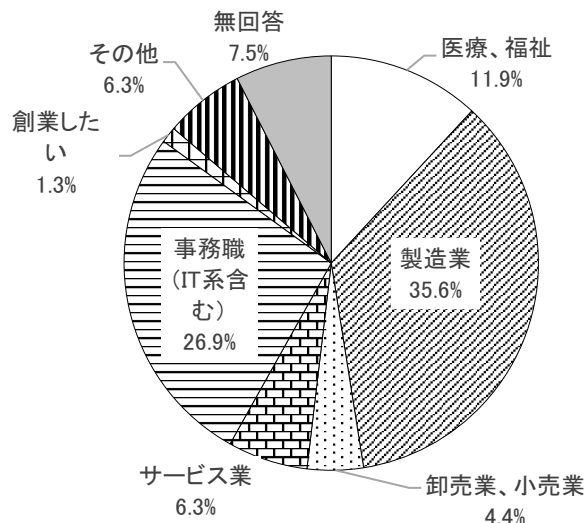
年代別にみると、20代までと50代以降では「働く場所が少ない」が最も高く、特に70代以上では7割を超えて高くなっている。

また、子育て世代である30代では「希望する職種が少ない」、40代では「待遇が悪い」の割合が最も高くなっていることから、雇用の創出及び雇用形態、給与の改善や福利厚生等の充実が求められている。

問 1 1 - 3

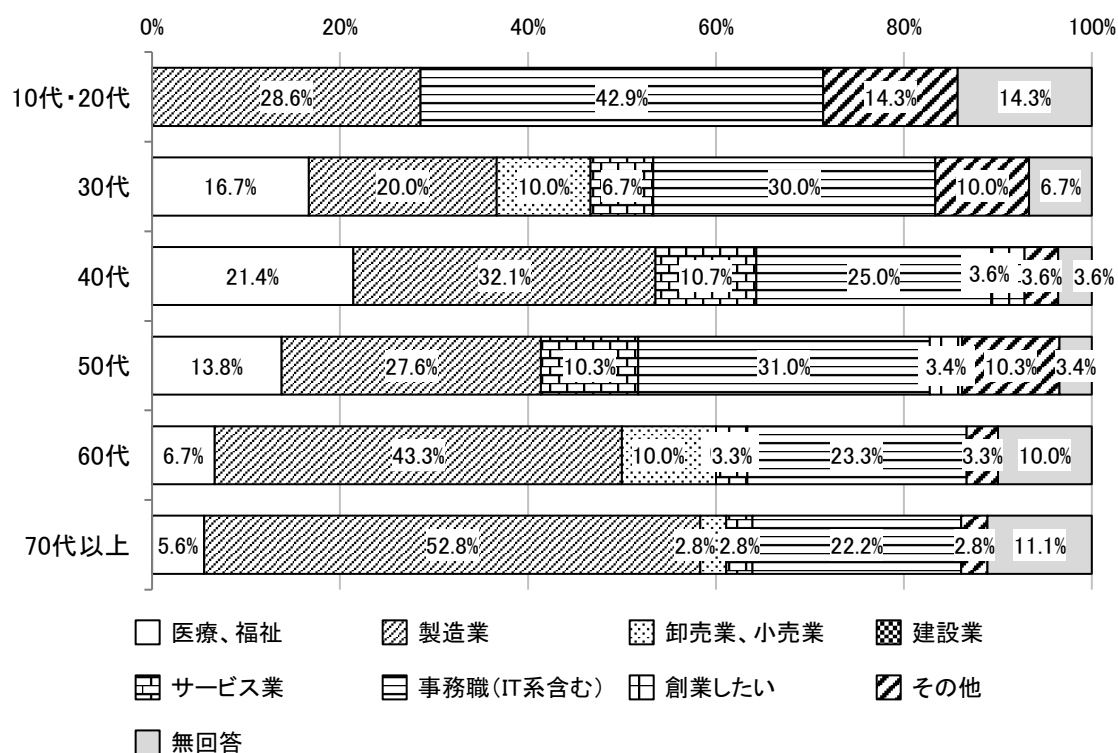
(問 1 1 - 2 で「1. 働く場所が少ない」「2. 希望する職種が少ない」と回答した方)
どのような職種があれば荒尾市内で就労したいと思いますか【主なもの1つ】

【就労希望職種】



どのような職種があれば荒尾市内で就労したいと思うかをみると、「製造業」(35.6%)が最も高く、次いで「事務職 (IT系含む)」(26.9%)、「医療、福祉」(11.9%)となっている。

【年代別】

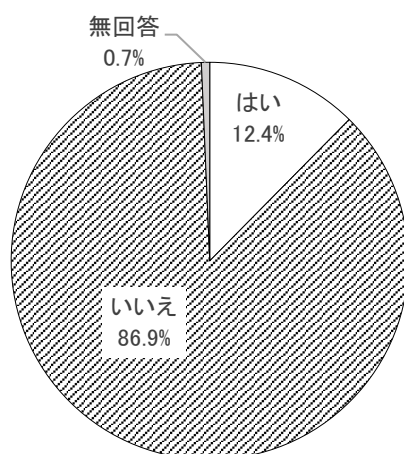


年代別にみると、10代・20代では「製造業」(42.9%)が高く、30代並びに50代では「事務職 (IT系含む)」が3割となっている。

(2) 公共交通の利用状況・満足度

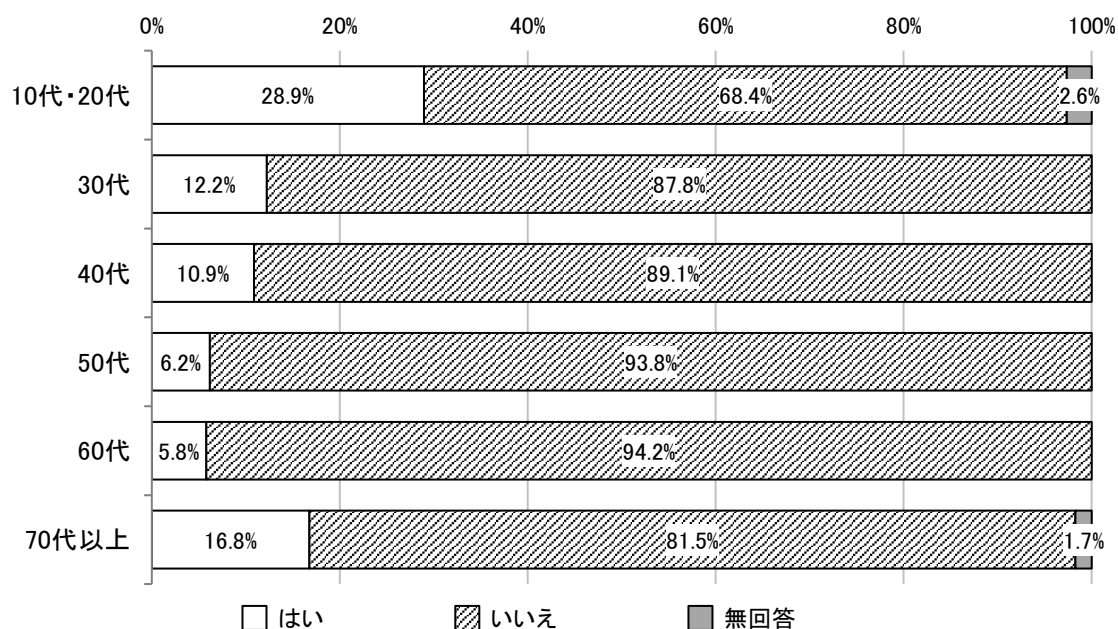
問12 あなたは、この1年間で路線バス、乗合タクシー、おもやりタクシーのいずれかを利用しましたか。

【公共交通利用の有無】



直近1年間で公共交通を利用した方は12.4%となっており、前回(12.5%)より微減傾向にある。

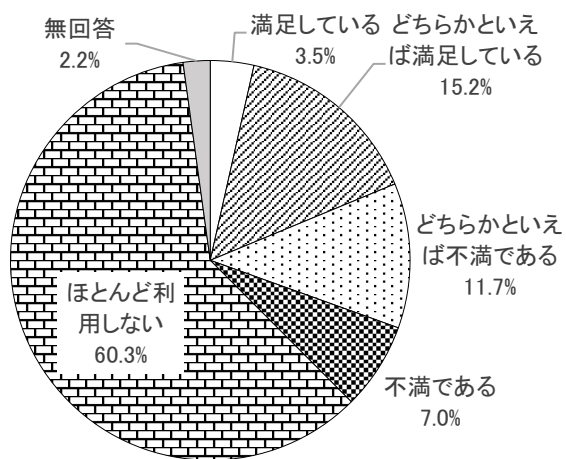
【年代別】



利用した方の割合を年代別にみると、10代・20代及び70代以上では利用者が他の年代より高くなっており、学生や高齢者の利用が多いことが分かる。40代から60代までは10%以下となっており、年代が高くなるにつれ低くなっている。

問 1 3 荒尾市の公共交通（電車、路線バス、乗合タクシー、おもやいタクシーなど）の利便性について、どのように思いますか。

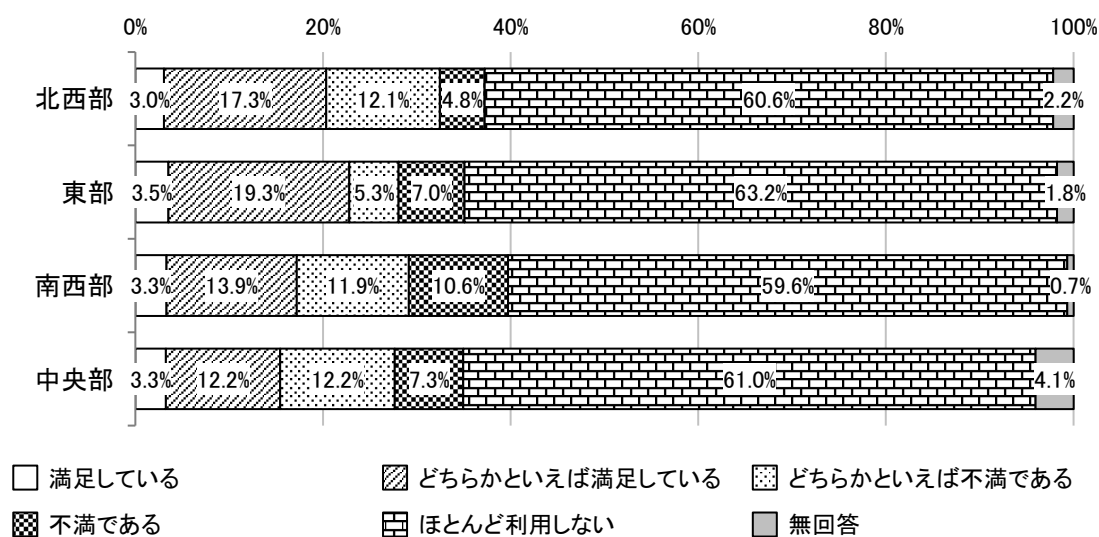
【公共交通に関する満足度】



荒尾市の公共交通の満足度は、「ほとんど利用しない」が 60.3%（前回 58.3%）と前回より 2.0 ポイント高く、依然 6 割を占め最も高くなっている。

また、「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』層は 18.7%、「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた『不満足』層は 18.7%となっており、前回（『満足』層：17.5%、『不満足』層：19.0%）より満足層が 1.2 ポイント高くなっている。

【居住地区別】



【居住地区】

北西部	荒尾・万田・万田中央・井手川	東部	平井・府本
南西部	八幡・有明・清里・桜山	中央部	緑ヶ丘・中央

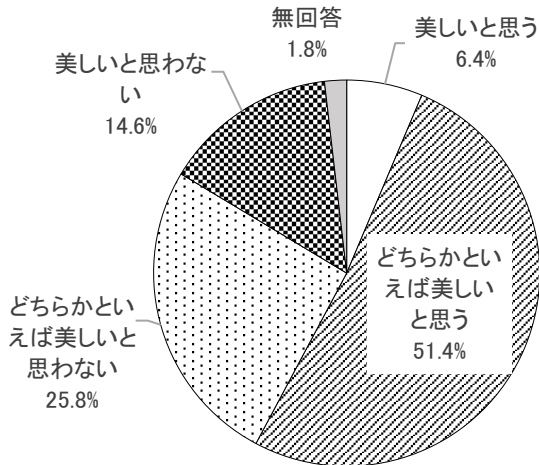
居住地区別でみると、どの地区も「ほとんど利用しない」が 6 割前後を占めており、東部においては乗合タクシーを導入しているものの、ほとんど利用していない方が 63.2%と他の地区よりも高い。

また、南西部では『不満足』層の割合が高く、利便性向上に向けた取組が必要である。

(3) 街並みの評価

問14 荒尾市の街並み（道路の植栽などの景観）について、どのように思いますか。

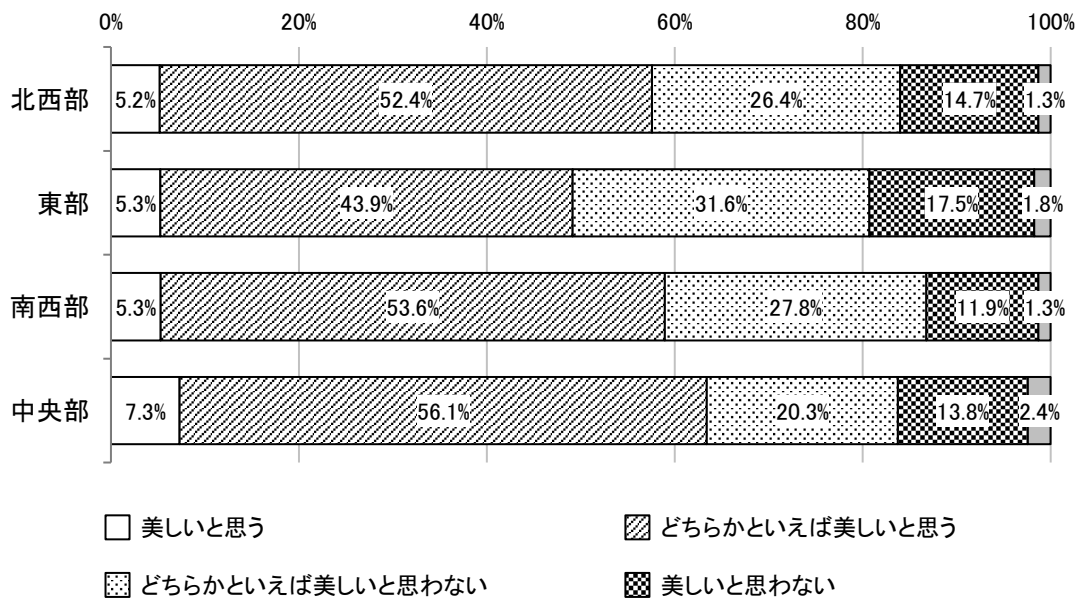
【街並みの評価】



荒尾市の街並みの評価は、「どちらかといえば美しいと思う」(51.4%) が最も高く、次いで「どちらかといえば美しいと思わない」(25.8%) となっている。

また、「美しいと思う」、「どちらかといえば美しいと思う」を合わせた割合(57.8%)は、前回(57.1%)同様過半数を占めている。

【居住地区別】



【居住地区】

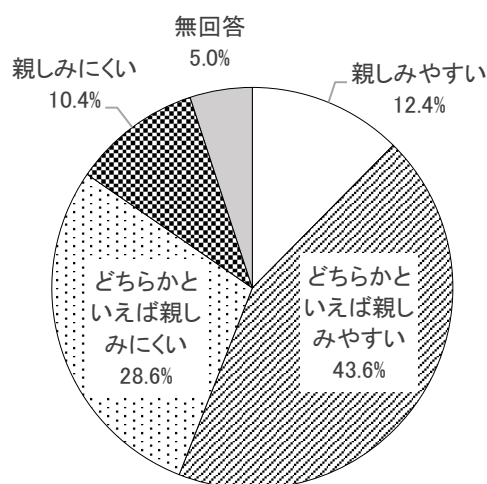
北西部	荒尾・万田・万田中央・井手川	東部	平井・府本
南西部	八幡・有明・清里・桜山	中央部	緑ヶ丘・中央

居住地区別に比較すると、中央部では「美しいと思う」、「どちらかといえば美しいと思う」を合わせた割合が6割を超えている一方で、東部は5割以下となっている。

(4)「荒尾干潟」の親しみやすさ

問 1 5 荒尾市の地域資源である、ラムサール条約湿地の「荒尾干潟」について、親しみやすいと感じますか。

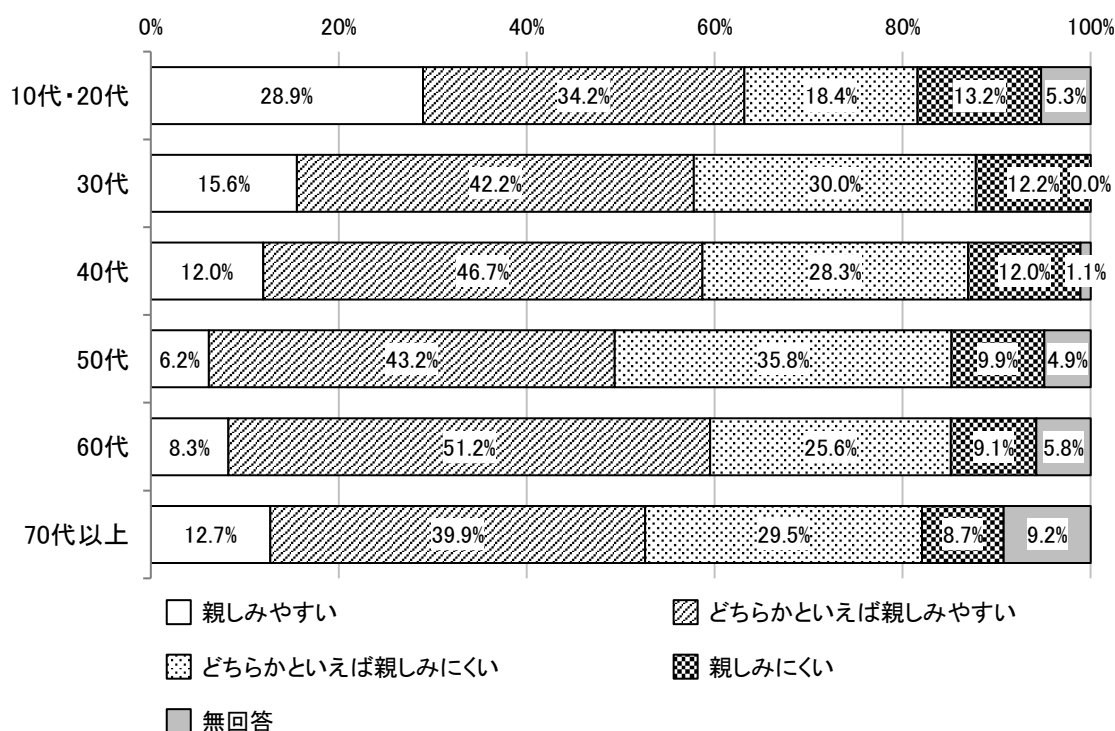
【荒尾干潟の親しみやすさ】



荒尾市の地域資源である「荒尾干潟」の親しみやすさは、「どちらかといえば親しみやすい」(43.6%) が最も高く、次いで「どちらかといえば親しみにくい」(28.6%) となっている。

「どちらかといえば親しみにくい」、「親しみにくい」を合わせた『親しみにくい』層は39.0%と前回(44.8%)より低くなっており、引き続き地域資源としての誇りの醸成に繋げる施策を行う必要がある。

【年代別】

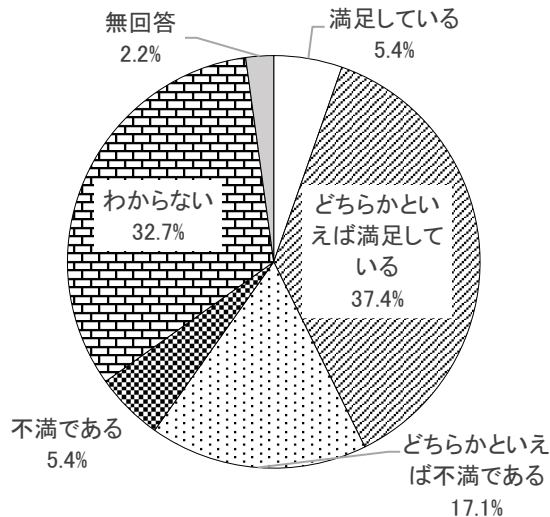


年代別にみると、前は40代と60代が『親しみにくい』層が過半数を超えていたが、今回は全年代で『親しみやすい』層の割合が過半数を超えている

(5) 文化・教養に関する満足度

問16-1 荒尾市の文化・教養に関する環境について、どのように思いますか。

【文化・教養に関する環境の満足度】

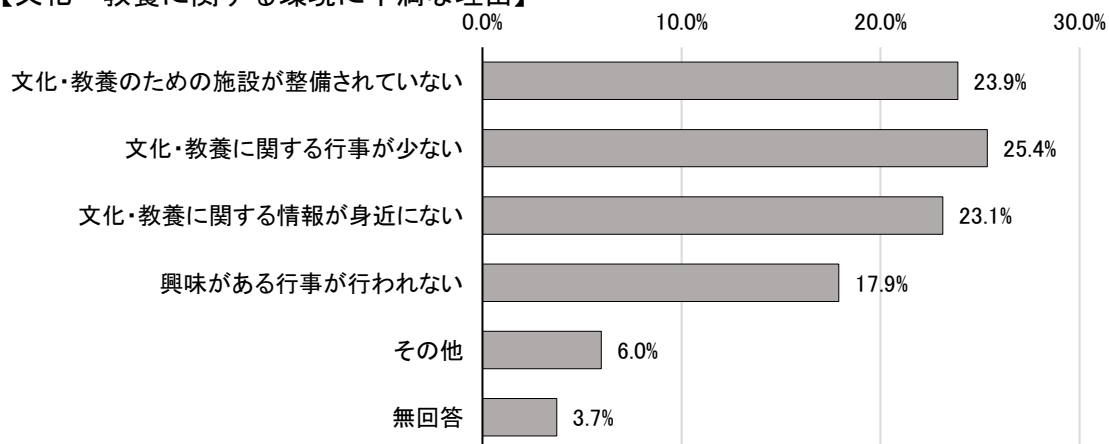


荒尾市の文化・教養に関する満足度は、「どちらかといえば満足している」(37.4%)が最も高く、次いで「わからない」(32.7%)となっている。

また、「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』層は42.8%と前回(38.6%)より4.2ポイント高くなっている。

問16-2 (問16-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方) その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

【文化・教養に関する環境に不満な理由】



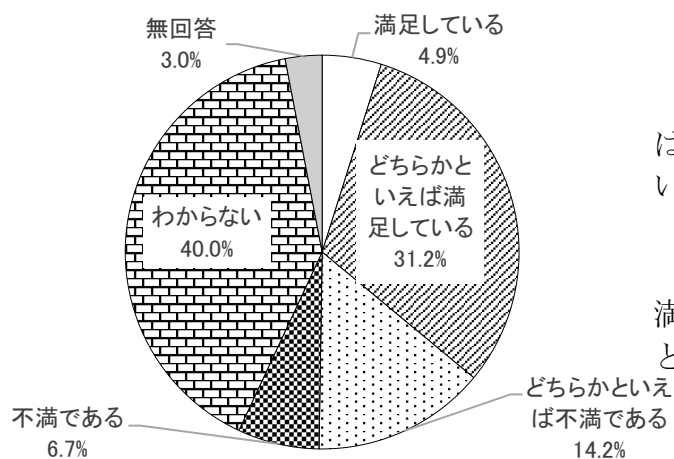
荒尾市の文化・教養に関する環境に不満な理由は、「文化・教養に関する行事が少ない」(25.4%)が最も高く、次いで「文化・教養のための施設が整備されていない」(23.9%)、「文化・教養に関する情報が身近にない」(23.1%)、「興味がある行事が行われない」(17.9%)となっている。

「文化・教養に関する行事が少ない」と答えた人が前回から4.4ポイント低くなったため、今後もニーズを捉えた魅力ある行事を行うとともに、情報発信についても強化する必要がある。

(6) スポーツに関する環境の満足度

問 1 7 - 1 荒尾市のスポーツに関する環境について、どのように思いますか。

【スポーツに関する環境の満足度】

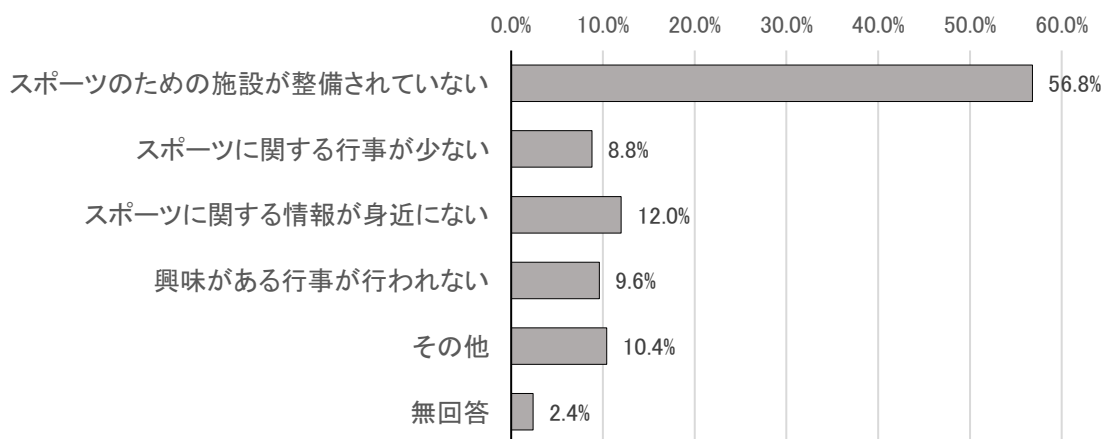


荒尾市のスポーツに関する環境の満足度は、「わからない」(40.0%)が最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」(31.2%)となっている。

また、「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』層は 36.1%となっている。

問 1 7 - 2 (問 1 7 - 1 で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方) その理由はなぜですか。【主なもの 1 つ】

【スポーツに関する環境に不満な理由】



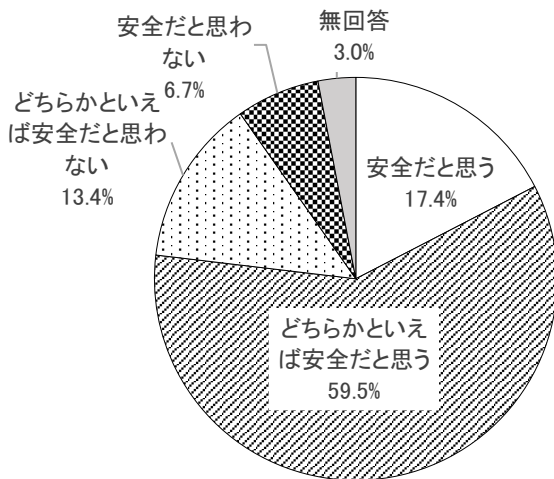
荒尾市のスポーツに関する環境に不満な理由は、「スポーツのための施設が整備されていない」(56.8%)が最も高く、次いで「スポーツに関する情報が身近にない」(12.0%)となっている。

文化・教養に関する環境と同様、魅力ある行事の実施と情報発信を併せて行いながら、施設整備についても検討する必要がある。

(7) 防犯や防災に関する地域の安全性

問18 防犯や防災の観点から、あなたのお住まいの地域は安全だと思いますか。

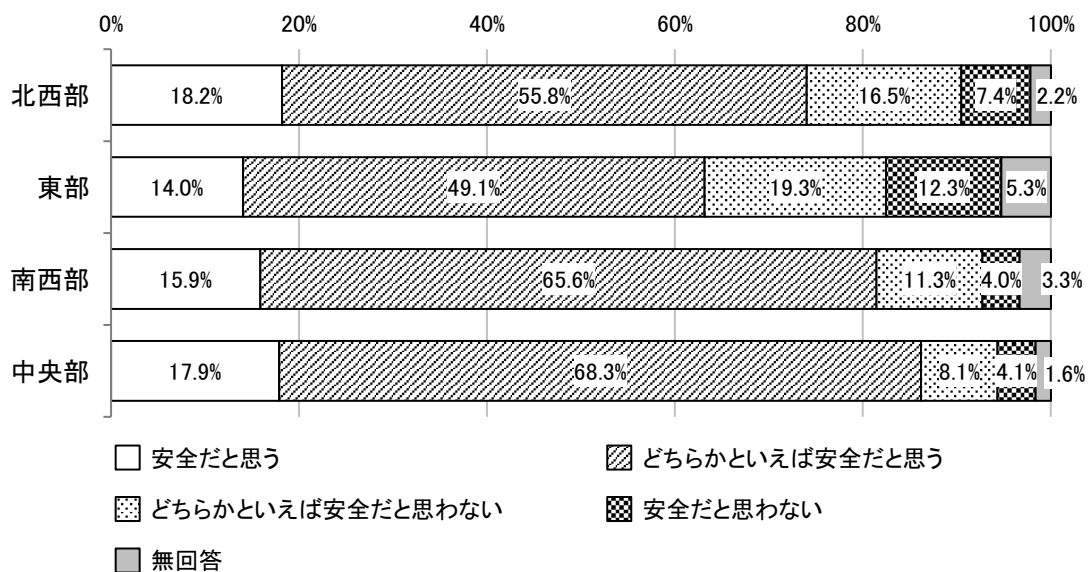
【防犯や防災に関する地域の安全性】



自身が住んでいる地域の安全性は、「どちらかといえば安全だと思う」(59.5%) が最も高く、次いで「安全だと思う」(17.4%) となっている。

「安全だと思う」、「どちらかといえば安全だと思う」を合わせた『安全だと思う』層は76.9%となっており、令和2年7月豪雨以降においても、高い数値を維持している。

【居住地区別】



【居住地区】

北西部	荒尾・万田・万田中央・井手川	東部	平井・府本
南西部	八幡・有明・清里・桜山	中央部	緑ヶ丘・中央

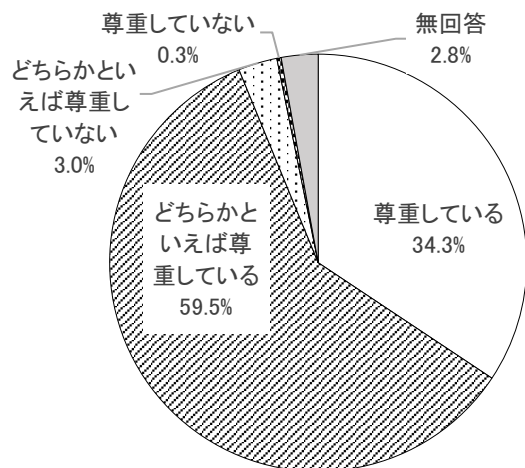
居住地区別にみると、『安全だと思う』層は、中央部(86.2%)が最も高くなっており、前回同様の結果となっている。

一方、『安全だと思わない』層は、前は北西部が最も高くなっていたが、今回は東部(31.6%)が最も高くなっている。

(8) 多様性の尊重

問 19 あなたは、普段から性別や障がいの有無などに関わらず相手を尊重して接していると思いますか。

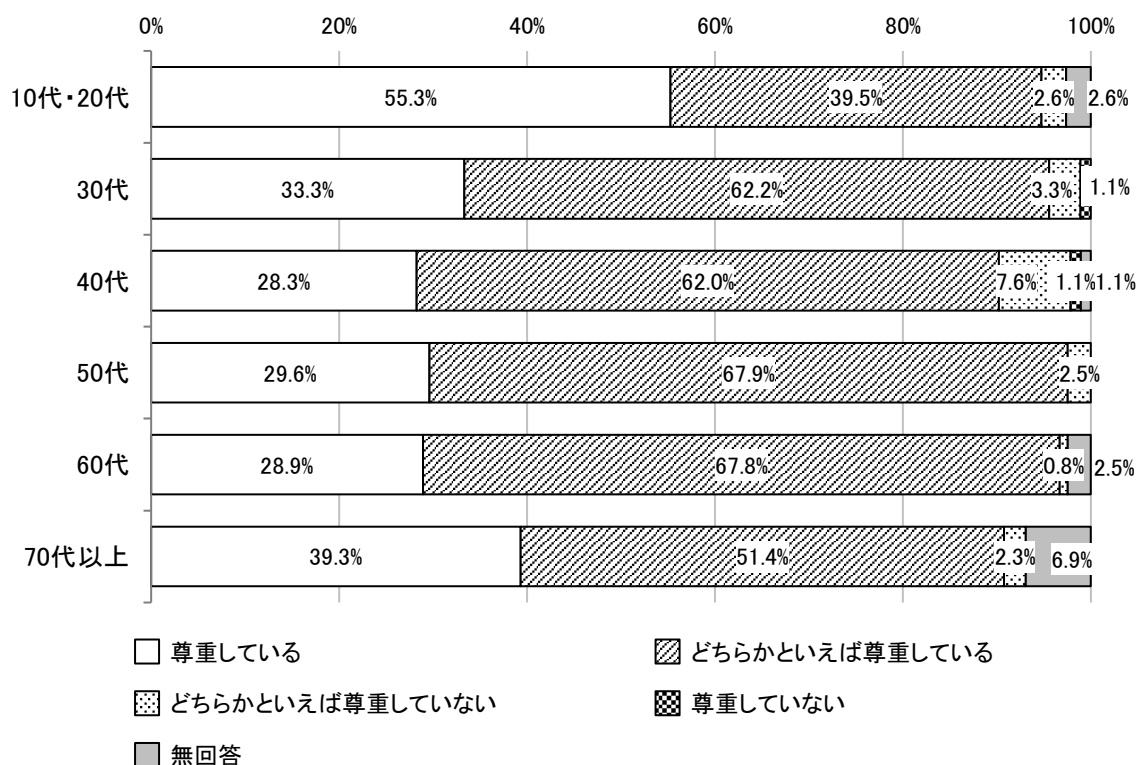
【多様性の尊重】



普段から性別や障がいの有無などに関わらず相手を尊重している市民の割合は、「どちらかといえば尊重している」(59.5%)が最も高く、次いで「尊重している」(34.3%)となっている。

「尊重している」、「どちらかといえば尊重している」を合わせた『尊重している』層は93.8%となっており、前回同様9割強の市民が多様性を尊重していることが分かる。

【年代別】

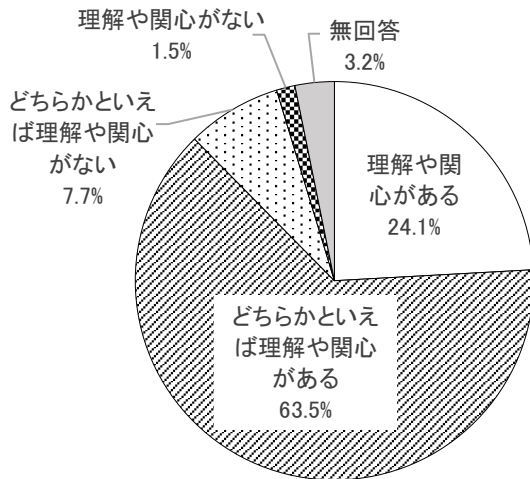


年代別でも、どの年代も『尊重している』層が9割を超えて高くなっている。

(9) 障がい者への理解や関心

問20 あなたは、障がい者への理解や関心がありますか。

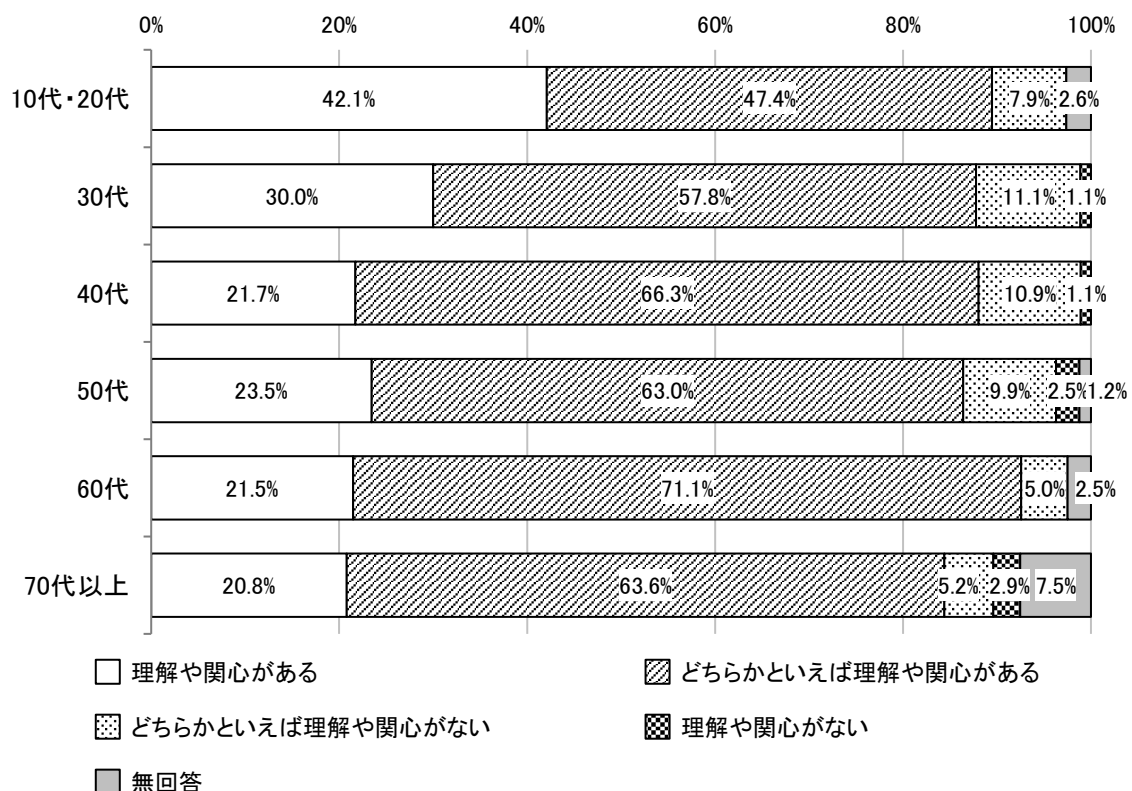
【障がい者への理解や関心】



障がい者への理解や関心がある市民の割合は、「どちらかといえば理解や関心がある」（63.5%）が最も高く、次いで「理解や関心がある」（24.1%）となっている。

「理解や関心がある」、「どちらかといえば理解や関心がある」を合わせた『関心がある』層は87.6%となっており、8割強の市民が障がい者への配慮があることが分かる。

【年代別】

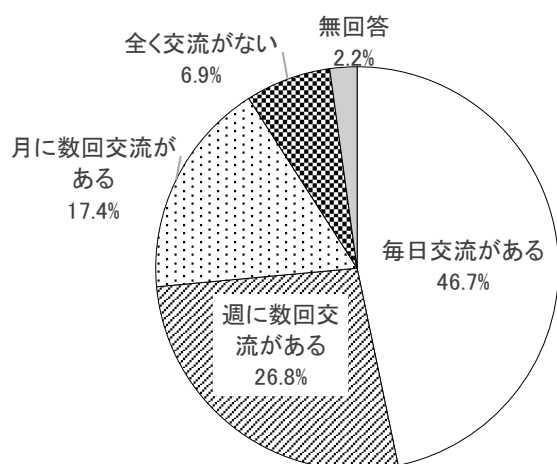


年代別にみても、すべての年代において『関心がある』層の割合が高く、30代、40代では『関心がない』層が前回より低くなっている。

(10) 地域社会との交流

問21 あなたは、日常生活において、家族以外の人と交流がありますか。

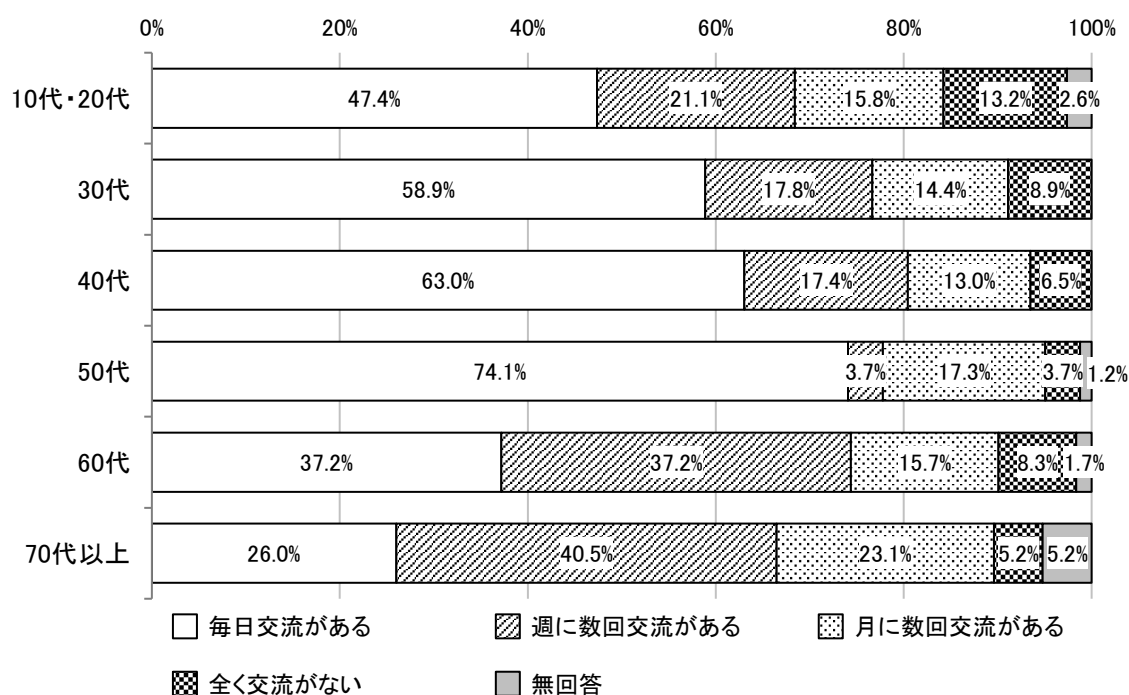
【地域社会との交流】



地域社会との交流については、「毎日交流がある」(46.7%)が最も高く、次いで「週に数回交流がある」(26.8%)となっている。

「毎日交流がある」、「週に数回交流がある」を合わせた『交流がある』層は73.5%となっており、7割強の市民が日常的な交流があることが分かる。

【年代別】



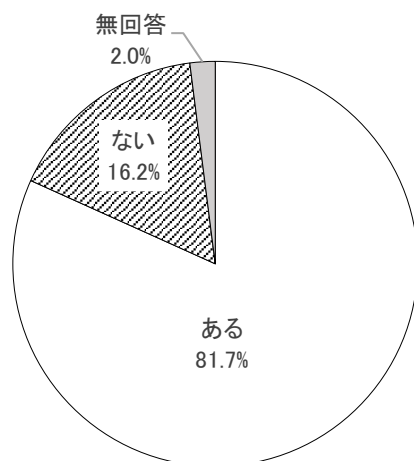
年代別にみると、60代以上になると日常的な交流がある方の割合が下がっていく傾向にある。

一方、どの世代でも、「月に数回交流がある」「全く交流がない」と回答した人が一定数いるため、中高年層だけでなく、すべての世代において社会的な孤立を防止するための対策が必要である。その中でも、10代・20代で「全く交流がない」と回答した人が多かった対しては、注視する必要があると考える。

(11) 情報化について

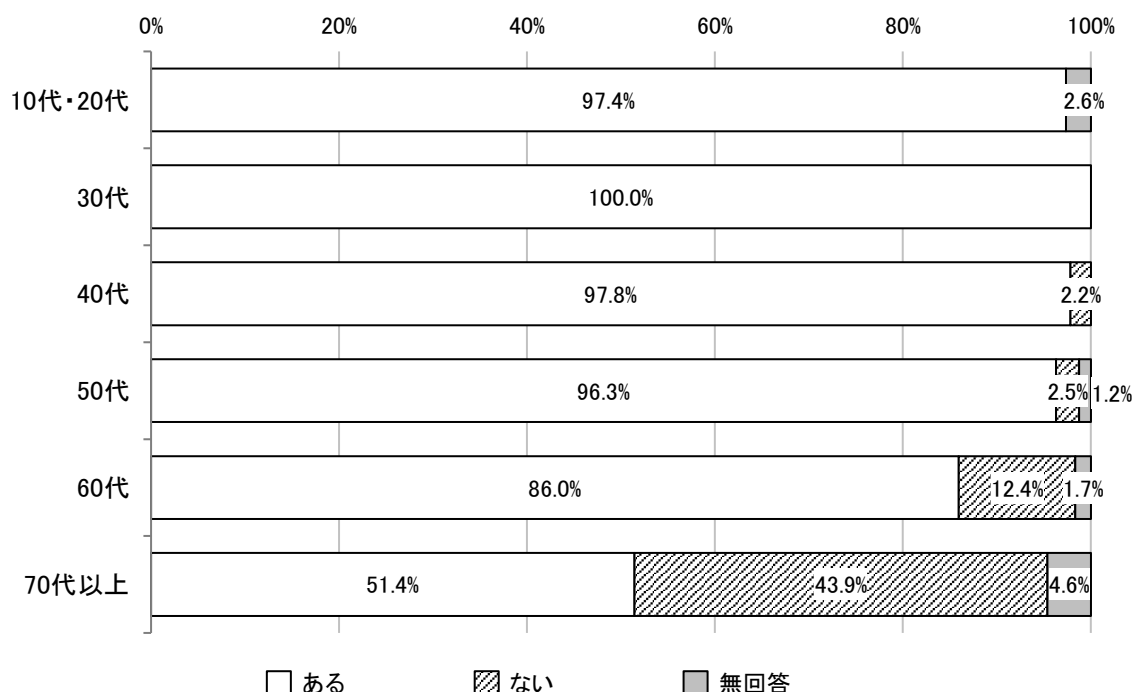
問22-1 あなたは、普段インターネットを使える環境（パソコンやスマートフォンなど）がありますか。

【インターネットを使える環境】



インターネットを使用できる環境については、「ある」(81.7%)、「ない」(16.2%)と「ある」と回答した方が「ない」を大きく上回っており、8割強の市民がインターネットを使用できる環境にあることが分かる。

【年代別】

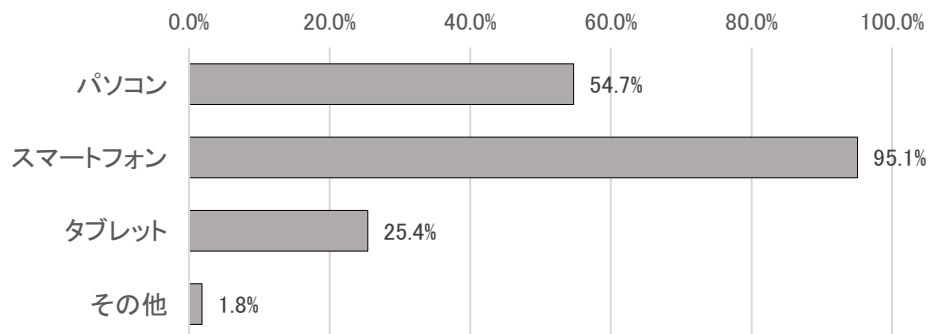


年代別にみると、60代までは「ある」と回答した方が8割を超えており、幅広い世代でインターネットを使用できる環境が整っていることが分かる。

一方、年代が上がるにつれて、インターネットを使用できる環境がない人の割合が高くなる傾向となっており、70代以上では「ない」(43.9%)が他の世代より突出して高いため、デジタル化を推進していく中でも高齢者への配慮が必要である。

問 2 2 - 2 （問 2 2-1 で「1. ある」と回答した方）
主にどのような機器を使用していますか。

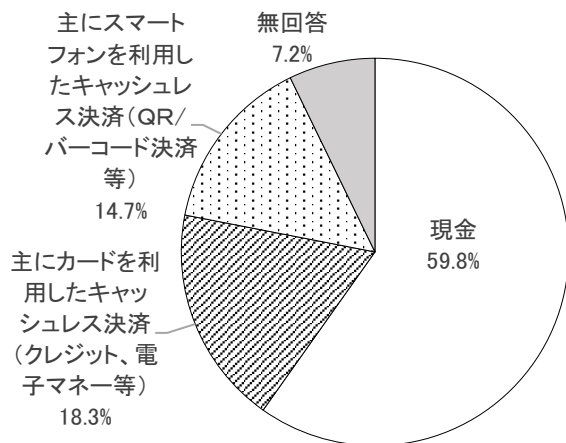
【使用している機器】



使用している機器については、「スマートフォン」（95.1%）が最も高く、次いで「パソコン」（54.7%）、「タブレット」（25.4%）となっており、インターネットを使える環境にある人の9割が「スマートフォン」を使用していることが分かる。

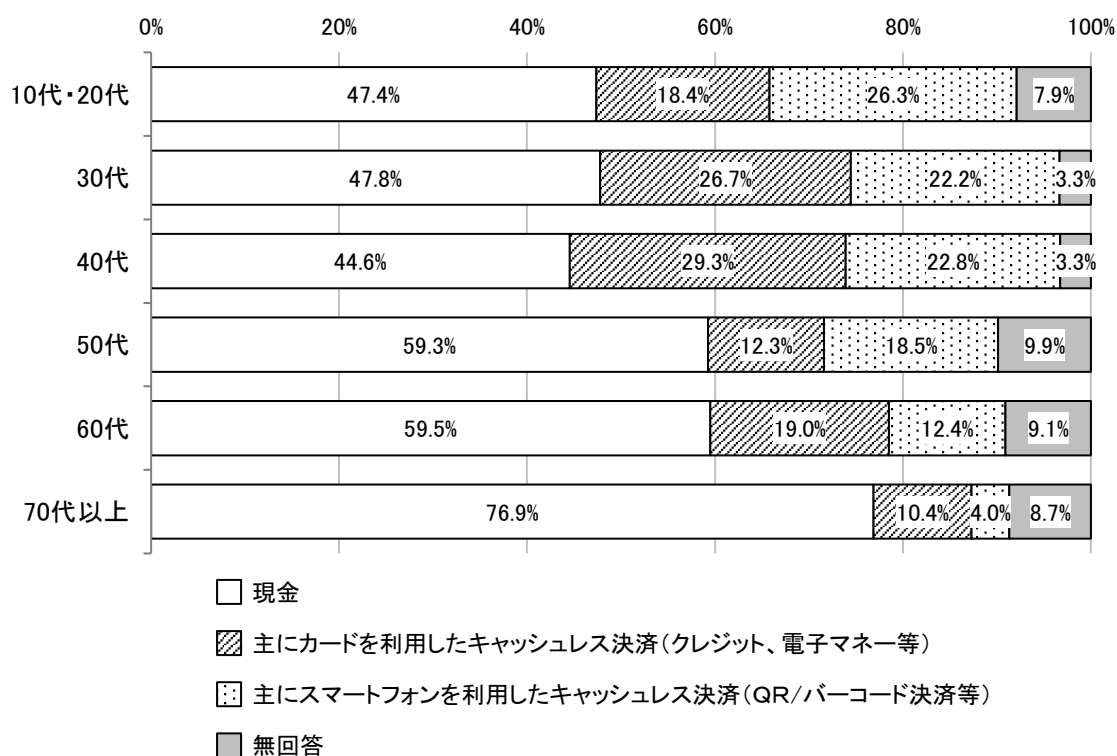
問23 あなたが、店舗等で買い物をする際の、主な支払方法は何ですか。

【買い物をする際の支払い方法】



買い物をする際の主な支払方法については、「現金」(59.8%)が最も高いが、「主にカードを利用したキャッシュレス決済(クレジット、電子マネー等)」「主にスマートフォンを利用したキャッシュレス決済」を利用する人が前回より10.7ポイント高くなっている。

【年代別】

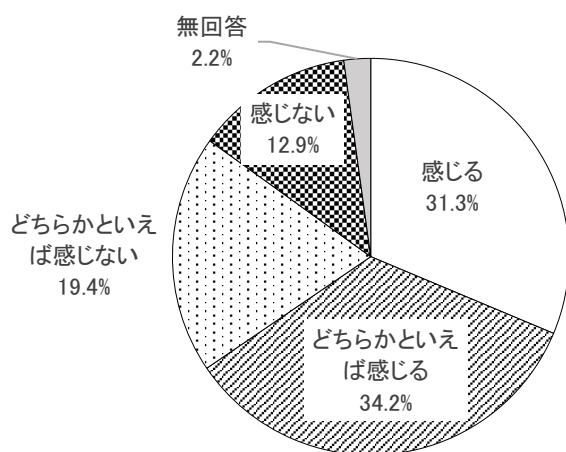


年代別にみると、50代以上からは年代が上がるにつれ、「現金」を使用している割合が高く、70代以上(76.9%)では7割を超えて高くなっている。

一方、「現金」以外の支払方法を利用している方の割合をみると、40代以下は5割前後となっている。

問 2 4 - 1 あなたは、デジタルサービスが進んでいく中で、情報格差（インターネットやデジタル技術を使用している人との差）を感じますか。

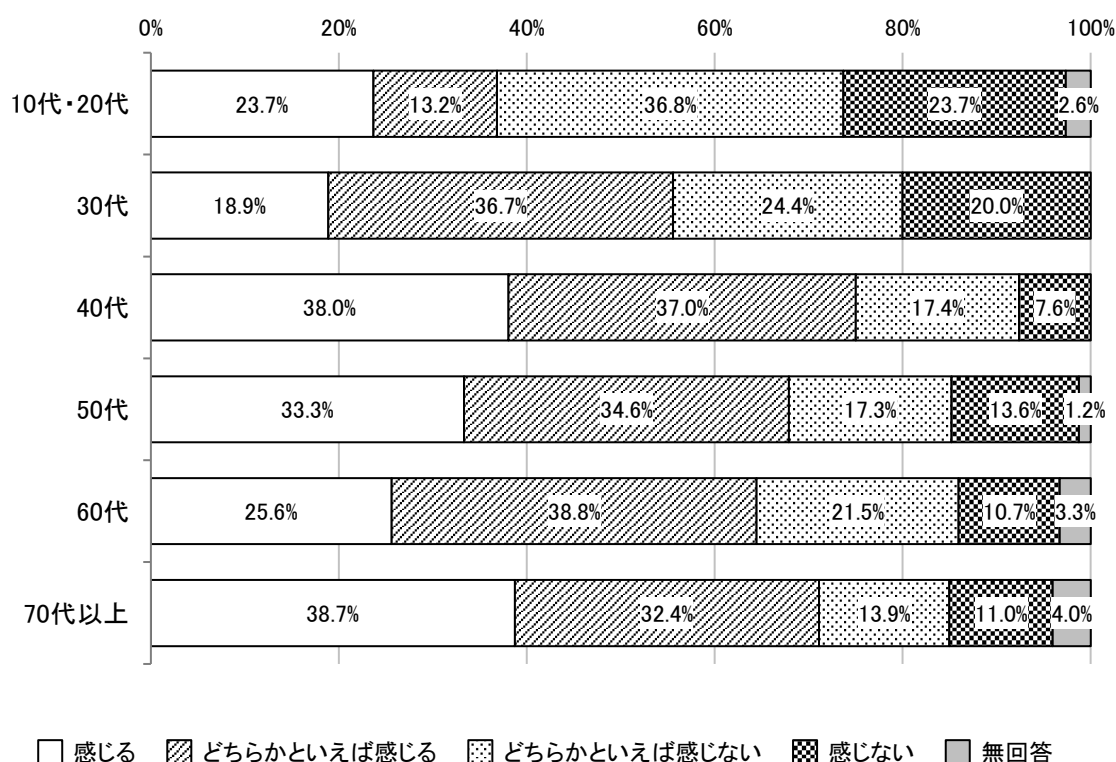
【情報格差】



情報格差を感じるかについては、「感じる」（31.3%）が最も高く、次いで「どちらかといえば感じる」（34.2%）となっている。

「感じる」、「どちらかといえば感じる」を合わせた『格差を感じる』層は65.5%となっており、6割強の人が情報格差を感じていることが分かる。

【年代別】

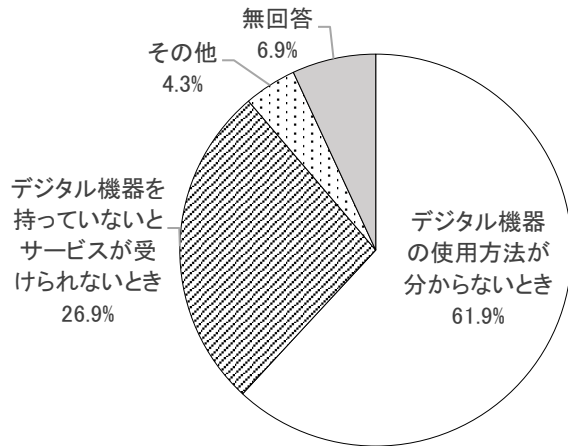


年代別にみると、10代・20代では『格差を感じない』層（60.5%）が高くなっているが、30代以降では『格差を感じる』割合が6割を超えて高くなっている。

高齢者の孤立を防ぐ、また災害時に迅速な行動を促すためにも情報格差を埋める対策が必要である。

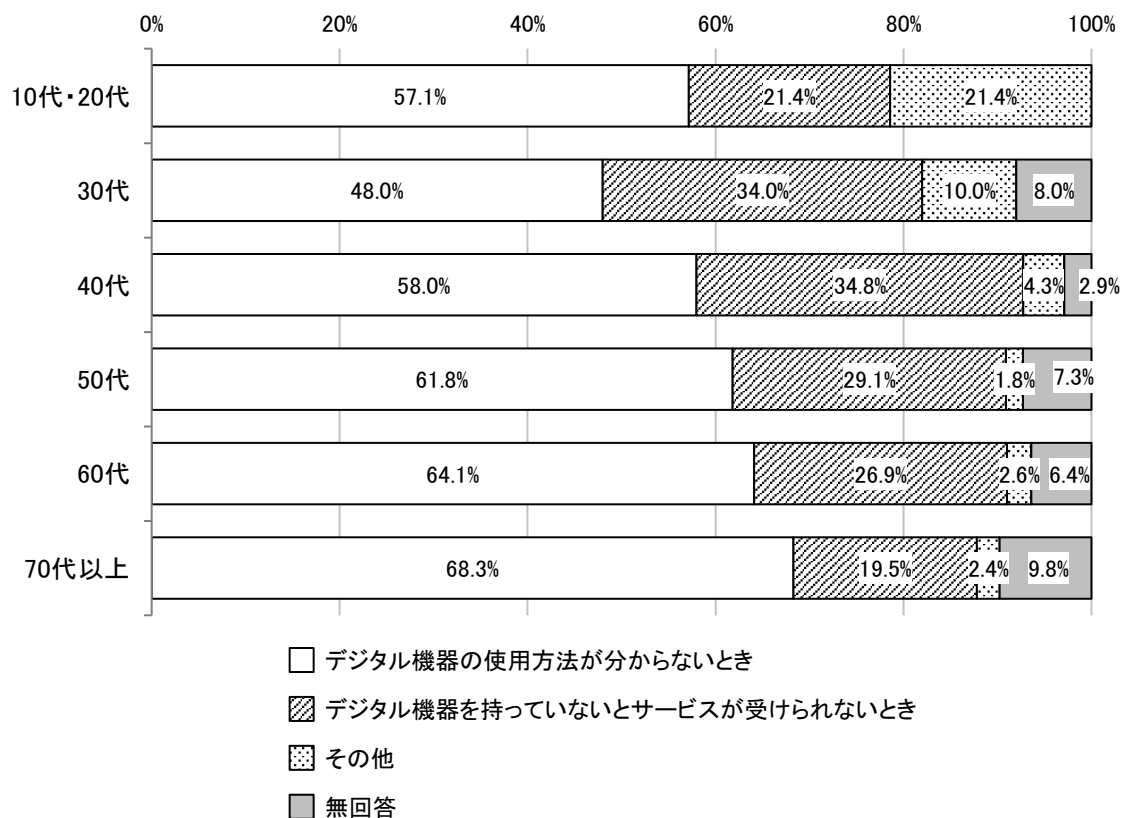
問24-2 （問24-1で「1. 感じる」「2. どちらかといえば感じる」と回答した方）
どのようなときに感じますか。

【情報格差を感じる時】



情報格差をいつ感じるかについては、「デジタル機器の使用方法が分からないとき」（61.9%）、「デジタル機器を持っていないとサービスが受けられないとき」（26.9%）となっており、「デジタル機器の使用方法が分からないとき」が約6割を占めている。

【年代別】



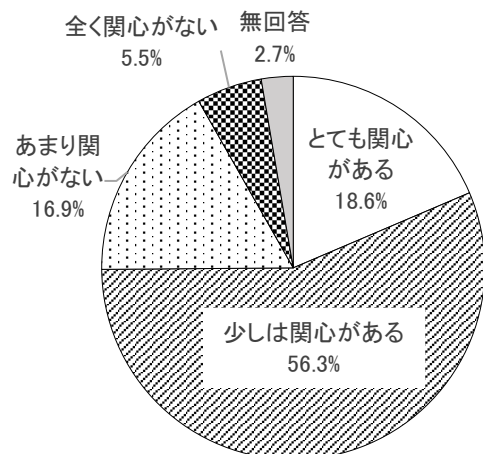
年代別にみると、30代以外は「デジタル機器の使用方法が分からないとき」が5割を超えて高くなっている。高齢者を中心に、全世代に向けたデジタル機器関連の講座や分かりやすい説明など、誰もが諦めることなく平等にサービスを受けられるような取組が必要である。

5. 市民と行政との協働のまちづくりについて

(1) まちづくりに関する市民と行政の役割分担について

問 2 5 あなたは、市政（荒尾市が行っているまちづくり）全般について関心をお持ちですか。
【主なもの1つ】

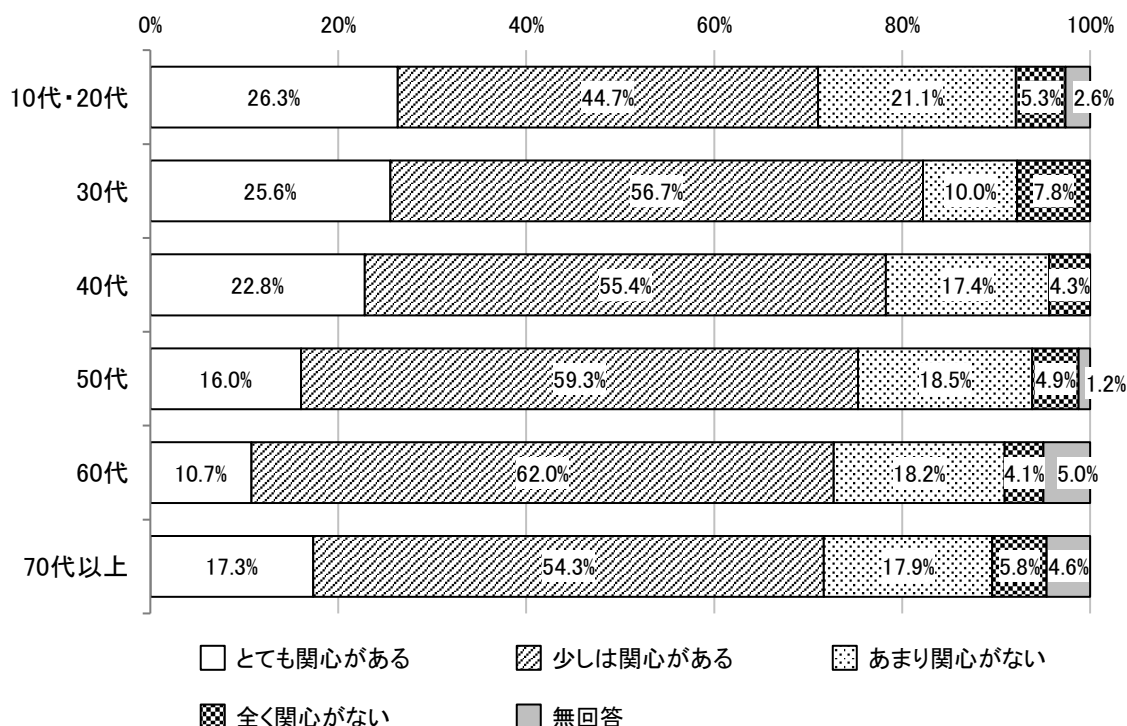
【市政への関心度】



市政への関心度をみると、「少しは関心がある」(56.3%) が最も高く、次いで「とても関心がある」(18.6%)、「あまり関心がない」(16.9%) となっている。

「とても関心がある」、「少しは関心がある」を合わせた『関心』層(74.9%)は、「あまり関心がない」、「全く関心がない」を合わせた『無関心』層(22.4%)を大きく上回っている。

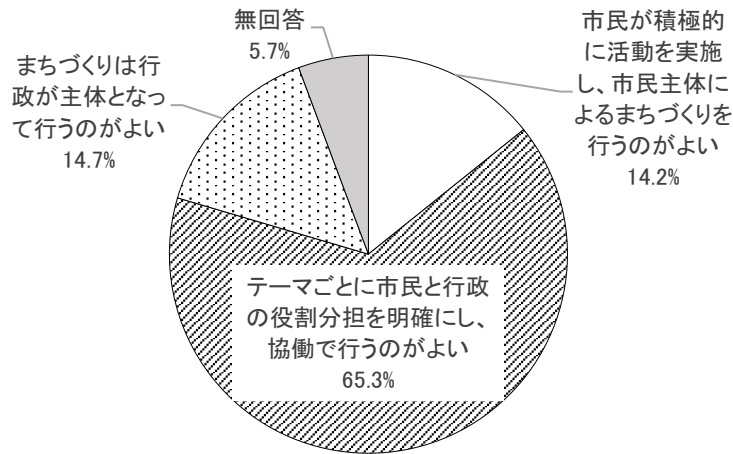
【年代別】



年代別にみると、子育て世代の30代は市政への関心度が最も高くなる傾向がある。

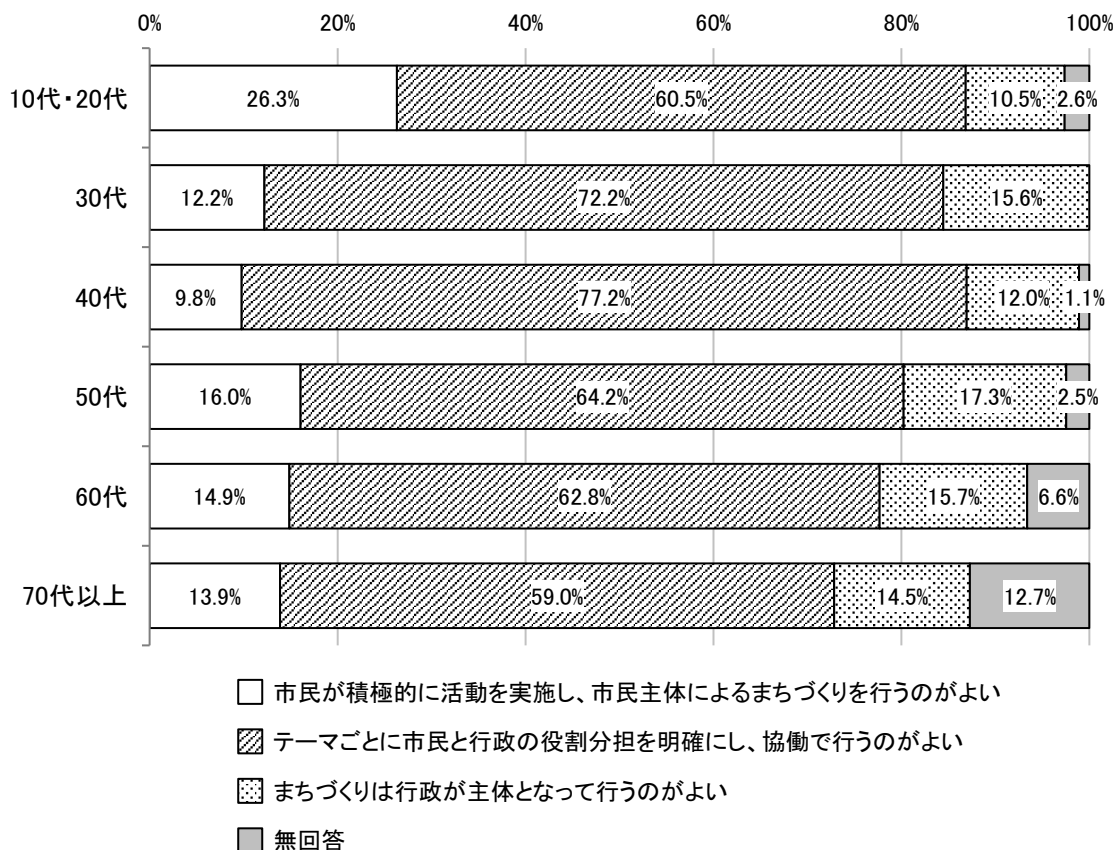
問26 あなたは、これからのまちづくりを進める上で、市民と行政がどのように役割分担すれば良いと思いますか。【主なもの1つ】

【市民と行政の役割分担】



市民と行政の役割分担をみると、「テーマごとに市民と行政の役割分担を明確にし、協働で行うのがよい」（65.3%）が最も高く、次いで「行政主体」（14.7%）、「市民主体」（14.2%）となっている。

【年代別】



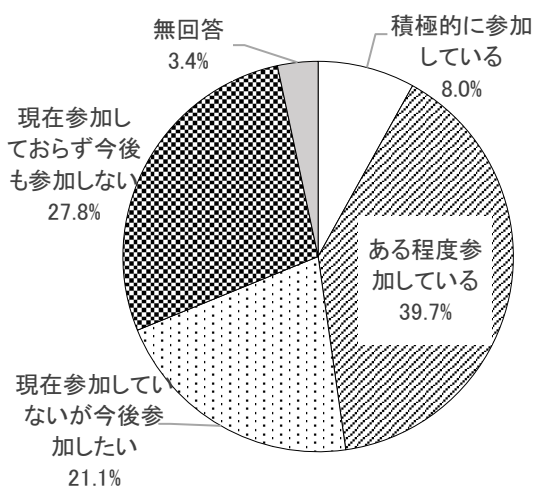
年代別にみると、すべての世代において「テーマごとに市民と行政の役割分担を明確にし、協働で行うのがよい」と回答している割合が高く、協働のまちづくりを望んでいることが分かる。

一方、10代・20代では市民主体のまちづくりを望んでいる人が2割以上おり、若い人たちのまちづくりへの積極性が伺える。

(2) 地域活動への参加

問 27-1 あなたは、地域活動（地域の行事や清掃活動、見守り活動など）に参加していますか。
【主なもの1つ】

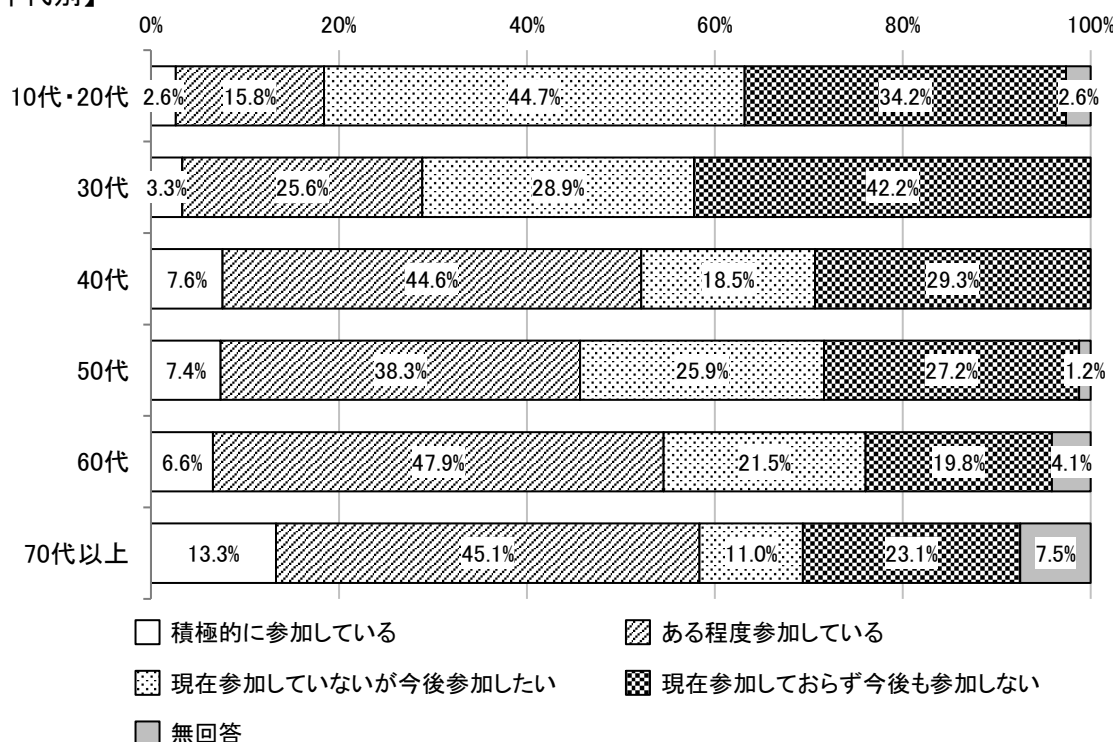
【地域活動への参加状況】



地域活動への参加状況は、「ある程度参加している」(39.7%) が最も高く、次いで「現在参加しておらず今後もしない」(27.8%)、「現在参加していないが今後参加したい」(21.1%) となっている。

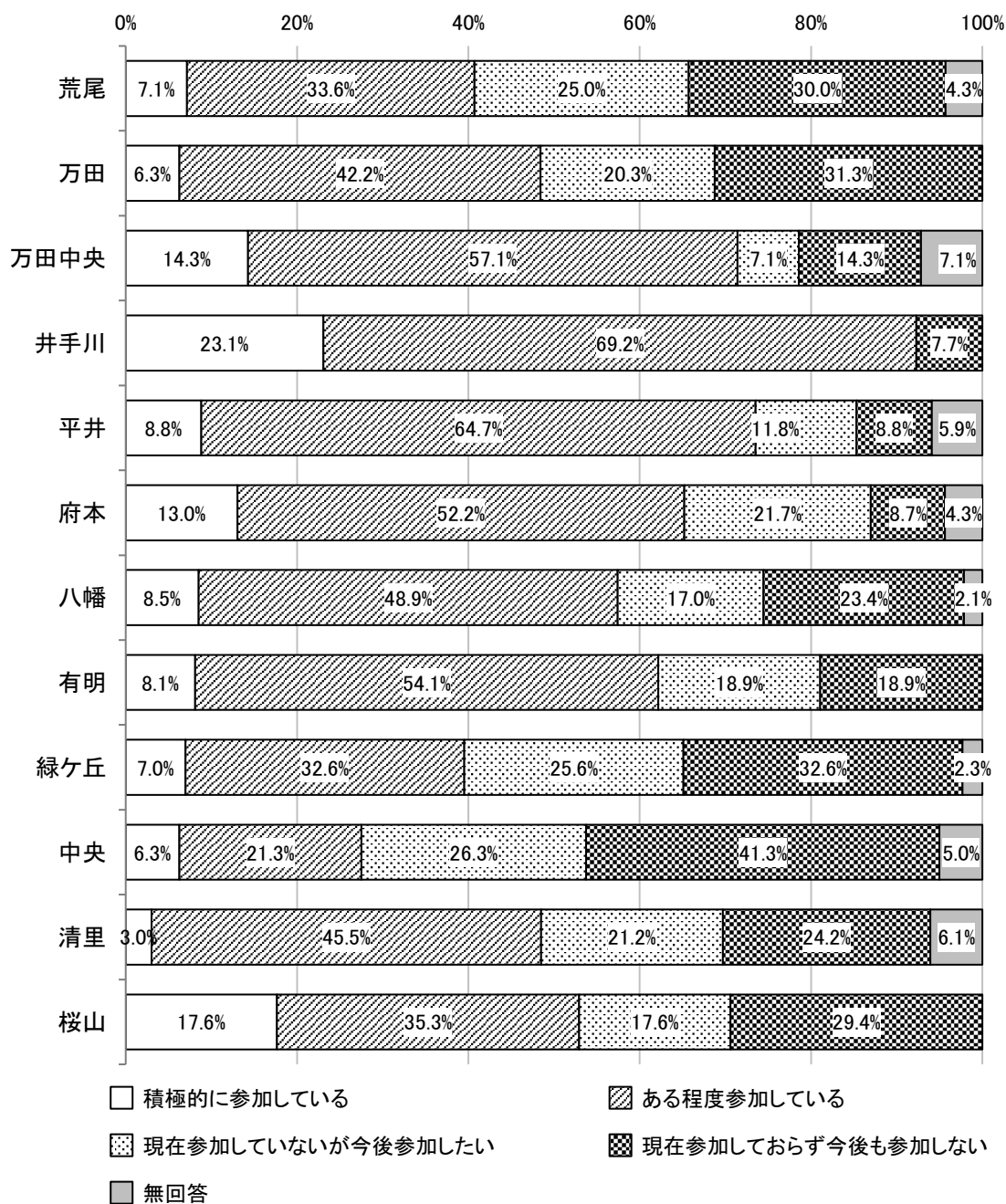
また、「積極的に参加している」、「ある程度参加している」を合わせた『参加』層は約 4 割 (47.7%) となっており、前回 (43.9%) より 3.8 ポイント高くなっている。

【年代別】



地域活動への参加状況を年代別にみると、年齢が高くなるにつれ『参加』層の割合が増える傾向にあり、60代 (54.5%) 並びに 70代以上 (58.4%) では 5 割を超えている。一方、30代以下の若年層においては「現在参加しておらず今後もしない」の割合が 4 割と選択肢の中で最も高くなっている。地域でも高齢化や担い手不足は、課題として挙がっているが、地域活動を継続していくための新しい仕組みづくりや人材の発掘・育成が必要だと考える。

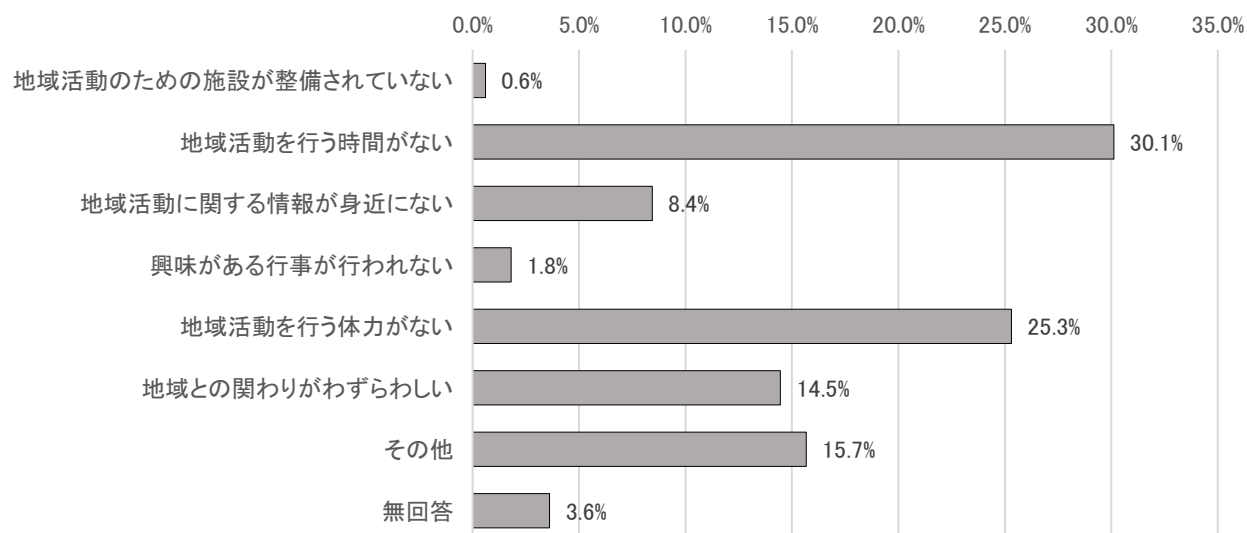
【12地区別】



地区別にみると、『参加』層では「井手川地区」で9割以上と最も高く、「平井地区」「万田中央地区」でも7割と高くなっている。一方、「中央地区」では『参加』層が3割を切っており、「現在参加しておらず今後もしない」の割合も4割と高くなっている。地域によって参加不参加の差が大きいことは課題である。

問 27-2 （問 24-1 で「4. 現在参加しておらず今後も参加しない」と回答した方）
その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

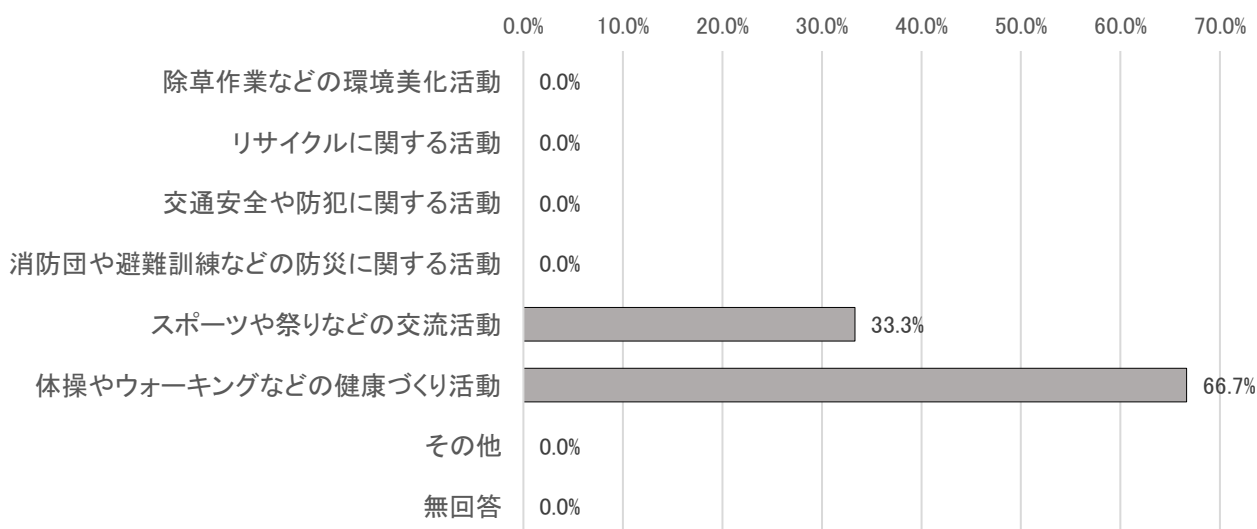
【地域活動に参加しない理由】



地域活動に参加しない理由は、「地域活動を行う時間がない」（30.1％）が最も高く、次いで「地域活動を行う体力がない」（25.3％）、「地域との関わりがわずらわしい」（14.5％）となっていることから、共働き世帯の増加により、日常生活に時間的余裕がなくなっていることや高齢化に伴い活動する体力がなくなっていることが背景にあると考えられる。

問27-3 （問24-2で「4. 興味がある行事が行われない」と回答した方）
どのような行事であれば参加できそうですか。【主なもの1つ】

【興味がある行事】



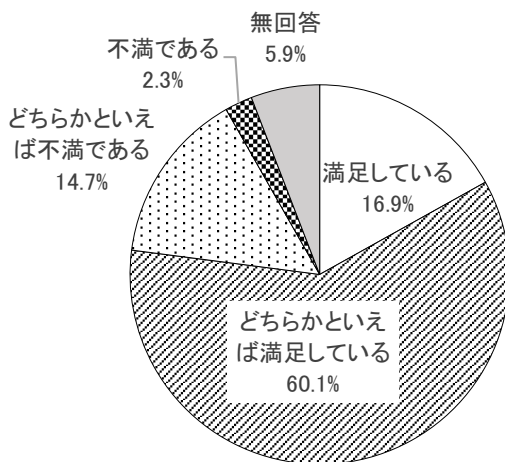
興味がある行事が行われないと回答した方が参加できそうな行事として、「体操やウォーキングなどの健康づくり活動」（66.7%）が最も高くなっている。地域コミュニティの維持に必要な行事に参加したいと思う人は少ないことが分かる。一方で、ニーズのある交流活動や健康づくり活動については求められていると言えるため、幅広い年代を対象とした気軽に参加できる行事を行う等が必要と考えられる。

6. 荒尾市の住みやすさについて

(1) 荒尾市の住みやすさ

問28 あなたは、荒尾市での暮らしについてどのように思いますか。

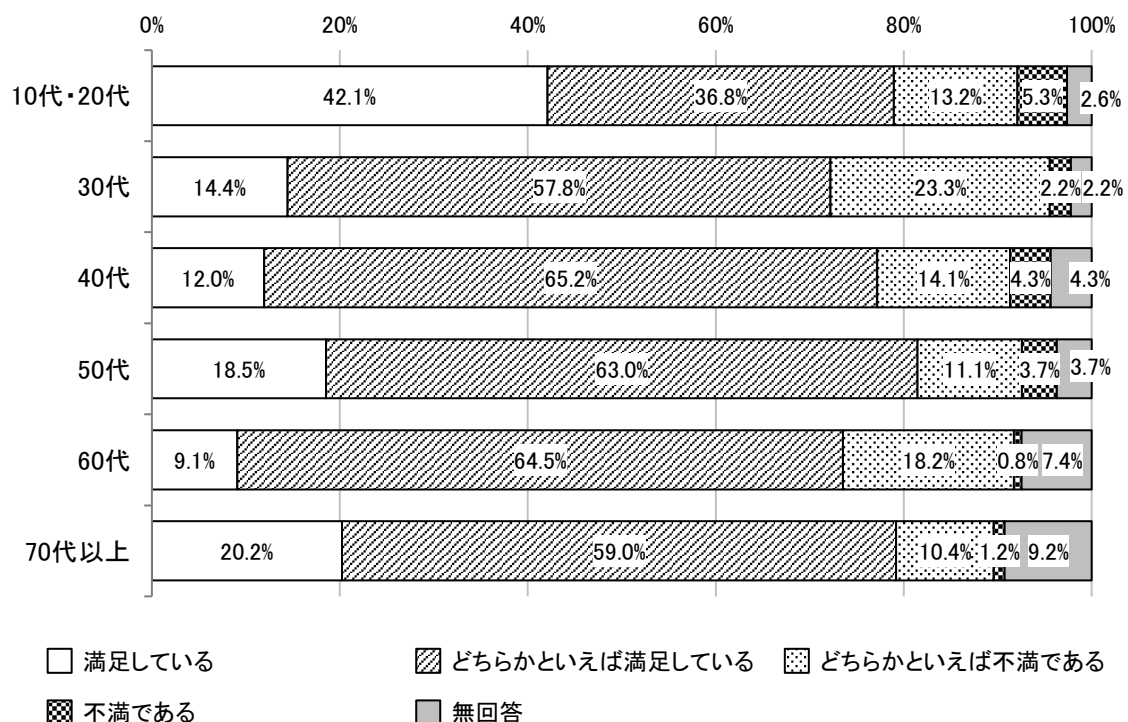
【暮らしに関する満足度】



荒尾市での暮らしの満足度は、「どちらかといえば満足している」(60.1%)が最も高く、次いで「満足している」(16.9%)、「どちらかといえば不満である」(14.7%)となっている。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』層は77.0%であり、前回(73.1%)より3.9ポイント高くなった。

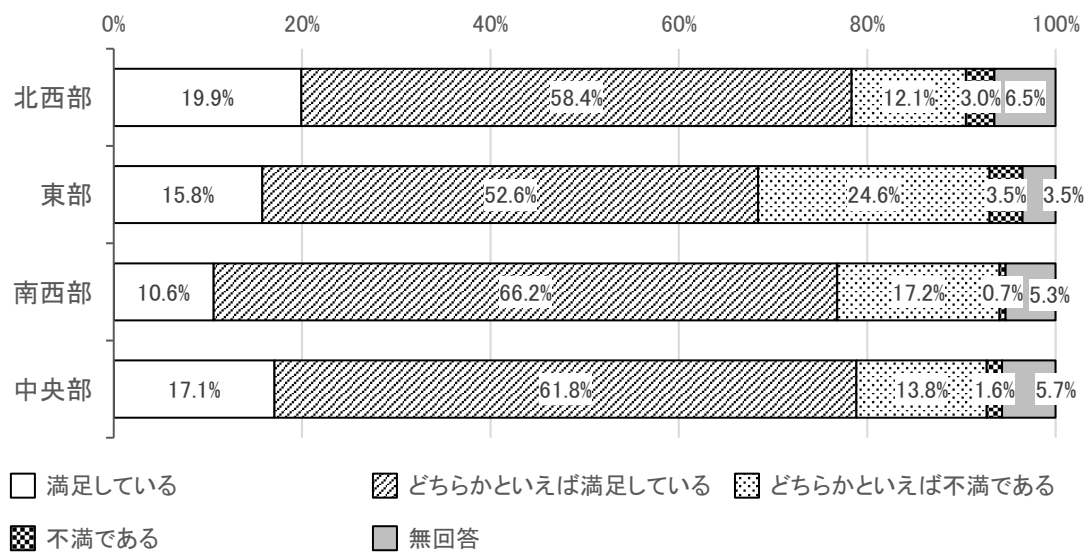
【年代別】



荒尾市での暮らしの満足度を年代別にみると、どの年代も「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』層が7割を超えており、市民の満足度が高いことが分かる。

一方、30代並びに60代では「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた『不満足』層が2割程度おり、他の年代よりやや高くなっている。

【居住地区別】

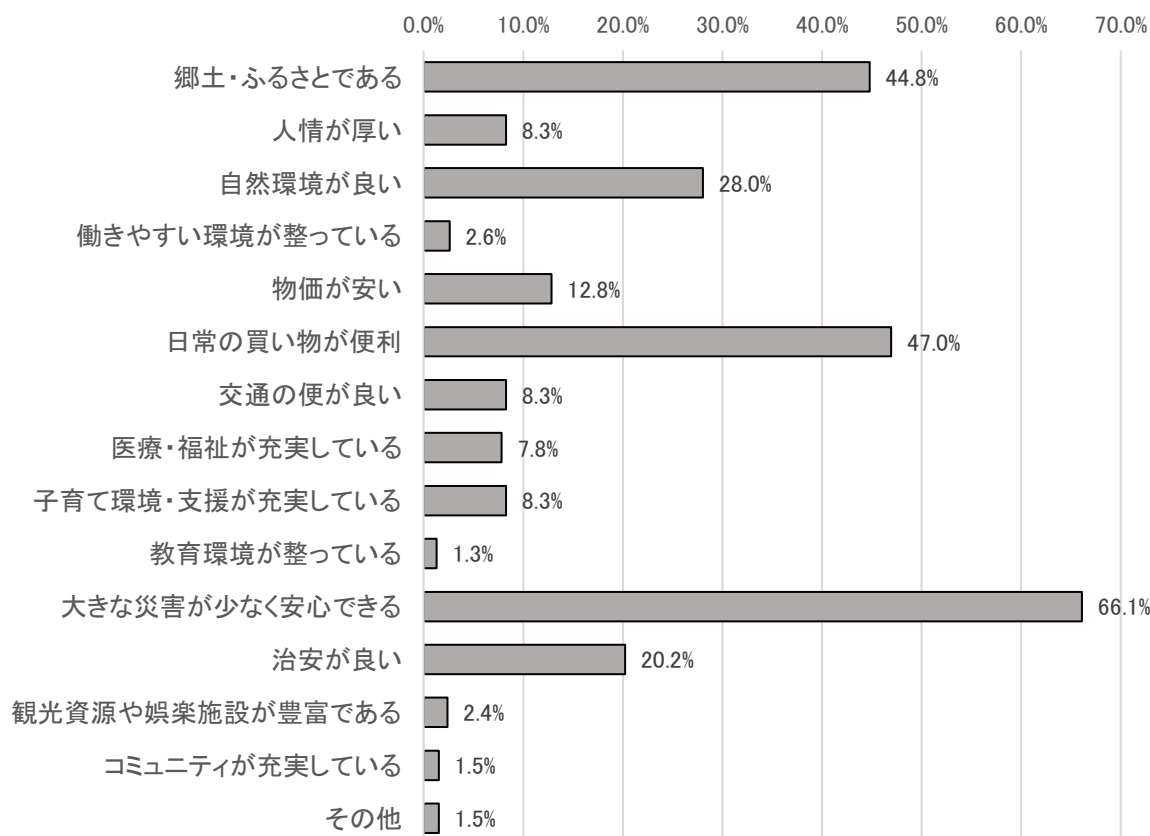


【居住地区】
 北西部 荒尾・万田・万田中央・井手川
 南西部 八幡・有明・清里・桜山
 東部 平井・府本
 中央部 緑ヶ丘・中央

荒尾市での暮らしの満足度を居住地区別にみると、『満足』層は中央部が78.9%で最も高く、『不満』層は東部が28.1%となっており、他の地区より高くなっている。

(問28で「1. 満足している」「2. どちらかといえば満足している」と回答した方)
その理由はなぜですか。【あてはまるもの3つまで】

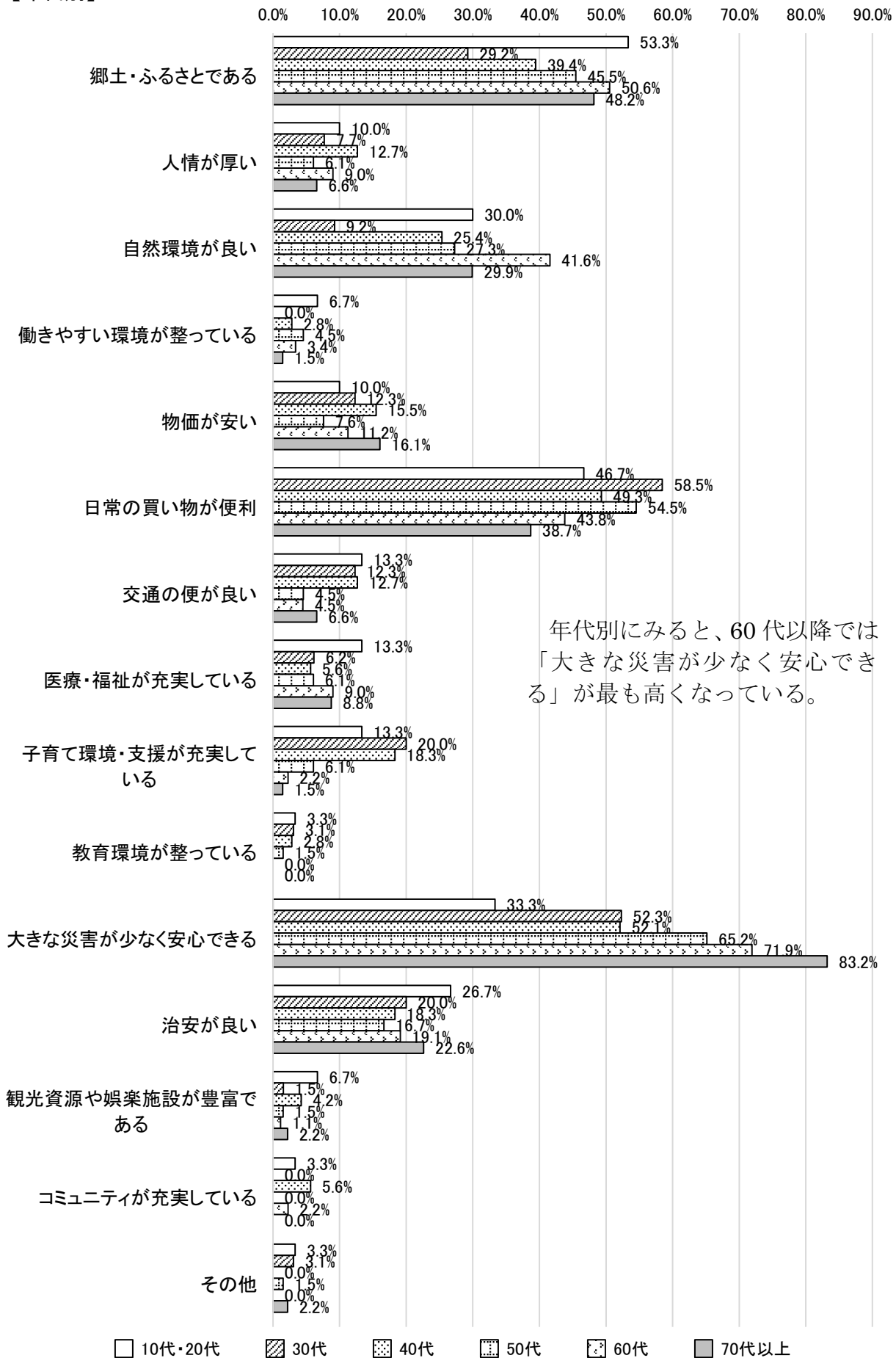
【暮らしに満足している理由】



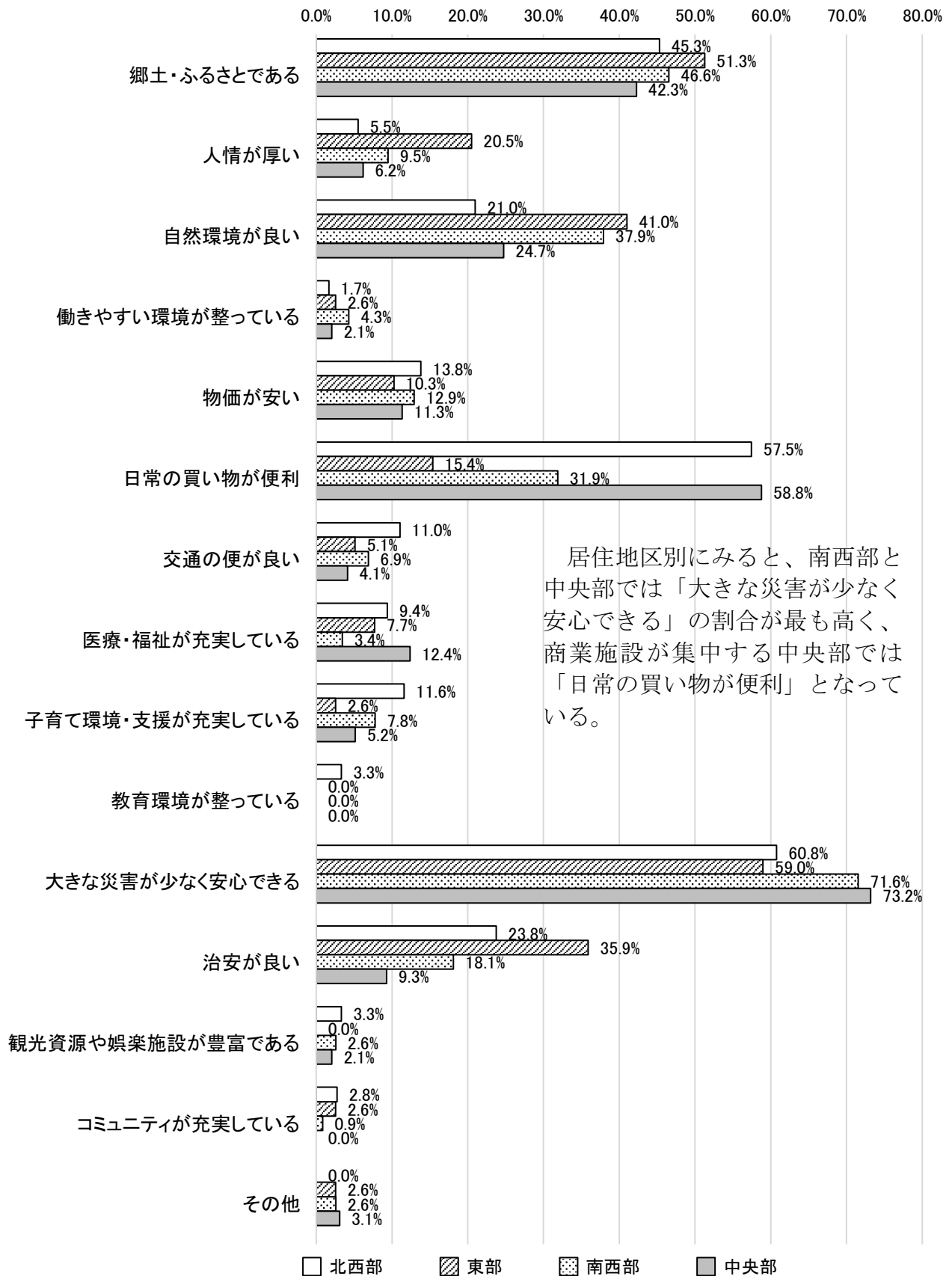
荒尾市での暮らしに満足している理由は、「大きな災害が少なく安心できる」(66.1%) が最も高く、次いで「日常の買い物が便利」(47.0%)、「郷土・ふるさとである」(44.8%) となっている。

これらの項目は例年上位となっており、本市の強みとして、移住・定住の取組みへとつなげていく必要がある。

【年代別】



【居住地区別】



居住地区別にみると、南西部と中央部では「大きな災害が少なく安心できる」の割合が最も高く、商業施設が集中する中央部では「日常の買い物が便利」となっている。

【居住地区】

北西部
南西部

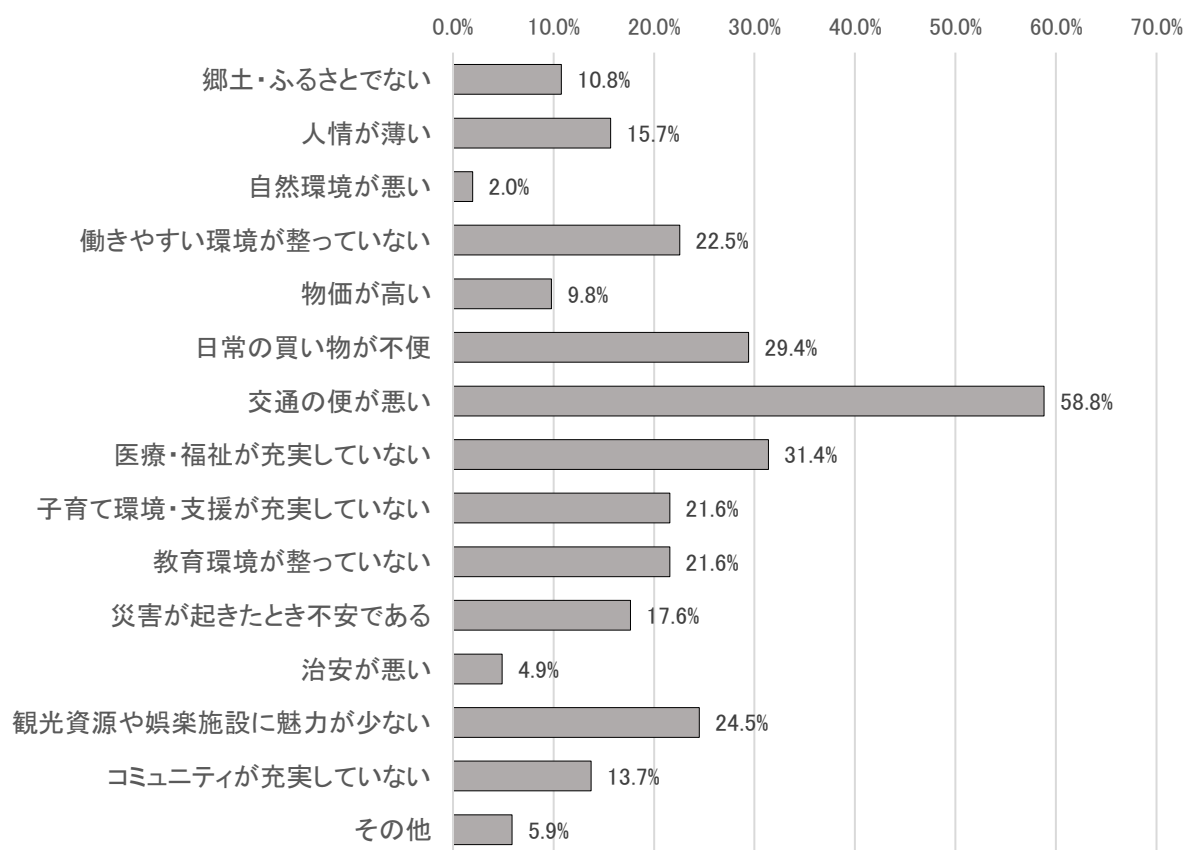
荒尾・万田・万田中央・井手川
八幡・有明・清里・桜山

東部
中央部

平井・府本
緑ヶ丘・中央

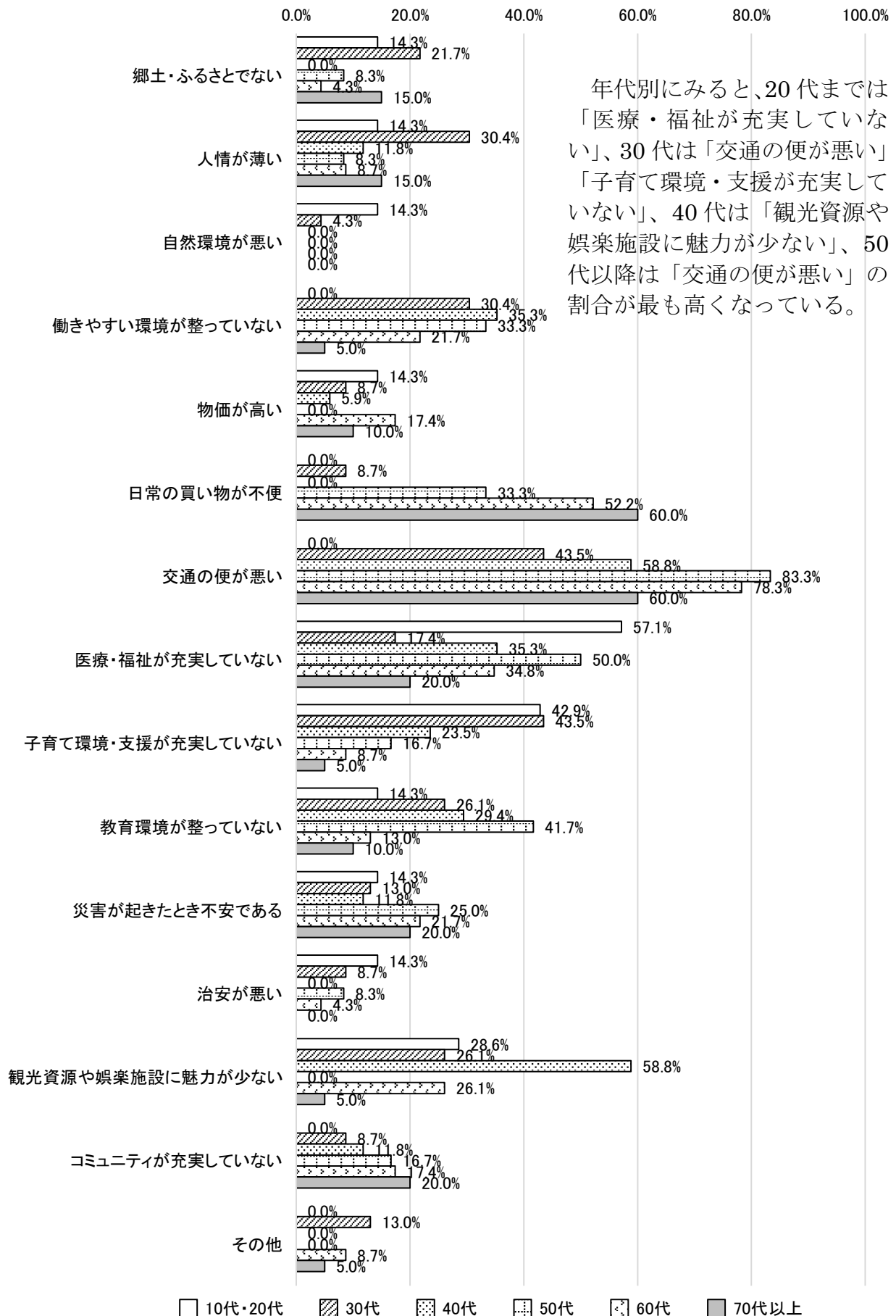
(問28で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方)
その理由はなぜですか。【あてはまるもの3つまで】

【暮らしに不満である理由】

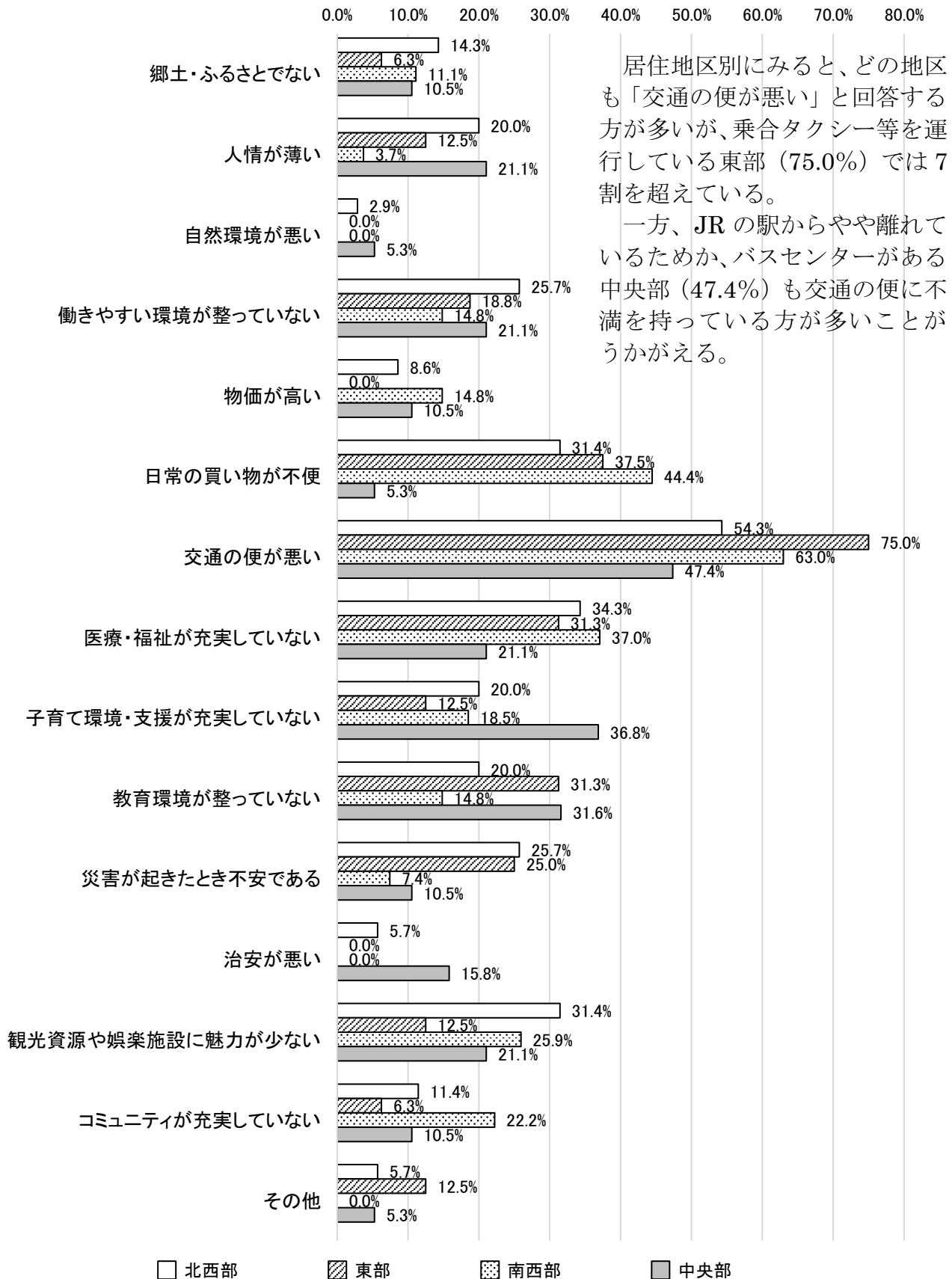


荒尾市での暮らしに満足していない理由は、「交通の便が悪い」(58.8%)が最も高く、次いで「医療・福祉が充実していない」(31.4%)、「日常の買い物が不便」(22.0%)となっている。

【年代別】



【居住地区別】



居住地区別にみると、どの地区も「交通の便が悪い」と回答する方が多いが、乗合タクシー等を運行している東部（75.0%）では7割を超えている。

一方、JRの駅からやや離れているためか、バスセンターがある中央部（47.4%）も交通の便に不満を持っている方が多いことがうかがえる。

【居住地区】

北西部
南西部

荒尾・万田・万田中央・井手川
八幡・有明・清里・桜山

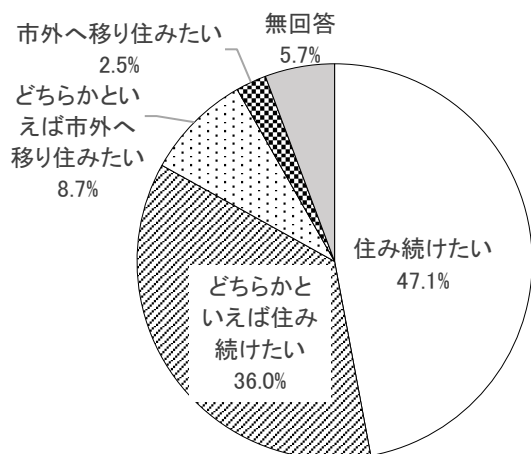
東部
中央部

平井・府本
緑ヶ丘・中央

(2) 荒尾市への定住意向

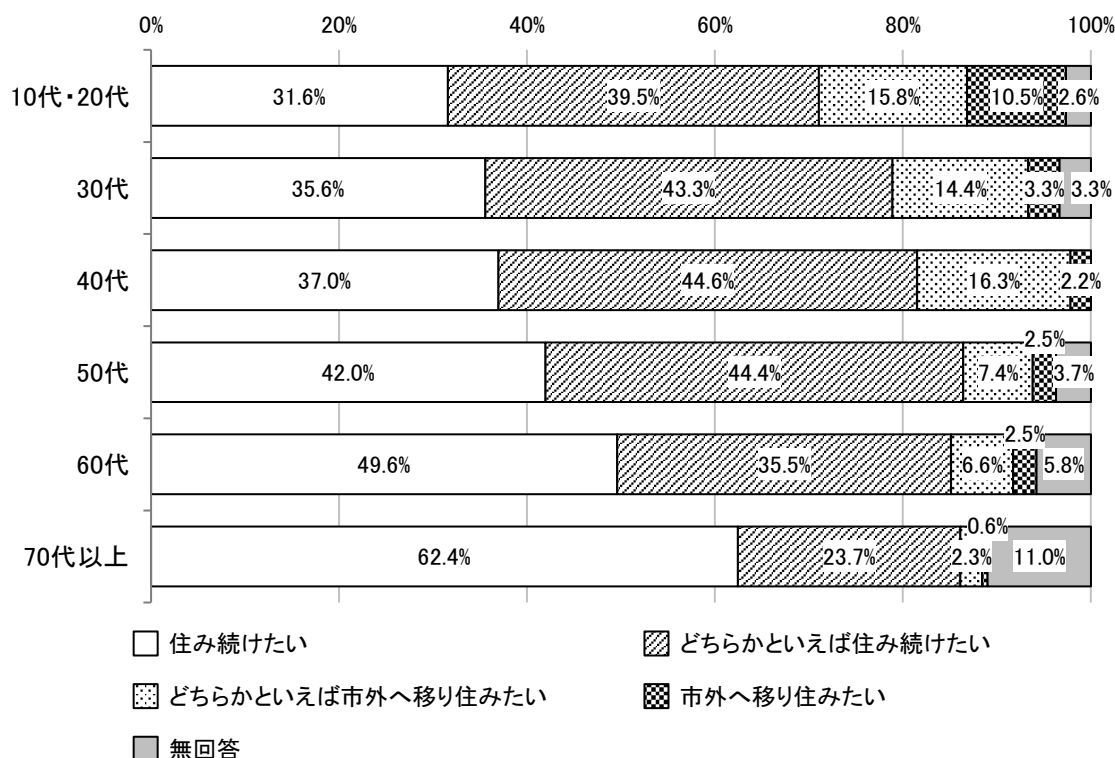
問 29-1 あなたは、これからも荒尾市に住み続けたいと思いますか。

【定住意向】



荒尾市への定住意向は、「住み続けたい」(47.1%) が最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」(36.0%) となっており、これらを合わせた『定住意向がある』層は 83.1% と、前回 (80.9%) と同様 8 割を超えている。

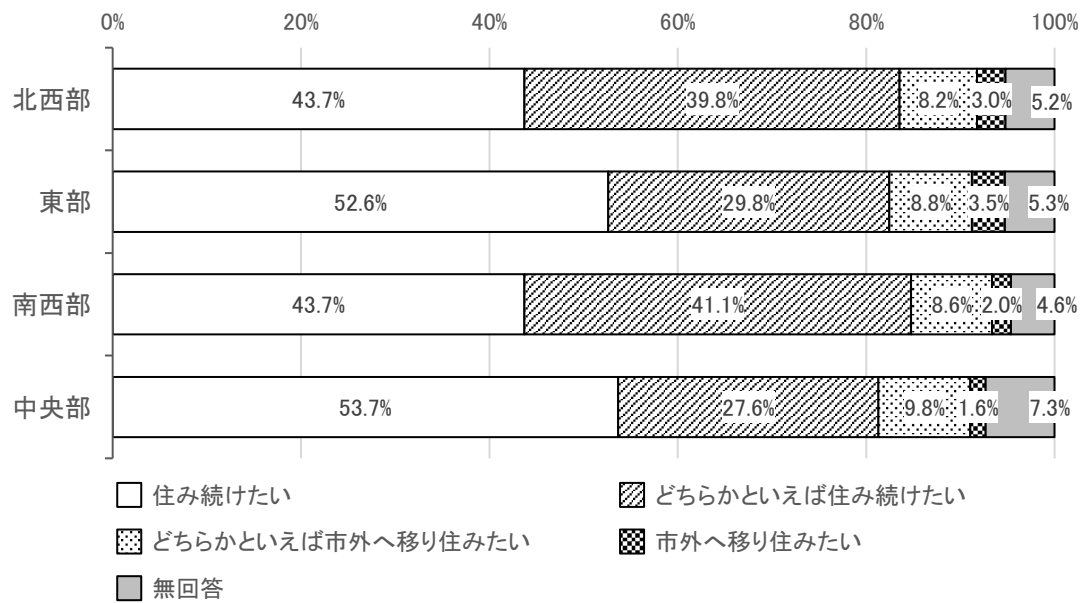
【年代別】



年代別にみると、高齢になるほど定住意向が高くなる傾向にあり、40代以上では 8 割を超えている。

20代までは定住意向が低く、「どちらかといえば市外へ移り住みたい」と「市外へ移り住みたい」を合わせた『定住意向がない』層の割合が 26.3% と他の年代より高い。

【居住地区別】

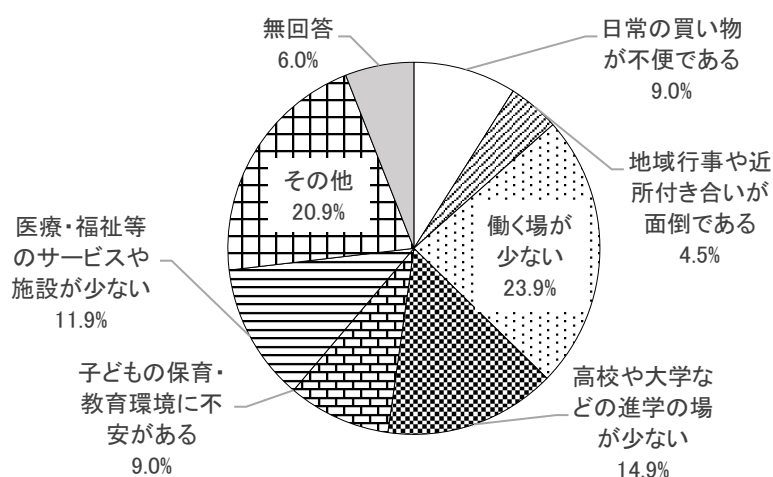


【居住地区】 **北西部** 荒尾・万田・万田中央・井手川 **東部** 平井・府本
 南西部 八幡・有明・清里・桜山 **中央部** 緑ヶ丘・中央

居住地区別にみると、全ての地区で定住意向が8割を超えている。

問29-2 (問26-1で「3. どちらかといえば市外へ移り住みたい」「4. 市外へ移り住みたい」と回答した方) その理由は何ですか。【主なもの1つ】

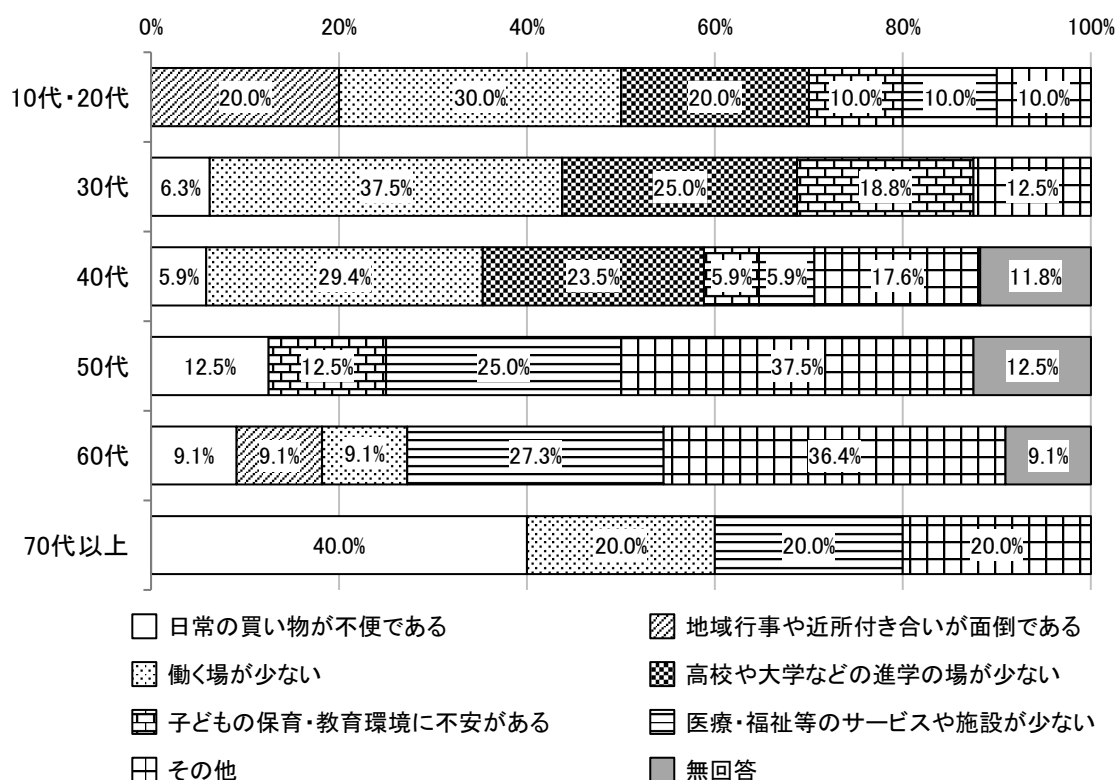
【市外に移り住みたい理由】



市外へ移り住みたい理由は「働く場が少ない」(23.9%)が最も高く、次いで「その他」(20.9%)であり、主な理由としては、仕事や家庭の都合、交通の便が悪い、出身地に戻りたい等が挙げられた。

「雇用環境」や「生活環境」の不便さについては、暮らしにくい理由でも上位にあげられている。

【年代別】



年代別にみると、40代までは「働く場所が少ない」の割合が最も高く、30代、40代は「高校や大学などの進学場が少ない」の割合が比較的高くなっている。このことから、若年層については、雇用や教育の受け皿に不満があることがうかがえるため、就職・進学を理由とした転出が懸念される。

7. 自由意見

問30 最後に、荒尾市の今後のまちづくりなどについて、ご意見・ご要望がありましたら、テーマと内容をお書きください。

約 250 件のご意見をいただいた。以下に、主な意見を分野ごとに整理する。

【保健・医療・福祉分野】

- 福岡県では特定不妊治療の先進医療は助成金が出ています。保険適用とはいえ、お金がかかりますので早急に対応していただきたいです。
- 中1の男子の孫がおりますが知的障害があり四中にはいかず荒尾支援学校にお世話になっております。授業が午後3:00までのためバスの送迎を受け、午後3:30頃には帰宅します。夕方までスポーツができると良いのですが、市のグラウンドまで自転車では一人で行けません。私が車に乗ればなあと思っています。
- 介護で手摺工事をお願いしたが、対象外が何カ所もあり困った。
- 介護保険+障がい者です。歩行器を利用して家の近所を（宮内付近）歩く際に歩道の一部が”レンガ”で敷き詰められており、雨が降るときは滑りやすく危ないと感じています。（実際に転んだ2回）安全への配慮をお願いしたいです。
- 菊陽町の今後の発展を考えると荒尾市民としては残念でたまりません。基幹産業、観光、特産品等に乏しく、高齢者ばかり残り、活気に乏しく、希望はなかなか持てません。給食センターもできましたが、子どもの数も減少しています。高齢者用の給食等も併用できませんか。高齢者に優しい町作りを高齢者自身で考え頑張っていくしかないような気持ちです。将来こんな町を目指しているという具体的なプランを示してほしいと思います。（我慢しなくてはいけないのでしょうか）
- 人生100年時代と言われますが寝たきりや介護が必要な状態での長寿はご本人もご家族にとっても好ましいものではありません。健康寿命を延ばすための取り組みの1つとして町内会ごとに空地を利用した早朝ラジオ体操。毎朝決まった時間に顔を合わせコミュニケーションを取ることで安否確認、異常の早期発見につながりますし何よりさわやかに一日のスタートができます。2つ目として障がい者も利用できるスポーツ施設、特にプール（少し温度を高めにした）を道の駅に隣接して設置する。市民の健康と道の駅の活性化と両方見込めると期待します。
- 年を取っていつてもありますが交通手段に不安があります。バスにも乗ったことがなくとても不安です。今働く婦人の家で運動を4月から始め少しずつ行動範囲を広げていきたいです。健康状態を良好に保つことが一番大切だと思います。いろいろ健康快適に過ごす情報を発信してほしいです。新しい荒尾市民病院の婦人科の情報を知り、新しい試みがうまく行くことを願ってます。
- バリアフリーを充実してほしい。例えば年金だけでは生活できないので福祉タクシーの料金を安くしてほしいです。デマンド形式バス等作ってほしい。ヘルパーさんとの時間を今より長く取れるようにしてほしいです。障がい者もわかりやすい新聞があるといいです。
- 障がい者で字が思うように書けません。困ったとき、どこに頼んでいいかわかりません。去年の民生委員さんはよく回ってこられましたが、今年は誰かもわかりません。何年か前の台風で家屋は壊れています。市でももう少し福祉の方にも力を貸してください。

- 免許返納者の高齢者の見守りも。移動の仕方を考えること、老老介護を考える、市民の為と年金の少くない人のために施設を作る。
- 立派な病院が出来てもきちんと病気を診てくれる医者と呼ばなければ意味がない。個人病院も同じ。荒尾の人は大牟田や他の病院に行く人が多いと思う。教育（子ども）も他の市町村に比べると力が入っていない気がする。高齢化するほどに住みにくくなるまちだと思う。お金があれば移住したいと思う。良い所は災害が少ないまちだという所。
- 老人の免許返納後の交通の利便が悪いため出かけたり、買い物に行く、病院通院など、動きが取れないことが多い。家族が一緒であれば問題がないこともひとり暮らしには不便でならない。もう少し便利にしていだけたら荒尾市内も自由に行動でき、一人でふさぎ込むことも少なくなると思う。
- 社会の全ての人に対して必要な助けが得られるシステムがあればと思う。子育て世帯に保障を手厚くすることは大切だが、今後増える高齢者（独居）への支援も孤立しない新しい仕組みが必要だと思う。また空き家を住宅支援が必要な人に安く貸せるようなシステムもあるといいと思う。
- 子どもから高齢者まで利用できる市の運動施設や温浴施設があれば、健康作りができ、横に保健施設があれば相談窓口を利用しやすく、市民の健康レベルも上げることが出来るのではないかと考える。
- 私は昨年、36歳で乳がんになりました。その当時はまさか自分が!!という気持ちでした。乳がん検診クーポンも40歳以上からで、私くらいの年齢では自分から検診に行くのも限られてると思います。また、髪の毛が抗がん剤治療に抜けた時、荒尾市にはウィッグの助成金はないとホームページで知りました。もし、よろしければウィッグの助成金や荒尾広報などに、検診に行きましょう!の推進だけでなく、実際に闘病された事のある方の事を一緒に載せる事によって、人ごとではない!!と思ってくれるはずです。是非、ご検討ください。宜しくお願いします。
- 少子化で子どもを持つ家庭の待遇は、どんどん改善されてます(このお金で旅行に食事にと楽しい話をしている若夫婦もいます)が 年金世代の生活はどんどん困窮して居る様に感じます。その日暮らしさえ難しくなるであろうこれからの自分の老後は不安しかありません。
- 障害を持っていてもJRを使いたい。平等に移動できるようにして欲しい。
- 障害児（発達障害、知的障害など）の活躍の場（習い事など）を増やしてもらいたい。
- 熊本市内まで行かないとサポートが必要な子の習い事が少ない。また、放課後デイサービスの施設を増やしてもらいたい（土曜日も預かって欲しい）日曜日保育もしてもらいたい（資格試験が毎年日曜日なので預け先がなく、受験できない）
- 障害児を育てているが、働きにくく、近年の物価高騰で家計を圧迫している。手当を増やしてほしい。
- 父子家庭の手当などを、よりよくしてもらえると助かります。

【産業・観光分野】

- 3年後には競馬場の跡地に道の駅が出来る予定と聞きました。道の駅は今けっこう人気スポットでもあると思うので、フルーツや野菜などの販売、市外の人が行きたいと思えるような施設が出来ればと思っています。
- 賃金が安い。
- 農家育成プログラムなどの支援。

- 荒尾の活性化のためイケアやロフト等若い層の人たちが集まる場所を作ってほしい
- 有明沿岸道路等の交通網は年々充実していっているので市の目玉となる観光地や物産、飲食店等、市外県外の方が「わざわざ荒尾市へ行こう」と思えるような場所やお店があればと思います。行政、市民ともに外へアピールできる物があればと感じます。
- お店がたくさんできているけど、ほかの店が心配になる！！
- 新しく造ろうとしている「道の駅」の売りは何か見えてきません。具体名を出すのは失礼と思いますが、大牟田市の「花ぷらす」のようになるのではないかと心配です。
- 高齢者にとって歩いて行ける場所にスーパーができるのは便利ですが、大型スーパーの出店ばかりで若い人が多数地元で就職できるような企業の進出の話がないのが不安です。もっと企業誘致に向けて荒尾をアピールしてほしい。今からでも子どもが地元で就職できれば今増えている高齢者のみの世帯が少しでも減ると思います。
- 近隣の県の道の駅に行きますが、充実しているところと、時が経つにつれて魅力がなくなって閑散としていく所もあり（その一つに大牟田花ぷらす館）そうならないように地元の人もわざわざでも行きたくなるような憩える場所の道の駅になってほしい。
- 最近シティモールがリニューアルオープンして活性化になった気がしてうれしいし自分もよく行くようになった。なのでシティモールみたいな人が集まるテナントをたくさん入れてほしいなと感じる。あと他県がキッチンカーをたくさん集めたマルシェか唐揚げ選手権みたいなことをやっているのでもそういうのもやってみてほしい。
- 自然と文化が程よくバランスが取れており、人情も厚く住みやすい所だと思います。災害も少ない印象です。ただ若者が働く場所が少なく、市外に流出してしまっており、TSMCの子会社などが来てくれればと思います。最近ネットで日本の地方都市に関心を持つ海外の人も増えており、人口700人の村が空家を改造し古民家風のホテルにし、たくさんの海外の人が訪れていることがTVで放送されていました。荒尾も有明海など美しい観光資源があり、潮干狩りなど積極的に発信していくこともよいと思いました。
- シティモールがリニューアルされたが、フードコート出店も既に撤退していたりするので、人気のチェーン店を招聘すべき。
- 男性が働くところがもっとあってもいいと思います。
- 我が家の近くには 歩いて行ける店舗が無く、今後車に乗れなくなった時どうすれば良いのか不安です。現在子どもも遠方に住んで居ます。店舗がかたまってあるので せめて食料品の店舗が近くに出来れば助かります。
- 給与水準が都会に比べて低すぎるために若者が結婚に躊躇することがあると思います。将来性のありそうな企業誘致に頑張って欲しい。
- 教育や文化など色々充実しても、魅力があり、ある程度高収入の仕事がないと若い世代は市外に出て行ってしまいます。実際、私の子どもやその同級生もほぼ残ってません。とにかく安定的に活気ある街にするには仕事(経済)基盤がないと全て成り立ちませんので、近隣の地域とも協力も視野に入れて全力で取り組んで欲しい。兎に角、ほぼ高齢者の街になっているのでよろしくお願いします。
- 荒尾は映画館も大牟田のイオンまで行かないとなし、遊ぶ場所が思いつかないので、人が来づらいと思う。そのため、娯楽施設を誘致したり、学生が遊びに行ける場所があると良いと思う。
- 道の駅について：今から作っても、時！遅く！絶対成功しないと思う。
- 市はタッチしてないところがほとんどだと思うのですが、ディスカウントショップはもう充分なので…区画開発を行い誘致する際には、あまり周りにないもの(県外からも来る様な)をぜひに！
- 市内に安く買える子ども服や赤ちゃん用品を取り揃えたお店がないので、バースデーや

西松屋が欲しい。

- 市内に住む人も外からも人が集まりたくなるような、商業施設、遊び場が整備されると良いと思います。具体的には、有明海でのマリンスポーツやアウトドアが出来る観光宿泊施設、周辺の飲食観光等。娯楽施設や目玉になるような遊びスポットと整ったアクティビティがある公園などが出来たら活性化するし楽しいと思います。
- 若い人や中高年が正社員として、働ける環境を作ってほしい。長時間労働やパワハラブラック企業がおおいので。
- 若い方達が、荒尾市に移住したいと思えるまちにするためには、農業、工業、商業、漁業皆発展すれば理想ですが、今、環境問題が将来の生活に不安をもたらしてる中、エコカーの開発を、若い方達のアイデアで、現実化出来ないかとおもいます…荒尾が日本で一番綺麗なまちになって欲しいです。
- 若者の利用できる店が少ない。UNIQLOなどを誘致してほしい。またフードコート充実させてほしい。
- 他県の道の駅糸島市の伊都菜彩や都城市のNIQLLのように何度も訪れたいようなワクワクする道の駅が出来ると嬉しいです。
- 大きなイオンモールや、大牟田の諏訪公園みたいな大きな公園があればもっと子育てしやすい。
- 道の駅計画がありますが、農産物や畜産海産物提供者は本当に見込めるのか見通しが甘いし、疑問でしかない。大牟田の道の駅ように店舗撤退となり、荒尾市はアジアパークの二の舞でまた負債になるとしか思えない。
- 買い物やお食事をするところが少ないかなーって思います。車がないと生活が困るので、高齢になって車を運転できなくなったら、と今から不安です。

【子育て・教育分野】

- ひとり親の子育て、生活：収入によってもらえる額の枠を広げてほしい。収入があっても仕事を増やすともらえないのはきつい。養育費がもらってない家庭への対応も考えてほしい。仕事でいない時間子どもが一人でいるので安心できる環境を整えてほしい。
- 物価上昇する中、給料だけ上がらない。転職でさらに給料が下がった。子どもの手当を増やしてほしい。本当は子ども3人ほしかったが、今のままではもう産むことはないだろう。
- 幼稚園の保育料無料でも給食費が年の途中から払わないといけなくなった。給食費も無料だとありがたい。バス通園代もかかるので。
- 出産した場合の特別お祝い金制度があればいいと思います。
- 出産時の手当がもっと手厚ければ(100万円とか)、2人目、3人目と産む人が増えると思う。
- 1 通勤通学に便利な町、2 自然豊かで生活しやすい町、3 住みやすい住宅環境を整えやすい町。つまり、志免町のように子育て世代に絞った町作り。
- 明石市の政策等参考にさせていただき、子どもを子育てしやすい環境にしてもらいたいです。
- 子どもばかりにお金をかけ過ぎではないかと思う時がある。親がいるのにそこまで税金を使うのかと思っています。他に使うことがあるのではないかな？
- 一般の小学校などで障がい者も一緒に学べる環境づくり。子ども時代から助け合いを子ども達が自然に学べる。無農薬の給食提供。
- 荒尾市には公園がたくさんあるが、駐車場がなかったり規模が小さかったりしてなかなか行けないので、駐車場がたくさん、遊具もたくさんある「むつごろうランド」のよう

な施設があるとよいなと思います。また雨天時に遊べるところがほとんどないので大川の「モッカランド」のような室内施設があると良いと思います。せっかくグリーンランドがあるのに荒尾市民の利用は少ないように思います。なので市民割引きなどを作ってもいいのではないかと思います。荒尾市がもっと住みやすい所になってほしいです。応援しています。

- 荒尾市には高校が少なく、進学したい学校がない。熊本市内の私立高校へ行く子どもたちも少なくない。もう少し魅力のある高校を作ってほしい。例えば進学校やスポーツなどに特化した学校など。子どもたちのスポーツできる環境が少ない。特に雨の日のサッカー場は酷すぎる。部活動離れが進み、地域のクラブで活動している小中学生が増えている。もう少し活動環境を改善してほしい。人口芝のグラウンドなど作れば、他県からの試合の誘致などもでき、宿泊やレジャーなども活気づいてくるのではないかなと思う。子どもの医療費が中学生まで無償化はすごく助かっています。ありがとうございます。もっと魅力ある荒尾市にするためにもPR活動を頑張っていただけるといいのかもしれない。
- 多くの公園の遊具が新しくなり嬉しい一面、全く手つかずの公園が身近にあるのが気になります。私の住む団地周辺の公園は遊具も古く、先日はブランコの周りの「柵」が折れていました。野良猫が多いからなのか砂場がある公園も少ない印象を受けます。あと公園を利用する子どもたちのマナーが悪い。お菓子やジュースのゴミのポイ捨てがかなり目立ちます。わがこととして公園に行ったときはなるべく拾うようにしていますが、周辺小中学校への指導もお願いしたいです。
- 地域、住むところによって選択できる高校や大学が狭まるのは不平等であると思う。議論や対策をお願いしたい。
- 旧荒尾市から新荒尾市になるために育児（子育て）のために親の役目を取り上げすぎ。給食費は親の役目であり税金でやりくりする必要はなく、本当に必要なことに大切な税金を使ってほしい。子ども（育児）のためにより、結婚して荒尾市に住んでもらえる様にお祝い金も支給があつていいと思う。近くの町へ移り住む人たちは目前のお祝い金、家を建てて将来を考えられる町を若者は尊重していると思う。50代の私たちは無償化など何もない税金だけを多く支払っている。自分の子どもが就職し、荒尾市に在住、結婚もして荒尾市に住んでくれた。ありがたいです。外から荒尾市へ移り住む人もありがたいですが、ずーっと荒尾市に住んでくれる子も大事にしてください。キューピットの1カ所のみなので、予約が取れないことが数回ありました。病児保育の増設について、ご検討を宜しくお願い致します。子育て支援が充実していて、荒尾市が大好きなのですが、子どもが突発で熱を出したとき、仕事の調整にもバタバタして、仕事との両立に悩んだ時期がありました。
- 熊本市内からの移住者です。荒尾市は住み心地のよい所だと思っています。しかし子どもが高校への進学を決めるとき、熊本市内の高校の進学を選択したいと考えています。荒尾市内では選択肢が少なく、校風の特性に魅力を感じられないのです。高校が活性化してくれると長く住み続けられるような・・・たいへん偏った私見で申し訳ないのですが、教育機関の質の向上により整ったまちづくりができていく気がします。長期的ではありますが。
- 公立高校の個性やレベルを上げてほしい。それを考えると情けない気持ちになる。※市の活気はまず学力向上→若い夫婦が移転してくる。
- 子どもが遊べる遊戯施設が少なく感じる。公園等は整備されていると感じるが、雨の日に遊べる場所がない。
- 子どもが下校時家に鍵を開けて入る際不審者に入り込まれないか毎日心配です。下校時

間は同じでもクラスによって時間差があり一人で帰ってくる日もあるそうです。また玄関は道路側でないため死角になり犯罪者が隠れて押し入ることも可能なので、絶対にはないと言えないことなのでとても不安です。家の周囲も皆共働きで留守です。道路を挟んだお向かいや周囲には高齢の方が住んでいらっしゃるようですが、付き合いもなく、また家の中で過ごされていた家の外で掃除や庭、畑、運動をされているのも見かけません。子どもたちが下校してくる時間に大人（高齢者の方）が活動されていれば、治安的に少しは効果があるかと思いますが……。他ではあっている老人会による下校児童の交通安全見守りもありません。競馬場跡地にいろいろ造ろうと計画されていますが、経済的にもとても心配です。学校はとても古い中央小にいたってはとりあえずと言って建てたプレハブを使い続け、何をかんがえているのでしょうか。それなのに中央学童クラブの第2団舎には助成金をより出してその辺の住宅よりも立派な建物を作り、しかし収容人数は少なく希望しても入れない人が多数いて、これこそプレハブでよかったのでは？お金の使い方がおかしいと思います。正しい使い方をしてほしいです。給食センターもアレルギー対応と言いながら全くアレルギーに対応した給食は作っていません。図書館やシティモールを押していますがそもそも小学生は緑ヶ丘小しか自分ではいけません。学校のルールで保護者同伴。図書館は見た目ばかりにお金を使ってとてもつかいづらい。子ども向けの本が置いてあるスペースのテーブルで高校生？大学生？社会人（大人）？が飲み物まで持ち込んでテーブルを占領していても放置。あの図書館なら昔の古くて使いづらい図書館で良かったのではないかと思います。市民病院も新しくなりましたが、ワクチン接種の申し込みをしたところ2:30までに来てくださいと言われ、小学校はまだ授業中です。病気なら仕方ないけど予防接種のために学校を早退する、休むって保護者としては考えられない。スタッフの時間の関係でしょうが時間外を付ける必要はない。遅く仕事を開始し8時間就労する。そういうことに取り組む気はないのでしょうか？建物ばかり新しくして考えは古い。荒尾市は学力が低いとなっているが全く改善の努力されていない。具体的努力ないから。蓄電池の補助金をしているというが、太陽パネルの設置とセットしか対象にない。補助金もないまま太陽光パネルを自腹で設置して蓄電池までは手が回らなかったのに補助金の対象にならないので、だったら補助金出さなくてよいと思います。ふるさと納税の返礼品が欲しいと思うものでない。知人に紹介できない。広報にいろいろなイベントや習い事など紹介されているが、その月にならないとわからないでは仕事していると参加できない。土日祝日休みの仕事の人ばかりでない（市職員のように）子どもが参加したいと言ってもごめんねーとしか言えない。市にも相談したが直接それぞれのイベントや習い事のところへ電話して聞いてくださいと言われた。毎月ならともかく1年に1回しかないものだと聞きようもない。コロナワクチン接種2023年秋冬は集団接種がなく病院の一覧を配布されても電話もダメ、来院してという所もあり、聞いても毎日はないとか、週に1回だけとか午前中だけとか午後何時～何時と言われ、仕事していたら無理。予防接種をしてくれる病院だけでなく、いつ接種しているのか曜日や時間まで細かく記載してくれないと電話かけたり来院したりして予約取るの大変というか予約取れていません。荒尾市はコロナワクチン接種する気があるのかと疑問です。小学校の運動会はコロナ流行で午前中のみになりましたが、コロナ対応が緩和された今年も午前中のみでした。子どもの出番が減っているあげく徒競走に全員リレー走ってばかり。走るのが遅い子にはいじめでしかない。運動会以外の行事も持久走大会のみ。走るだけ。運動会は1日しっかり子どもの出番を作してほしいです。教員のやる気を感じない。日々の学習も運動会ももっと子どものことを考えてほしい。今しかない時期走るだけの思い出、学力の格差(他の市町村と比べて荒尾市が低い) こちらも子どもの事を考えているのかと思

います。10月の広報に特別号が付いていたが有明医療センターの紹介は同じものもありとても無駄だと思います。その分他の情報をください。無いなら重複しているところは省いて良いと思います。高校生まで医療費負担は以前からお願いしていたことで実現してよかったです。私だけの意見とは思っていませんが取り入れていただけたと感じています。公園も同様ですが、遊具が大牟田や長洲などに比べると少ない。昔ながらの遊具、もっと大型アスレチックが欲しいです。子どもが“岱志塾”に今年の夏休みに参加してとても喜んでいました。こういう企画増やしてください。因みに有明高専にも行ってこちらの方が大規模ですごかったそうです。お仕事体験とかいろいろ子どもの為企画してほしいです。中学生までの学童保育（居場所）があると良いと思います。広報が外部委託されてとても無駄な内容が多く費用がもったいないと思います。必要な情報をください。知らない人の話はいいりません。予防接種、任意のもの全額負担にしてほしい。（公費）高いので接種を躊躇します。公約だったが無駄なので花いっぱい運動はやめて他にそのお金を使ってください。意見を取り入れていただけるかは別としてアンケートを実施していただけることはありがたいです。

- 子どもたちがボール遊びできる公園が欲しい。バスケット（屋外）ゴールの設置　ドッグランなども。
- コミュニティスクールがうまく浸透しておらず、学校と地域の協同活動があまり見られないので、少しずつでよいので活動をしてほしい。
- 三中ではなぜ9月に入ってもプール授業を行っているのか、疑問である。（管理費）
- 子育て世代への支援が必要である。
- 若者の都市部への人口流出を止めるような魅力が必要である。
- 魅力ある高校：私の母校が不人気でとても寂しい思いをしています。阿蘇にマンガ科ができて話題になっていたりします。荒尾に若い人が増えるためにも、高校生が増えてほしいと思っています。新しい改革をして活気ある高校になってほしいです。
- 各地で動き始めているインクルーシブな学びの場では障害のある無しに関わらず共に学ぶ場が作られ始めている為、荒尾市でも障害のある無しに関わらず共に学べる場がふえていけばいいなと感じます。先進的に進んでいる地域はやはり行政が前のめりで動いていると聞きます。興味を持って考えていただけるといいなと思います。
- 現在荒尾市では小学生の給食費や高校生までの医療費の無償化や英検受験の補助など子育て支援に力を注いでもらっています。しかし、義務教育終了後の進学先の選択の場において市内の高校への進学についてはなかなか厳しい状況です。市内の高校への補助があれば岱志高校も選択肢の一つになるし、高校までを市内で過ごせばそこから市内への就職につながっていくのではないかと思います。
- 自身は進学希望だったため県外の高校に進学したが荒尾市の高校在学者を増やして行ければ荒尾市に興味を持つ人が増えるのではないかと思います。
- 荒尾市は最先端な事業を行っていてすごいと思うが、子育てをするには非常に住みにくい。学童に入れず離職せざるをえない人がいるにもかかわらず、市は市民の声を反映させてくれない。学童費も近隣より高い。教育面も近隣は学力向上のため様々な事業を行っているが荒尾市は教育には力をいれていないように感じる。これ以上子どもを産んで育てようとは思わない。荒尾市で子育てをしたいと思えるような子育て支援を行ってほしい。
- 子どもが少なくなっているのでもっと子どもの生活を考えて、子どもを産める環境作りと子ども達の未来が楽しめる環境作りに取り組んでいって貰いたい。
- 子育てはお金が必要の為、次世代の未来を発展させるように人財を増やしていく。給食費、医療費支援、無料だといい。

- 子育て家庭に十分な支援が欲しい。給食費、医療費支援、無料だといい。
- 子どもがいないと、地域の情報が入ってこないような気がする。
- 市内には子どもや親子で遊べる所が少ないと思います。特に雨天の時に利用できる室内で体を動かせる施設が欲しいです。
- 小学校でのタブレット学習について、学校によって使用方法がかなり異なっているようです。使い方の差が情報格差になるのではないかと気になります。
- 図書館や公園の遊具が新しくなり、子どもたちが過ごしやすくなっていると思います。市民プールも小さな子どもがもっと遊びやすくなれば嬉しいです。これからも子育てしやすい環境にしていって欲しいです。
- 先生方の労働環境が厳し過ぎでは？教員採用試験受験者の減少が心配です？まったく同感です。
- 岱洋区の信号をグリーンランド入口の看板があるといい。岱志高校は通信制にした方がよい。高校卒業後の進学先がほしい。特殊な短大専門学校など
- 津波の心配があるかもしれない場所で、荒尾市の中心部では無い所に、福祉や子育て支援の拠点を置くなんて、競馬場跡地を有効活用しなければ！という考え、ただそれだけにしか思えない。
- 年齢別遊具施設について：天気によらずに遊べる、年齢別施設が欲しい。季節を味わえる、遊具施設、学べる場所が欲しい。
- 日曜日や祝日、平日の夜間など保育所も空いていない時の預かり可能な場がほしい。民間の預かりは利用料が高いため、公的な対応があったり、補助があるといいと思う。
- 燃料費、物価高騰でも給料は据置、家計はとても苦しいです。中学生の給食費もぜひ無料にして欲しい。子ども手当ももう少し金額を上げて欲しい。保育園代でなくなります。
- 母親が専業主婦だとしても、下の子どもが生まれたときには上の子が 3 歳以下でも預けたい人は園へ預けられるようにしてほしいです。

【スポーツ・文化・生涯学習分野】

- スポーツやアクティビティ→これからは見据えた子どもたちの可能性を伸ばす施設を作る。新しくダンスやスケボーなどの子どもも大人も楽しめる場所。グリーンランドだけでなく外から（県外）も来たくなるような場所づくり。
- 大きな大会ができる体育館を建設してほしい。体育館の老朽化、観覧席拡充、いろんなスポーツが可能な体育館。
- 図書館がたいへんもったいない感じがする。足腰が悪い私は不便です。車を止めて、すぐエレベーターでいけるならと二回行って思いました。歩くのが長すぎます。一番南側にエレベーターでもつけたらよくなると思います。不親切ですね。無駄が多すぎます！！
- 学校・体育館（学校・市民体育館）プール、公園、トイレなど。とても老朽化が目立つ。近隣の市に比べても体育館や施設（スポーツ）の数も少ない。そのため、大会の開催や催し物イベントの機会が少ない。イベント会場や大人数収容できるような施設を作ることにより、大会、イベントで観光業の活性化につながる。人が集まる場所が少ない。平井校区の公園を利用したことがなく、どこにあるのかもわからない。子どもから大人まで使用できるような公園、トイレの新設が必要。
- 教育福祉の充実は勿論だが、土地独特の歴史や文化の保持、芸術関連についても力を入れてほしい。荒尾は端的に言えば田舎であり、芸術などに力を入れる余力などないのだろうが、文化、芸術の充実は市民の心の充実に直結する。都会へ気軽に行ける土地では

ないからこそ、せめてこの市内でできる限り文化的資本にアクセスできる状況を作りだすべきである。それがこの地域に住む子ども達への教育にもつながるのではないか。個人的には文化センターで行われる催しが伝わってこない、わかりにくい。せっかく「文化」の名を冠しているのだからここをもっと荒尾の「文化」の発信の場として盛り上げていってはどうか。これらの意見を所詮理想論と切り捨てたい気持ちもわかるが、このままでは若者は荒尾を離れるばかりである。真新しい、物珍しい目先の事ばかりにとらわれずいまいる市民の心と身体の充実を真摯に目指して欲しい。私が求めるのは以上である。

- コロナで外出が減り体力がついていかない人が増えている。お年がいった人が集まれるような場所、運動、おしゃべりができるようなところがあったらいい(モールの近くに)
- 桜山3丁目公園の横に子どもや老人がお話できるハウスを作ってほしい
- シティモールなどと一緒にイベントなどをして欲しい。(駐車場は広いのでb級グルメイベントなど)
- スポーツ施設にしては狭く、バレーボールコート2面取るのが精一杯である。もっと広く6面8面とれると他のスポーツにも適合でき、市民の利用度も増え、また他市からの利用度もアップするのではないかと思います。玉名市の百田や熊本の施設を参考にしてください、ぜひ検討していただきたいと考えます。
- ずっと住み続けたい町荒尾：そのためにはいろんな魅力が必要だと思う。この夏・・・シティモールで行われた3つのトークショーに参加した。どれも内容あるものだしなかなか実際に会えない方々でもあったのでとても充実した時間だった。これからの知的好奇心をかき立てられる催し物を期待しています！！またそれに関連するが・・・これまでの街づくりを大切に(現在までの)さらにより良いものに！その1つとして・・・荒尾の”人的宝”である宮崎滔天関連の施設などをもっと大切にしたい。例えば市の体育館、グラウンド近くにある”博愛”の建物。あれだけ立派なものなのに草だらけ。(枝の伐採はされたようだが・・・)住民も住民以外も足を運びたくなるよう！！管理をお願いします。その草だらけにまつわる件だが、市内の公園も然りの物が多く見られる。防犯の面からも良くないと思います。これから先(未来)の”人的宝”である子ども達！！その子たちが遊びたくなる！友達と一緒にいたい空間となる場であるべきではないか？(あってほしい)今、ゲームなどばかりで遊ぶ時代なので・・・室内で時には人数は揃っていてもマンションのロビーに座ってゲームばかり。昔だったら公園で汗だくになって遊んでいましたよね。ぜひ子どもたちの声が聞こえる公園がある町であってほしいです！福祉面などの要求はありますが、よろしくお願いします。
- 体育館が古いので建て直しを検討していただきたいです。床がいたるところできしんでいるし、夏の時期は羽蟻が大量に発生します。冬は隙間風が入ってきてものすごく寒さを感じます。市民病院等で財政的に厳しいとは思いますが、ご検討お願いいたします。
- 市民プールの運営期間が短すぎると思う。せめて夏休みの間は開けておいてほしい。
- 各地区で色んな祭りがあれば、見て回りたい。
- 学べる荒尾歴史館や美術館などがあると良いと思う。
- 荒尾運動公園のサッカー場の環境が悪い。水捌けがとても悪い。サッカーの試合の為、フルコートで1面とろうとすると、ゴール裏に壁が来る事になる。息子は今年のゴールデンウィークに試合中に壁に激突し、膝を打撲した。照明も足りていない。
- 荒尾市には生まれてからずっと居住しており郷土史もとても興味があり図書館で調べたりする中で地域史関連の交流や施設が無いと感じた。(ボランティア情報なども広報にのせていただきたいです)
- 私自身が運動をよくするからだと思いますが、荒尾運動公園施設はもう建て替え等を検

討していかないといけないと感じています。体育館にしてもプールにしても老朽化が目に見えているところです。他の市と比較するのは酷ですが、隣の大牟田市は荒尾市の体育館より後に建設されましたが新しい体育館がたちます。今すぐにとはいいませんがどうかご検討をよろしくお願いいたします。

- 長洲の B&G の様な室内プールが有れば嬉しい。
- 長洲町のような室内プールや運動、筋トレができる施設を作って欲しい。
- 文化センター(例えばグリーンランドホール)を企業名を入れた施設にして、若者から高齢者まで、常に楽しめる場所になると嬉しいです。

【交通安全・防災・防犯分野】

- 自転車道路の電柱（2本）新しく立っているけど危ないと思う（本村）
- 市民病院前の川：生活排水が流れているのか臭いが強い場所があります。（清田カメラ付近）雑草も茂っており、川底の清浄の必要性を感じます。以前に比べ泥もたまっている状態で淀んでいるように見えます。きれいに流れることで大雨の際の水はけも良くなると感じます。近年ゲリラ豪雨や災害級の大雨もありますし、既存の側溝や雨水桝の清浄を地域含め皆でしていく必要があると思います。また側溝の上の網目のフタの継ぎ目が開いている場所があり、自転車のタイヤが挟まり倒れ、骨折された方を多数聞いております。見直しが必要かと思ひます。
- 地区の公園、公民館は当番制や有志で自宅周辺は自分で除草しておりますが、空き家、高齢者宅、田畑、山近くは雑草、木、草がいっぱいです。グリーンランド他の施設に来られる方も驚かれると思います。道路にもはみ出してあります。また台風、大雨、大風の後、道路に倒れ掛かり危ない時もあります。すべての道路点検するのは大変だと思いますが、少しでも荒尾がきれいになることを切望しています。
- 電灯が少なく暗い。各所に防犯カメラ設置希望します。
- 道路側の樹木が大きくなりすぎ道路をふさいだり、数少ない街灯が木の陰になり役目はたしてない。雑草や笹が垂れ下がったり道路側雑草が竹みたいになり車が傷ついたことがある。持ち主がいたりして難しい件もあると思うが前回のアンケートにも要望したが改善されていないことは残念だ。
- とにかく夜間暗い、街灯はLEDで費用はそんなにかからないのでたくさん設置してほしい。荒尾市民病院前通り等交通量もそれなりに多いのに暗くて見えにくい。知人は夜間自転車で病院通りが暗く、かばんを取り損ねて転んでしまった。道路の白や黄色線の表示が消えかかっているところが多い。近頃少しずつ改善されて来ているようだが早急に塗り重ねないと事故が増えると思われる。また縁石に反射板（黄色っぽいものや青色）をたくさんつけることも必要。本田梨園前の新しくされた道路にはたくさんつけていただいた。あれくらいどこもつけて安全を確保してほしい。
- 令和 2 年 7 月豪雨で自宅が浸水被害にあい、下井手地区から東屋形地区へ引っ越したが、現在の居宅においても、毎年のように雨が降ると道路が冠水し、不安で家にいることができないことがある。数年前河川改修工事が行われていたが、無駄だったのではないのか？
- 街灯を増やしてほしい。
- 玉名市に勤務しています。通勤の際、学生が路方を運転していますが環境が整っておらず、またトラックや運転の荒い方もいますので、学生が事故に巻き込まれないか心配しています。子どもは未来の宝だと思います。そのためにも環境整備をご検討くださいますようお願いいたします。
- 国道 389 号は景観がキレイで、車で走っていて気持ちがいいがダイレックス荒尾店近

くの木が危ない。トラックが多く走るのに木がはみ出しているから、トラックも右車線にはみ出さないと通れなくなっている。ドライバーの努力で事故が発生していてもかもしれないが、今のままだと個人の家のものでも、対策をしなかったとして行政に一番非難が向かうと思う。自分もトラックと接触仕掛けた事があるので改善して欲しいです。

- 雑草の除草、道路整備、デコボコが多い、町中が暗い、街灯設置がなされていない、公共交通機関が全く整備されていない、などです。税金の有効利用をお願いします。
- 至るところに放置された大木があり常々危険だと思っている。電線にかかっていたり、交通の見通しを悪くしていたり全く管理されていない。併せて歩行者ラインに伸び放題の雑草も気になる。見た目も悪いし、事故犯罪にも繋がりがかねない。行政の怠惰さを象徴していると思う。荒尾市＝手入れされていない荒れ地だ。市民にばかり清掃活動を強制せずにはまずは行政が視界良好な街並みの徹底をして欲しい。
- 大和区のシャトレゼ前の信号がこわい。店側からの右折、幼稚園側の右折時特に危険を感じるのを改善してもらいたい。
- 万田小前の通り、日の出町の交差点、境崎、原万田交差点など、近年の激しい大雨により冠水する場所が多すぎます。「冠水注意」との看板はあり、注意喚起はされてると思いますが排水機能が十分でないと感じます。お隣の大牟田市では2020年7月豪雨の反省から市内のポンプ機能を全面的に工事しており、冠水対策に力を入れています。荒尾市のスマートシティ推進も大いに魅力を感じており、楽しみにしていますが、まずはこうした自然災害対策に取り組んでいただきたいです。対策が遅れている(もしくはこれ以上できない)理由があるのであれば、しっかりと広報誌等で情報発信すべきです。ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

【都市基盤・定住環境・公共交通分野】

- 水道代が既住地よりも随分と高く、家計を圧迫している。
- 交通の便も悪く住みづらい。
- 土地が沢山あるにも関わらず、県外から客が来るような商業施設がグリーンランドしかなく発展が乏しいと思う。外部から引越して来たら、まち自体が閉鎖的な印象に見えるので、もう少し県外からの受け入れ体制も考えたほうがいいかと思う。
- オカチ山駐車場整備：市内中程で行き易く低く展望台有り。市民の健康増進にもってこい。絶景を市民に広報等でアピールしては？市外の人へもアピール方法によっては新たな名所？ただ残念な事に駐車場なし。まずは整備をぜひ希望。
- 街路樹は、定期的な剪定以外にいずれ伐採が必要となると思われるモチノキやイチョウより低木の方が妥当では？費用も抑制？その分、雑草だらけの木の根元に防草シート敷、グランドカバー植栽で景観もアップ？
- 電気代などの維持管理は街灯は市持ち、防犯灯は区持ち？車・人口多い所は街灯ではさらに明るく、同じ市内でも田舎は防犯灯、費用負担が重く暗いまま。通学路は格差無くしてほしい。違うなら基準知りたい。
- 県道の草の除草 小学生の肩ぐらい伸びてます。
- ①荒尾駅に裏駅を作ってほしい②駅にエスカレーターを作ってほしい③駅にエレベーターを作ってほしい どれか1つでもできればいいなと思います。
- ①行政のことはわかりません。自分たちの住んでいる町の道路周辺（ガードレール）から草がはみ出ている等の年1～2回定期巡回して美化を望みます。②空家の問題。ほったらかし見た目感じ悪い。何か市でも検討できないでしょうか？
- 市内のバス路線が不十分である（路線数・便数ともに）。荒尾駅を経由するバスの便数が数少ないし、最終便の時間が早すぎるので不便。→現状では荒尾市で生活して(生

- きていく) いくには、自家用車がなければ生活できないです。いつまで自分が運転できるか不安です。市内の公共交通(バス路線)が充実していればと思う。
- 法令により自転車は車両とみなし車道を走ることとなっていますが、現状は自転車走行を示す線もなく危険性を感じる。依って整備が急務と思われる。
 - 歩行者道の整備：ささやかな歩道が整備されていても草木が道をふさいでいては歩道がないに等しい。除草作業の徹底を希望します。
 - 空き家があつて管理者がいなく、道まで木の枝がはみ出ているのを荒尾市で伐採してほしい。高齢のためしたくてもできない。
 - アスファルトが割れた道路が多い。水害で破損した土手の修復が遅い。道路の植え込みは雑草だらけ。ブラック企業が少なくなく、数回の転職を余儀なくされた。「市」とは思えないほどに駅前がさびれている。緑ヶ丘など再開発された区域とそうでない区域の差が大きい。駅前から四ツ山がゴーストタウンになってしまった。
 - 空家対策又は空地対策：後継ぎがいなくとか遠方に住んでおられるので雑草が茂り、景観が悪く害虫が多くて困る
 - 荒尾駅周辺をもっと中心的にしてほしい。あまりにも寂しすぎる。
 - 荒尾駅は荒尾市の大事なところ。私の姉夫婦は横浜に住んでいますが「いつも荒尾駅はあのまま」と悲しんでいます。もう少し、いいえもっと素晴らしい建物にできないのでしょうか。いつも車で荒尾駅の側を通るたびに悲しくなります。小さい駅そのままでいいので「ワースツてき」と思える駅にと思っております。心よりお願いを込めて書いています。ありがとうございました。お願いがどうぞ届きますように。
 - 今現在進められているのは知ってますが？何年も空家で雑草や巨木の影響で悩んでいます。台風等の時は大変困ってます。家主・地主への定期的作業をしてもらえる様注意喚起をお願いいたします。道路への影響もあり車の通行にも差し障りも現にあります。それなりにできることはしてますが、限界を感じます。どうぞよろしくお願いします。
 - 今は高齢者となり生活の場が狭くなりました。主に動くことは買物です。主にバスを利用していますが、バスの時間表を多くしていただきたい(小型バス)市民病院が新しくなりますが、今のところ病院入り口からバス停まで距離が遠いので困ります。バス停が病院入り口近くにあると助かります。病院のスタッフの改善を望みます(患者への思いやり)
 - 運転免許証の返納を考えています。路線バス、時間帯により1時間1本、モールから駅、その他なら乗り換え、おもやいたクシーの使い方がよくわかりません。そうするとタクシーで病院、買い物などその度となるとやはり金額が、、万田坑付近です。お店も病院もなく車がないと移動ができません。悩ましいです。年金生活でこれならどのように生活してゆけるのか?!都市計画もあるようでこのうえ家が入ったらと不安に生活しております。
 - 運動公園のトイレの清掃は定期的に行ってほしい。
 - 年寄りでも住みやすいまち：買物に行くのに不便だから
 - 公共交通：非常に少ない。待ち時間長すぎる。
 - 救急車の進入路、高校等の通学路であるのに、道路は老朽化し、街灯や歩道もなく、川沿いは雑木や雑草で覆われている。交通量も多いので整備が必要と感じます。
 - 旧競馬場跡地に「道の駅」のような施設ができると聞きましたが、できれば温泉施設と共用したようなところであることを望んでいます。
 - 区画整備等で工事が中途半端にされている場所、住居の周りに草が茂ります。そうい

うところが多くあり、多くの人がボランティアで草刈り、除草剤散布されています。若い時は体力もありボランティアもしてきましたが高齢になり無理になってきました。市の方で見回りをして困っている人のところを作業してください。車の通りも多く苦情も出そうです。

- 熊本県の最北に位置する荒尾は何より熊本中心部へのアクセスの改善をすること。荒尾市に住居を求めてもらうために周辺の自治体より有利な部分の強調の発信。何より法人税のための企業誘致だと思います。
- 交通の便が悪いと感じている。コミュニティバス等他地域でうまくいっている事例を荒尾市も取り入れてほしいです。
- 運動公園の入り口左の公園にコンビニ等作れないか？入口を明るく、人を集め、公園に入っただけなのでは？そこに行くほとんど人がいない、あの広大な土地は全く機能しておらずもったいない。人も集めずお金も動かず死の土地の様だ
- 高齢になると自分で運転できなくなる日が来ると思うので交通手段の充実をお願いします。
- 病院の裏山（北）に位置する通称オカチ山開発：このオカチ山一帯にはからいも、麦等を耕作していたが、現在は竹や雑木など生い茂り、足入れ場もなく、原野の現況です。一土地所有者では施すことができず、困っています。行政施策の元、開発をお願いします。
- 今後高齢者の数が増えていくと思う。現状買物に行くのも不便。車に乗れなくなった時のことを思うと不安である。シティモール周辺に買い物、医療関係がまとまっているが、交通手段がなくなると、バスに頼るしかなくなる。本当に長く住むとなると不安である。
- 桜山に福岡市内から来て45年。どんどん便利が悪くなり、毎日の買い物に不自由している。行きたいところへ行けない。空き店があるので市が少しお金を出してどこから店を出して日常の食料品だけでも開いてくれないと年長は皆困っている。それか移動車を週二回くらい来るとか、日々の生活に困っている。それに郵便局までどこかに引っ越してしまうそうです。全く生活のすべてをもぎ取られ、ここは荒尾市が作った町でしょう。ここに役所の人は一ヶ月住んでみてください。私の言っていることがよくわかります。せめて内科医院の一つも作れないのですか？山の手上小路桜山と福岡市内と同じようにとは言いませんが何か文化の一つでもほしいところです。実行できるかどうかわかりませんが、大村か久留米に引っ越しを考えているところです。50年間見てきてこれほど文化のない、発展のない所は知りません。お店のこと郵便局のことはよくよく考えてください。
- 里道の除草や拡幅などは地域住民の負担が大きすぎるのでは。
- 荒尾駅が死んでいる。生かす方法はないのでしょうか。
- 戸建てを建てたいが緑ヶ丘付近に土地がないため、どうにかしてほしい。グリーンランドの駐車場など年末しか埋まっておらず勿体無い。
- 市内の荒れた農地をどうかしてほしいです。自分もあれた農地を持っていますが手入れする時間も体力ありません。有効に使ってもらえれば無償で貸します。どうか荒れた農地をテーマに考えてもらいたいです。
- 市民のために住みよいように市営バスを以前のように市内中をもっと多く利用できるようにしてほしい。特に老人、子どもたちも安心して利用できるようにしてほしい！！
- 住空間と商店への動線の整備。JR駅周りの有効利用（もっと利便良く）
- 前回も書いていたのですが万田炭鉱の通り、道路の方に木や草が倒れそうになってて

危ないと感じます。改善してほしいです。

- 沿岸道路：早期実現を願います
- 例えばグリーンランド近くに森林公園等を作り、市民が散歩等ができるような環境がもっとあっていいと思う。
- 上下水道の負担金：地域によっては負担金が数十万円かかります。これを改めてほしい。
- 道路の整備が遅すぎる。一つの道路を完成するのに何年かかる？玉名市は気づいたら出来ていた（新しい道が）と思うほど早い。
- 道路の脇に花を植え替えは必要ないと思います。花からの虫被害、花がきれいなところと雑草にまみれていたりします。植えるのであれば植え替えしないでいいものを植えたらいかがでしょうか。
- バスにお世話になっております。ありがたいです。本数が少ないけど仕方ない。路線バスが通らない所があるので、理由はわからないけどあったらいいなと思います（川北区）
- バスの本数が少ない。西鉄バスを入れたらどうですか。
- 万田坑（世界遺産登録）周辺がジャングル化している状況であり、早急に改善する必要があるのでは？また赤田池周辺も同様であります。道路新設があちこちで見られますが、と同時に自転車専用道を考慮されたし。
- 道が狭いところの脇の木、草が伸びていて、通行に不便。木は邪魔、草のつるが伸びて対向車が来たときは停車しなくてはならない（万田等）空家のところも対策していただきたい。
- 道行く雑草などが四季折々目立ちます。道路のへりや歩道に至る所が気になります。市に使われる経費などかかるのでやらないのでしょうか等と思ってしまいます。人手不足とか〜他県の方からバカにされます。どうか美しい荒尾を目指しましょう。
- 宮内〜グリーンランドまでの間商業施設が集中している現状があり、将来的に他の地域にも商業施設がないと買い物難民となるかと思う。道路に面した空き家や空地の区画整理をしたりして商業施設の誘致を検討を今後していくことは必要なのではないかと思う。
- 山や川、海もありますが、家族や友達と出かけてピクニックや散歩等で長時間過ごせる場所がありません。気持ちが良くて楽しく過ごせる場所を作してほしい。お花見や眺めのいい場所が全然ありません。
- 万田坑：ユネスコ世界遺産に登録され、関係者の方々が頑張っていらっしゃるのはわかるのですが、周辺に何もなくて訪れてくださった方々がもっと楽しめるような時間を過ごせるような施設があった方がいいと思います。「えっ？これだけ？」って思っただけで帰ってらっしゃるような感じがしてリピート客はいるのか？来訪してくださった方の口コミで来訪者が増えているのか？疑問に思います。市のお金を無駄に使うことなく、よりよい周辺の環境づくりをしてほしいです。
- 路線バスを増やしてほしい。
- 私は万田地区在住で夜間散歩をしています。歩道のいたるところに草が腰ぐらいまで伸びており、歩道を歩けない所が多いです。市役所近くのほっともとの周辺、競馬場通りの歩道などです。そして自宅から歩道に木が覆いかぶさって歩けない歩道もあります。ほまれ寿司の隣の空き家など・・・散歩している人が多くいる中、歩道の整備を考えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
- 私は高校まで自転車で通っていましたが専門学校に県外へ行くようになり電車通学になりました。荒尾駅までは自転車では距離があり、バスは通学時間（早朝、夕方）は

少なく行くのが大変です。車を買ったり、原付で通えば解決するのですが、バスの時間を学生が利用できる時間増やして頂けるとうれしいです。また駅まで親に送り迎えしてもらうことが多いのですが、その時に時間をつぶせる（くつろげる）カフェがあったらいいなと思います。最後に荒尾駅の駅員さんがいる時間が短くなって行く時、帰る時には会えないので、定期券が買えません。お昼までおられるので朝もう少し早くいてくれたらいいなと思います。

- 沿岸道路の早期延伸で、熊本市のベッドタウン化を進めてほしい。
- 福岡市方面への通勤通学もしやすいように整えてほしい。
- 公共交通の整備、草刈り条例の推進、文化活動
- 荒尾駅が東側から乗り降りできるようにして貰いたい
- 荒尾駅について、JRの管轄になるとは思いますが、この前ベビーカーで利用して、エレベーターがないため、大変な思いをしました。これから、スマートシティを目指す上で、さまざまな人に荒尾市に来てもらうためには、エレベーターの導入が必至だと思います！
- 高齢者、子ども、障がい者にも優しく、道路などの整備強化。
- 今はマイカー運転で不自由を感じない生活です。が、あと数年後のマイカー無しになったら心配しています。乗合バスを荒尾市全域で運行して欲しいです。
- 市民病院前の道路を良く通りますが、雑草が鬱蒼と茂ってから、除草作業をされてますが、常に、綺麗で景観が保たれてるような工夫はできないものではないでしょうか？
- 市役所施設が古すぎる。他地域の役場施設と比較して、とても恥ずかしいレベルである。
- JR 荒尾駅に東口を作るべき。国道沿いに宿泊施設や飲食店があり、大きい荷物を持った観光客や出張者が遠回りをしている場面を多く目にするので。
- 私が荒尾で過ごして40年以上経ちますが、駅の不便さは未だ変わることはありません。もう荒尾駅に裏口はできることはないのでしょうか？また、駅周辺の閑散した風景。昭和の栄えていた駅前通りを思い出すと、寂れた街だなあと感ずるを得ない現状ですね。
- 沿岸道路について早く熊本県側に繋がればいい。
- 荒尾駅も国道側からも改札口があれば便利だと思います。
- 電柱を地下へ埋めて歩道を広げてほしい。
- 6：30 朝早いバスがない。

【協働分野】

- 古参の住民と新参の住民との間に「差」がある。（古参住民から「都会で失敗して都落ちした」と見下されてるフシはある）一方で史跡で隠れ名物と言える貴重な資料も点在している。あまり活かしてないのはもったいない。
- 温故知新新政策（open mind 政策）：新しいと古い（良い所）の融合。若い人の意見と経験豊富な人の意見の良いところどり。
- 各協議会が連携したまちづくり、祭り、スポーツ行事等を行う。商工会、その他の団体に依存する方法はやめた方がよい。地域の盛り上がりがない！
- リーダー育成：地域活動においてもやはりリーダーの役割が重要だと思います！！リーダー中心として数名の協力者から→住民へ。若者が居住しやすい街づくり（子育ても含む）を望みます。
- 若い人達の人口を増やすためには若者の意見を聞く場を設ける必要があると思います。子育てがしやすかったり、仕事があるのももちろん大事。

- 行政（専門職）との協働：荒尾市全体、対象の住民のことなどをしっかり考えて、柔軟さを持ってきちんと専門職の役割を果たしてくれる方を望みます。
- 長年自治会入って地域行事参加して来ましたが戸建てで自治会入ってない人、アパートだから自治会入ってない人いますが、電灯等使っているのに自治会費払ってないので不公平だと思います。時代の流れで自治会入らない人もいる中自治会区長さんのなり手もなかなかいないと聞きます。自治会自体時代に合わなくなって来てるのか？自治会をなくして市の税金等で平等に徴収する等してほしいです。

【環境保全・リサイクルの分野】

- 服などのリサイクルを出せる場所を作してほしい。缶やペットボトルはあるが、服などは月1回だけであるし出し忘れるときがあるので。
- ペットボトル、缶、コンビニの包装資材等道路脇でよく見かけ拾っても拾っても落ちています。大きいゴミだけでなく、そういう小さいゴミの不法投棄がどうかならないものかと…
- リサイクルの出し方、収集の方法に疑問、不満を感じています。収集日を守らず早々に出している人が多すぎます。通学路の途中にあるため児童が出されている物で遊んだり投げたりして危ないです。違反物を出してあるのに当たり前のように回収されているなぜですか？市民が市民を注意することは今の時代なかなか難しくなっていると感じます（逆恨み、いやがらせ等）行政の方で動いていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
- リサイクルの日増やしてほしい。
- 温暖化をこれ以上加速させないように、プラスチックごみの分別回収を始めてほしい。
- ソーラーパネル：昔の炭鉱社宅にかなり広い整備し始めてるけど、もっと、若者が集まる所を増やして欲しい。
- 歩道に落ちているゴミを毎日拾いながら荒尾駅に捨て手も洗わずバスに乗り手すりとか触って汚いです。朝イチにゴミ一つないように巡回してほしい。家の前に落ちているのも、拾いながらドラモリに行かれています方がいます。きちんと注意か何かしてほしい。
- 有明海の浄化 マイクロプラスチック防止のための河川流入防止 農業振興

【市政全般・その他の分野】

- 東京等他都市に住んだことがあります。荒尾市を知っている人は少なかった。荒尾市の知名度が向上することにより、他県からの居住者が増え、そこに住む住民の誇りが高くなると考えられる。その方法として、荒尾干潟や万田坑の周知の強化、グリーンランドが荒尾にあることの周知(例えば、グリーンランドと折衝し、名称を「荒尾グリーンランド」に改称)、既存の総合運動施設を活用し、企業や大学のスポーツ部の合宿の誘致を積極的に行う。思いつきですが、荒尾の発展を願う一市民の意見です。”
- ”まちづくり”と言えば、スマートタウンの例のように巨額の予算を使ったコンクリートの造形物を連想してしまう。アンケートの設問も老人には自分事として答えるのが困難なものが多くあったように思う。荒尾市の”まちづくり”も全国一律の規格品ではない”いなままちづくり”など考えられないのか。大都会から移住して30年ほどだが、”町外れ住まい”の生活は疲れないし、無駄な金も要らない等気楽である。しかし、今後

車の運転ができなくなると不便なことが増えるだろうから「食料品の調達手段」や「中心街とのアクセス手段」など身近な問題を考えてほしい。エネルギーの大量消費志向から”静かな生活”で急速に進む温暖化に抗う思考はできないか。誰かが先鞭をつけないと・・・

- 住民に対して広報活動を徹底しているか疑問。役所や公共施設はそこに住んでいる住民がいるから活動できる意識をもって職務に精進する必要がある。将来の展望を持って暮らし良い街づくりを展開してほしい。私利私欲に関わらないこと。思いつき！！
- 荒尾市の資源を生かしたその地区ならではの取り組みができないかと思っています。例えば私の住んでいる樺地区は小岱山があり、トレッキング等のスポーツや植物観察等。また新玉名駅まで10分少々（車）の近さもあり、住宅地としての取組みにて活性化ができるのではと思っています。今後の検討をよろしくお願いします。
- 荒尾市の将来を担うのは子どもである。つまりは子どもの環境づくりが一番大切である。よって市として声を聞くべきは地域の方々の情報である。例えば通学路なのに車が多く危ないなど一つ一つの問題を真剣に聞いてできる限りスピーディに対応してほしいです。
- 荒尾市の平均所得と物価に対して行政の調査が足りないと思う。所得に関しては、個人の努力等が一番関係あると思うが、物価が高く税金も高く普通に仕事するだけでは、貯金もできないと思う（一般家庭）。生活保護を受けてる人の方が良い生活が出来てと思う部分があり条件を厳しくし、母子家庭や生活保護者の調査をし、少しでも税収を確保し、税収を市のために使えば子育てや福祉のために使えると思う。テーマには関係ないが市議会などをオープンに YouTube 等で市民に見てもらえる場を作れば、もう少し政治に対して、市への不満も解消されるのでは？と思う。
- 荒尾は住みやすいと思いますが、魅力がいまいちかなと思います。働くところが少ないから若い人が市外に出て行って帰ってこず人口が減る。せっかく災害にも強く、グリーンランドなどもあり、いろんなところに行くにも行きやすいなどイイ所はたくさんあるのに、子どものための公園がなく、プールや体育館も古い。荒尾駅も利用したいのにエレベーターもなく、階段で年配の方が荷物を持ちながらはたいへん聞いたことがあります。人口が増えないと栄えるものも栄えないと思うのでまずは若い人たちが長く住みたいと思えるような町づくりをしてほしいです！！
- いろんな考えを取り上げ、それぞれの地域特色をさらに自慢できるようにして地域力をアップできるような人間性を向上させ、たとえ災害が起ころうともコミュニティで一步一步乗り越えられるまちになれば安心です。その安心のために税金を使ってほしいです。
- 公的機関が公式 LINE 登録者という表現に非常に残念です。政府機関や地方自治体が他国のサービスである LINE を使用するのはいかかなものかと思う。日本政府自体がデジタル情報の管理に疎いというのがありますが。民間企業の方がまだ LINE に厳しい。
- 高齢者より若い方の意見をより多く聞いた方がいいと思います。
- 市役所がとても古いと思った。
- 最近自宅を購入し引っ越してきたが、年行事やお祭り等のことが分からず、当日になってから通って知ったようなことが良くある。広報や回覧板はよく見るようにしているが、もし年間の行事予定等が知れたら参加したいと思っている。
- 市政、行政のみなさまお疲れ様です。図書館も新しくモールの中ということでとても便利になりました。よく利用させていただいております。市民病院も開業となり素晴らしいことです。ありがとうございます。市の中心部は何かと便利ですが市の末端はほとん

ど目・手が行き届いていないように思われます。道も狭いのにも草が伸び放題で通学の子どもたちが危険と思います。美しい荒尾にするには休耕田が多く、草だらけ”花”の種をいっぱい配って”花いっぱい”の荒尾にしたいですね。”道の駅”も楽しみにしています。

- 春の入学、入社 of 時期は土日開庁されてますが、市役所の開庁時間が労働時間という方も少なくありません。市役所に出向く際、休みをとって行かないといけない方が多い中また改めて来てください。というのはどうなのか。月に1度で良いので土日開庁を検討してください。
- 市民全員が住み易いと思える環境にしていきたいと思います。
- 住みよい「荒尾」を作ってください。あと数年元気で暮らせればいいことなしです。
- 地域の美化作業においても空家が目立ってきました。ご近所でもお年寄り夫婦も多くなり、子育て支援も良いことですが高齢者も安心して住める町づくりを目指してほしいと思います。これからも市民の声を一人でも多く聞くことができるこのようなアンケート調査望みます。
- 特にありませんが子育てをされている方々や働いておられる年代に渡された方がよい意見が聞かれると思っております。
- 初めて荒尾で春を過ごした時、街全体が桜で彩られていて感動しました。航空写真で荒尾全体を写したら、きっと街全体が公園の様だろうと思います。春は桜と梨の花。秋は紅葉を楽しめるともっと素敵だろうと思います。
- 本来ならば国がひな型を作り全自治体の共通化を図るべきと思うが、手抜きでやっていない。またマイナンバー等も共通化していれば簡単に移行できたと思います。行政システムは外注でなく、各自治体で人材育成し、ソフトハウスへの外注を取りやめるべきであると思います。
- 近所に野良猫が住み着き被害を受けていると行政へ電話したことがあるが、何もできないとの返答だった。保護団体と業務委託契約を交わす、補助金を出す等行政と連携し何かしら対応、相談者への案内ができる様改善してほしい。
- 私自身残念ながらテーマを上げて何もお手伝いすることもできませんので、ほかの人に少しでも迷惑をかけることがないように毎日生活しております。何も協力できなくて申し訳ありません。
- 私たち年寄りにアンケートを出すより若い世代の人たちの意見を色々と聞いた方がいいんじゃないんでしょうか。私の子ども（男3人）はみんな県外で働いています。
- 私は81歳しかも病弱です。今は地域に貢献ができていません。しかし緑豊かな広々とした山あり、海あり、川ありのこの荒尾市が大好きな荒尾市の中の「蛙」です。通院の道すがら立派に実った稲の集団の間に点々と草が生えている田があったり、野菜畑もいつの間にか作物が無くなり、草がはびこっているのを目にするようになりました。いつまで私が子どものころから見た緑一面の田畑が維持できるのか憂慮しています。現在、作物は地球温暖化、担い手不足と高齢化、肥料高騰、機械化資金の問題等々で貧窮の一途の中にあるように見えます。地球では植物が人間を守ると言われています。野菜だけの問題ではありません。自然環境の悪化で不作が続く中、花いっぱい、野菜いっぱいと呼んでみても「植えたばってん、いっちょんとれんじゃった」という結果が見えています。しかし、植えるだけでは駄目で、その後の管理が大切になります。進め方のノウハウは大人も子どもも、有識者、知恵のある方、行政の方々に教を請いつつ行います。まず身近なわが庭から空き土地があれば地域で、いままでの花いっぱい運動にプラスして始めてみましょう。ささやかだけれど、みんなが栽培ができるようになってほしい、育ててみて見える世界もある。長い継続的な取組みが問題であり、課題です。早い

時期からの植栽経験が将来の夢実現につながるかもしれません。少しでも豊かな荒尾市作りに一粒の種に「これから」を託したいと「蛙」は思っています。

- 意見をまとめ、ホームページに掲載していただきたい。
- 近隣の市町村より色々施策を考えておられ、荒尾市は今後も頑張ってもらいたい。少なくとも玉名市、山鹿市より何事も積極的だと思う。
- 市役所：古さより、広さ。通路、トイレ、駐車場、待ち合い場所。高齢者、子連れ(ベビーカー)、障がい者、ジェンダーフリーに優しい施設を。ソフト面。対応の仕方。気遣い、声かけ、丁寧な説明を。
- 荒尾市での暮らしはどこにいても10分圏内にスーパー等があり、便利で満足しています。出産前から保健センターの保健師さん、助産師さんには大変お世話になっていていつも親身に話を聞いていただき、感謝しています。歩道の整備されている花壇もとてもきれいです。荒尾市が大好きです。
- 行政に相談、苦情、提案窓口の設置。
- 私は大阪産まれ大阪育ちで熊本に移住してきました。理由は将来の結婚・子育てに不安を感じ、治安がよい地域でのびのび暮らしたかったからです。私みたいな人たちが都会には沢山いると思います。もっと、移住・結婚支援、新築・空き家支援、子育て支援、地域おこし協力隊、ふるさと納税などなど、国の補助金や自治体独自の支援など最大限に利用されるような地域になってほしいと思います。
- 若い人の意見を取り入れてほしい。
- 荒尾 pay について：食品の値上げで困っているのにスーパーで使えない。使えたとしても使える額が少ない。
- 第6次荒尾市総合計画なるもの初めて知った次第、ここ20年くらい世捨て人みたいなものでほとんど没交渉、広報あらお全然読んでない。誠に相すまんことです。国民の多くが行政に頼り過ぎでは？100年の計などする暇がない。
- 野生のニホンコウノトリ(コウノトリ)の繁殖の自然環境を整備してほしいです。巣塔設置は電波塔の所で設置し試験的に設置してそして設置箇所を増やしたりする検討もお願いします。

あなた自身のことについてお尋ねします

■ 当てはまるものに○をつけてください。

[illegible]

健康づくりについて

問1 あなたは、普段朝食を食べていますか。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 毎日食べる | 2. ほとんど毎日食べる |
| 3. あまり食べない | 4. 全く食べない |

問2 あなたは、食事をとるときに栄養のバランスを考えて食べていますか。

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. よく考えている | 2. 時々考えている | 3. 全く考えていない |
|------------|------------|-------------|

問3 あなたは、日常的に1回30分以上の汗ばむ程度の運動をしていますか。

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 週3回以上行っている | 2. 週2回行っている | 3. 週1回程度行っている |
| 4. 月1～2回程度行っている | 5. 全くしていない | |

問4-1 あなたは、どれくらいの間隔で健康診断や人間ドックを受けていますか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 毎年受けている | 2. 2年に1回程度受けている |
| 3. 3年に1回程度受けている | 4. 5年に1回程度受けている |
| 5. 受けていない | |

問4-2 (問4-1で「5. 受けていない」と回答した方)

その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

- | | | |
|------|-------------------------|-------------------|
| 【理由】 | 1. 元気でであり必要ないと思うから | 2. 忙しくて受ける時間がないから |
| | 3. 自覚症状が出てからでも遅くないと思うから | 4. 費用負担が大きいから |
| | 5. 時期や方法が分からないから | 6. 面倒だから |
| | 7. 定期的に医療機関を受診しているから | 8. 受けても意味がないと思うから |
| | 9. その他 () | |

問5-1 あなたは、荒尾市の保健サービスや医療体制についてどのように思いますか。

(注)「保健サービス」とは、母子健診や成人向けの健康相談などを指します。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である |

問5-2 (問5-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方)

その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

- | | | |
|------|-------------------------|---------------------|
| 【理由】 | 1. 緊急時の医療体制が整っていないから | 2. 医療機関の数が少ないから |
| | 3. 市内で受けられる診療科目が少ないから | 4. 気軽に相談できる機関が少ないから |
| | 5. 医療に関する情報発信が少ないから | |
| | 6. 保健サービスに関する情報発信が少ないから | |
| | 7. その他 () | |

結婚・出産・子育てについて

問6 あなたは、結婚していますか。

1. 結婚している	2. 独身（未婚）	3. 独身（死別・離別）
-----------	-----------	--------------

問7-1 現在の子どもの有無に関わらず、あなたの希望する（希望していた）子どもの人数は何人くらいですか。

また、実際の子どもの人数は何人ですか。

希望する（希望していた） 子どもの人数	人	実際の子どもの人数	人
------------------------	---	-----------	---

問7-2（問7-1で「希望する（希望していた）子どもの人数」より「実際の子どもの人数」の方が少ない方）

「実際の子どもの人数」の方が少ない理由として、どのようなことが考えられると思いますか。【3つまで】

【考えられること】	1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
	2. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
	3. 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
	4. 夫（妻）の家事・育児への協力が得られないから
	5. 夫（妻）が望まないから
	6. ほしいけれどもできないから
	7. 健康上の理由から
	8. 高年齢で産むことに不安があるから（女性のみ）
	9. これから出産する予定である
	10. その他（ ）



問7-3（問7-2で「1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した方）
最も経済的負担に感じる年代はどれですか。【主なもの1つ】

【年代】	1. 就学前
	2. 小学生、中学生
	3. 高校生
	4. 短大生、大学生、専門学校生

問8 あなたは、荒尾市の「子育て世代包括支援センター（すこやか未来課保健センター）」が妊娠期から子育て期の支援を行っていることを知っていますか。

1. よく知っている	2. ある程度知っている	3. 知らない
------------	--------------	---------

問9-1 あなたは、荒尾市で子育てをしたいと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問9-2（問9-1で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と回答した方）その理由はなぜですか。【2つまで】

- | | | |
|------|--|---------------------|
| 【理由】 | 1. 自然環境が良くないから | 2. 犯罪や事故が多く危険だから |
| | 3. 近所づきあいや地域活動があまりないから | |
| | 4. 公園や児童館など子どもが遊ぶ場所が少ないから | |
| | 5. 子育て支援サービスが充分でないから | 6. 子どもの教育環境が充分でないから |
| | 7. 家族や親戚、友人など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいないから | |
| | 8. その他（ | ） |
| | | |
| | | |

生活全般について

問10 あなたや、あなたの家族（荒尾市に居住の方のみ）の給与について、前年と比べて、改善していると感じますか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 改善していると感じる | 2. 改善していると感じない |
|---------------|----------------|

問11-1 あなたは、荒尾市における労働環境について、どのように思いますか。

- | | | |
|------------------|-------------------|----------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である | 5. わからない |

問11-2（問11-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方）その理由はなぜですか。【いくつでも】

- | | | |
|------|------------------|---------------|
| 【理由】 | 1. 働く場所が少ない | 2. 希望する職種が少ない |
| | 3. 就労先の会社の情報が少ない | 4. 待遇が良くない |
| | 5. その他（ | ） |
| | | |
| | | |

問12 あなたは、この1年間で路線バス、乗合タクシー、おもやいタクシーのいずれかを利用しましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問13 荒尾市の公共交通（電車、路線バス、乗合タクシー、おもやいタクシーなど）の利便性について、どのように思いますか。

- | | | |
|------------------|-------------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である | 5. ほとんど利用しない |

問 1 4 荒尾市の街並み（道路の植栽などの景観）について、どのように思いますか。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 美しいと思う | 2. どちらかといえば美しいと思う |
| 3. どちらかといえば美しいと思わない | 4. 美しいと思わない |

問 1 5 荒尾市の地域資源である、ラムサール条約湿地の「荒尾干潟」について、親しみやすいと感じますか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 親しみやすい | 2. どちらかといえば親しみやすい |
| 3. どちらかといえば親しみにくい | 4. 親しみにくい |

問 1 6-1 荒尾市の文化・教養に関する環境について、どのように思いますか。

- | | | |
|------------------|-------------------|----------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である | 5. わからない |

問 1 6-2（問 1 6-1 で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方）その理由はなぜですか。【主なもの 1 つ】

- | | | |
|------|-------------------------|--------------------------------|
| 【理由】 | 1. 文化・教養のための施設が整備されていない | |
| | 2. 文化・教養に関する行事が少ない | 3. 文化・教養に関する情報が身近にない |
| | 4. 興味がある行事が行われない | 5. その他（ ） |
| | | |

問 1 7-1 荒尾市のスポーツに関する環境について、どのように思いますか。

- | | | |
|------------------|-------------------|----------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である | 5. わからない |

問 1 7-2（問 1 7-1 で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方）その理由はなぜですか。【主なもの 1 つ】

- | | | |
|------|------------------------|--------------------------------|
| 【理由】 | 1. スポーツのための施設が整備されていない | |
| | 2. スポーツに関する行事が少ない | 3. スポーツに関する情報が身近にない |
| | 4. 興味がある行事が行われない | 5. その他（ ） |
| | | |

問 1 8 防犯や防災の観点から、あなたのお住まいの地域は安全だと思いますか。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 安全だと思う | 2. どちらかといえば安全だと思う |
| 3. どちらかといえば安全だと思わない | 4. 安全だと思わない |

問 1 9 あなたは、普段から性別や障がいの有無などに関わらず相手を尊重して接していると思いますか。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 尊重している | 2. どちらかといえば尊重している |
| 3. どちらかといえば尊重していない | 4. 尊重していない |

市民と行政との協働のまちづくりについて

問25 あなたは、市政（荒尾市が行っているまちづくり）全般について関心をお持ちですか。【主なもの1つ】

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. とても関心がある | 2. 少しは関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |

問26 あなたは、これからのまちづくりを進める上で、市民と行政がどのように連携すればよいと思いますか。【主なもの1つ】

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 市民が積極的に活動を実施し、市民主体によるまちづくりを行うのがよい。 |
| 2. テーマごとに市民と行政の役割分担を明確にし、協働で行うのがよい。 |
| 3. まちづくりは行政が主体となって行うのがよい。 |

問27-1 あなたは、地域活動（地域の行事や清掃活動、見守り活動など）に参加していますか。【主なもの1つ】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. ある程度参加している |
| 3. 現在参加していないが今後参加したい | 4. 現在参加しておらず今後も参加しない |

問27-2（問27-1で「4. 現在参加しておらず今後も参加しない」と回答した方）その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

- | | | |
|------|------------------------|---------------------|
| 【理由】 | 1. 地域活動のための施設が整備されていない | 3. 地域活動に関する情報が身近にない |
| | 2. 地域活動を行う時間がない | 5. 地域活動を行う体力がない |
| | 4. 興味がある行事が行われない | 6. 地域との関わりがわずらわしい |
| | 7. その他（ ） | |

問27-3（問27-2で「4. 興味がある行事が行われない」と回答した方）どのような行事であれば参加できそうですか。【主なもの1つ】

- | | | |
|------|-------------------|------------------------|
| 【理由】 | 1. 除草作業などの環境美化活動 | 2. リサイクルに関する活動 |
| | 3. 交通安全や防犯に関する活動 | 4. 消防団や避難訓練などの防災に関する活動 |
| | 5. スポーツや祭りなどの交流活動 | 6. 体操やウォーキングなどの健康づくり活動 |
| | 7. その他（ ） | |

荒尾市の住みやすさについて

問28 あなたは、荒尾市での暮らしについてどのように思いますか。あなたの考え方に近いものを1つ選んで番号に○をつけ、その理由をお答えください。

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば不満である 4. 不満である
↓「1」または「2」と回答された方	↓「3」または「4」と回答された方
その理由について、 <u>当てはまるもの3つまで○</u> をつけてください。	その理由について、 <u>当てはまるもの3つまで○</u> をつけてください。
1. 郷土・ふるさとである 2. 人情が厚い 3. 自然環境が良い 4. 働きやすい環境が整っている 5. 物価が安い 6. 日常の買い物が便利 7. 交通の便が良い 8. 医療・福祉が充実している 9. 子育て環境・支援が充実している 10. 教育環境が整っている 11. 大きな災害が少なく安心できる 12. 治安が良い 13. 観光資源や娯楽施設が豊富である 14. コミュニティが充実している 15. その他（ ）	1. 郷土・ふるさとでない 2. 人情が薄い 3. 自然環境が悪い 4. 働きやすい環境が整っていない 5. 物価が高い 6. 日常の買い物が不便 7. 交通の便が悪い 8. 医療・福祉が充実していない 9. 子育て環境・支援が充実していない 10. 教育環境が整っていない 11. 災害が起きたとき不安である 12. 治安が悪い 13. 観光資源や娯楽施設に魅力が少ない 14. コミュニティが充実していない 15. その他（ ）

問29-1 あなたは、これからも荒尾市に住み続けたいと思いますか。

1. 住み続けたい	2. どちらかといえば住み続けたい
3. どちらかといえば市外へ移り住みたい	4. 市外へ移り住みたい

問29-2（問29-1で「3. どちらかといえば市外へ移り住みたい」「4. 市外へ移り住みたい」と回答した方）その理由は何ですか。【主なもの1つ】

【理由】	1. 日常の買い物が不便である 2. 地域行事や近所付き合いが面倒である 3. 働く場が少ない 4. 高校や大学などの進学場が少ない 5. 子どもの保育・教育環境に不安がある 6. 医療・福祉等のサービスや施設が少ない 7. その他（ ）
------	---

問３０ 最後に、荒尾市の今後のまちづくりなどについて、ご意見やご要望などがありましたら、テーマと内容をお書きください。

【テーマ】	について
【内 容】	

ご協力ありがとうございました。

